

平成 22 年度
学生生活実態調査報告書
(学部・大学院)

2011 年 6 月



はじめに

平成 22 年度学生生活実態調査報告書が完成し、学内に公表の運びとなりました。本調査は広島大学において全学生を対象に隔年で実施しているアンケート調査であり、広大学生の学生生活の実態を示しているものです。そして調査の結果をもとに、広島大学における学生支援のあり方を点検し、改善していくことを本来の目的としています。今回のアンケートに回答をよせてくれた学生の皆様、調査の実施、データのまとめにご協力くださった教職員の皆様に感謝を申し上げます。

今回の調査は前回平成 20 年度の調査と方法を変更した点があります。①まず、従来別々に実施してきた学部学生対象の調査と大学院学生対象の調査とを一体化し、質問項目も基本的に共通のものにしました。両者の一致点、相違点が明らかになることでニーズに合致した学生支援につながることを期待しています。②またアンケート回答方法も、これまでの紙媒体調査用紙方式から Web 上での入力にしました。回答の利便性、調査の効率化を図ったのですが、結果的に回答率が前回の学部学生 41.6%から今回 19.0%に低下したことは大きな反省点です。調査の意義を学生の皆さんに理解してもらおういっそうの努力が必要でした。これは次回の調査に活かしたいと思います。③内容的には、質問項目を精選しました。様々な必要性から様々なアンケート調査が実施されており、対象となる回答者の負担が重いという指摘をいただいたためです。ただこの学生生活実態調査には同じ質問に対する回答の経年変化を調べる目的も含まれており、社会の変化を反映した今日的な学生生活実態を把握するための質問項目とバランスをとったつもりです。

前回調査との学生生活の内容的変化については、報告書本編をご参照ください。学生生活の全体的満足度の高さ等、大きな変動がみられない項目がある一方で、経済的状况等、収入・支出ともに厳しさが増している実態も読み取れます。

41 の質問項目とともに本調査のもう一つの重要な意義は、「自由記述」欄に寄せられた多様で率直な、また提言を含んだ意見にあります。今回も多く意見が集まり、その中から「大学への提言」という観点からベストメッセージ賞 2 件、グッドメッセージ賞 5 件を選定し、表彰しました。例えばベストメッセージに選ばれたのは、①開かれた大学をめざして学生と社会とのつながりを強化する、そのために「大人」「社会人」と関わる機会、場をつくるという提案、②大学内にももっともっと全学生が共有したい情報や活動があり、情報交流サイトや交流会を企画したい、同時にそのような情報を学外に発信したいという提案でした。そのほかにも全学的な学生支援への要望、学部・研究科での修学上、生活上の支援必要性等、多くの意見が届きました。これらの意見は、課題領域、全学・部局等のカテゴリに整理して、関係部署に提供します。すぐに対応可能な要望、改善のために多少の時間をかけて検討しなければならないもの、個々別々ではありますがせつかくの意見を有効に活かしたいと考えています。

最後に、この調査報告書が広島大学学生の生活をいつとき立ち止まって振り返り、より充実したこれからの学生生活とそのための支援に資することを願って、冒頭のご挨拶といたします。

平成 23 年 6 月

広島大学理事・副学長（教育担当）
坂越正樹

目 次

I 調査の概要

1 調査期間、調査対象、調査方法	1
2 回答者の内訳	1

II 設問と回答分布

【学 部】

1 大学生活において大切にしているもの	5
2 学内外のクラブ・サークル活動への参加	5
3 大学の行事への参加	6
4 ボランティアや地域活動への参加	6
5 アルバイト	7
6 大学構内での滞在時間・場所について	8
7 大学構内でくつろいで過ごせる場所	10
8 1ヶ月の生計費（収入・支出）	10
8-1 収入	10
8-2 支出	12
9 1週間の学習時間	14
10 所有もしくは占有している物	15
11 犯罪やトラブルなどの被害経験	16
12 交通事故の経験	16
13 喫煙及び飲酒の習慣	17
14 薬物（大麻等・覚醒剤）について	18
15 授業以外の学生生活の充実度	18
16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	19
17 学生生活の悩み	19
18 チューターへの相談と相談内容	20
19 現在の健康状態	20
20 身体面・心理面の悩みの解消	21
21 友人との関係	21
22 教員との関係	22
23 学生交流スペースの利用	22
24 所属学部の学生支援室の対応	23
25 学生プラザの学生支援部門の対応	24
26 本学の教育・学習、学生生活などの全体的な満足度	25
27 居住形態	25
28 通学方法	26

【大学院】

1	大学生活において大切にしているもの	27
2	学内外のクラブ・サークル活動への参加	27
3	大学の行事への参加	28
4	ボランティアや地域活動への参加	28
5	アルバイトについて	29
6	大学構内の滞在時間・場所について	30
7	大学構内でくつろいで過ごせる場所	32
8	1ヶ月の生計費（収入・支出）	32
8-1	収入	32
8-2	支出	34
9	1週間平均の学習時間	36
10	所有もしくは占有している物	37
11	犯罪やトラブルなどの被害経験	38
12	交通事故の経験	38
13	喫煙及び飲酒の習慣	39
14	薬物（大麻等・覚醒剤）について	40
15	授業以外の学生生活の充実度	40
16	授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス	41
17	学生生活の悩み	41
18	チューターへの相談と相談内容	42
19	現在の健康状態	42
20	身体面・心理面の悩みの解消	43
21	友人との関係	43
22	教員との関係	44
23	学生交流スペースの利用	44
24	所属学部・研究科の学生支援室の対応	45
25	学生プラザの学生支援部門の対応	46
26	本学での教育・学習、学生生活などの全体的な満足度	47
27	居住形態	47
28	通学方法	48

Ⅲ	資料 学生生活実態調査アンケート項目（もみじ画面）	49
---	---------------------------	----

I 調査の概要

1 調査期間、調査対象、調査方法

調査期間 平成 23 年 1 月 7 日～平成 23 年 1 月 31 日

調査対象 学部学生、大学院学生

調査方法 Web アンケート方式（もみじアンケート機能）

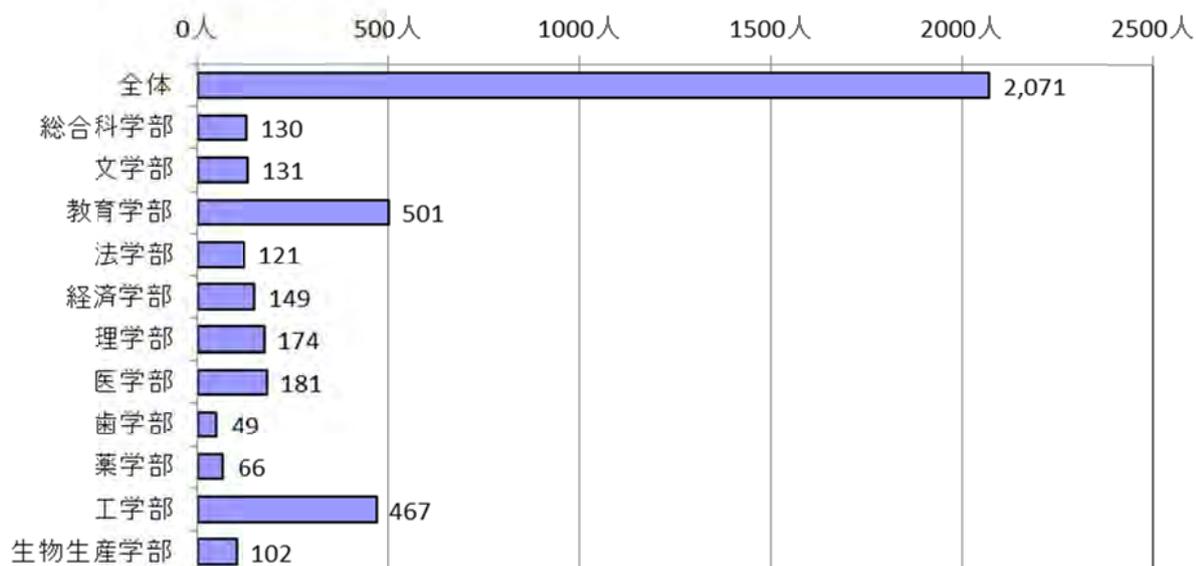
回答状況 全回答数 2,505（学部 2,071 大学院 425 法務研究科 6 特別専攻科 3）

回答率 16.3%（学部 19.0% 大学院 9.8% 法務研究科 3.6% 特別専攻科 27.3%）

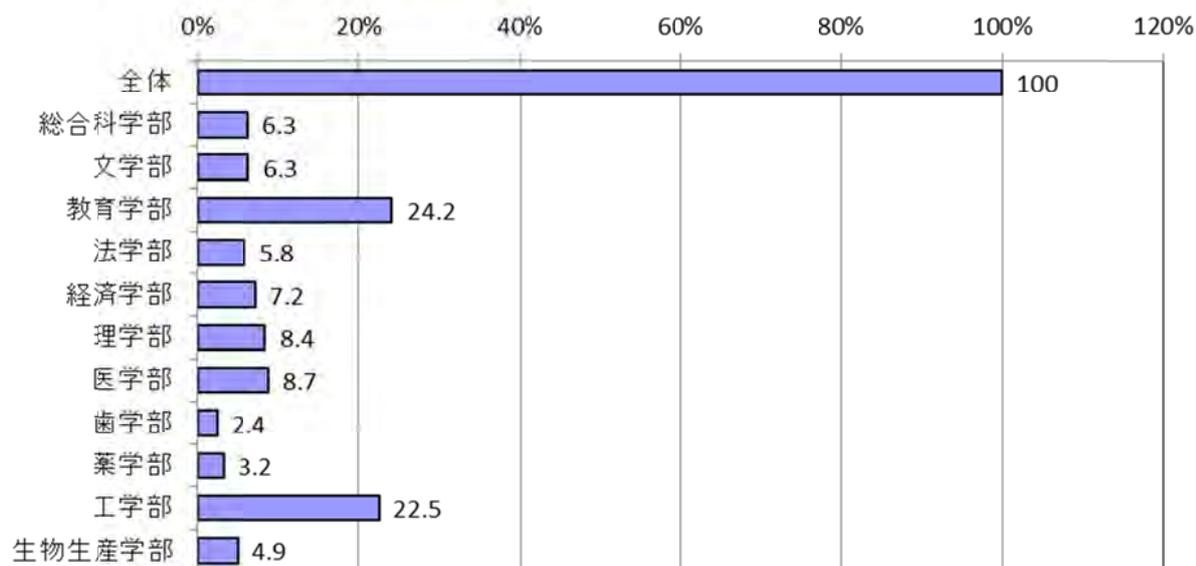
2 回答者の内訳

【学 部】

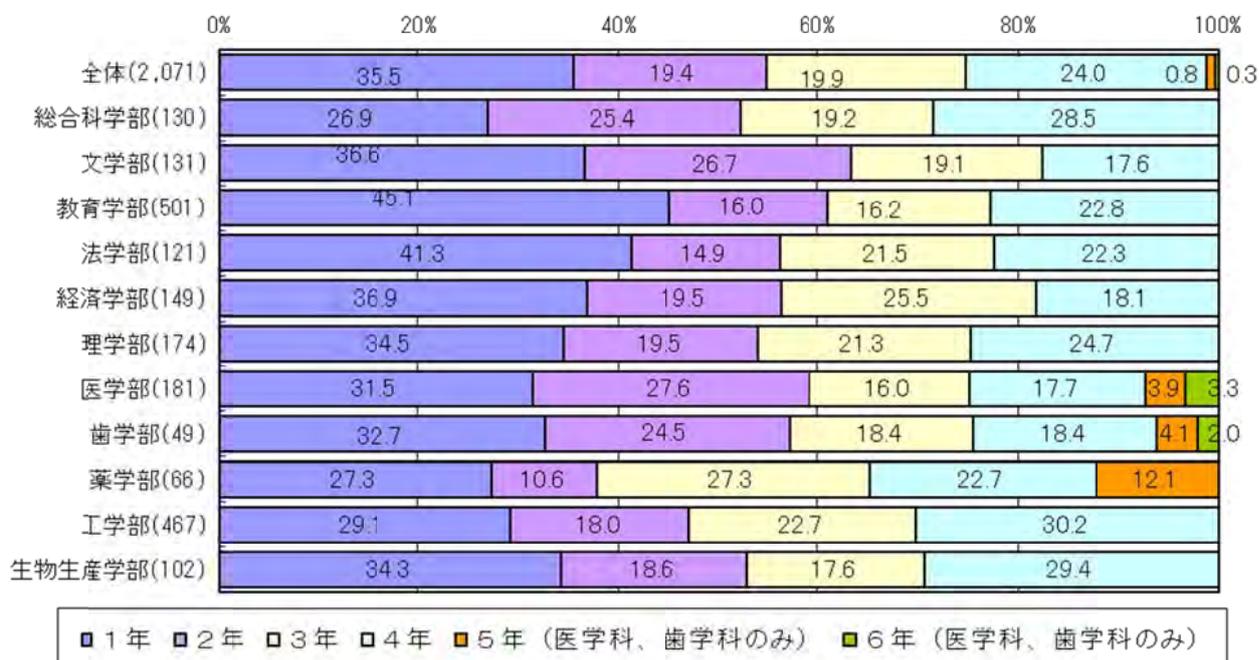
学部別回答者数



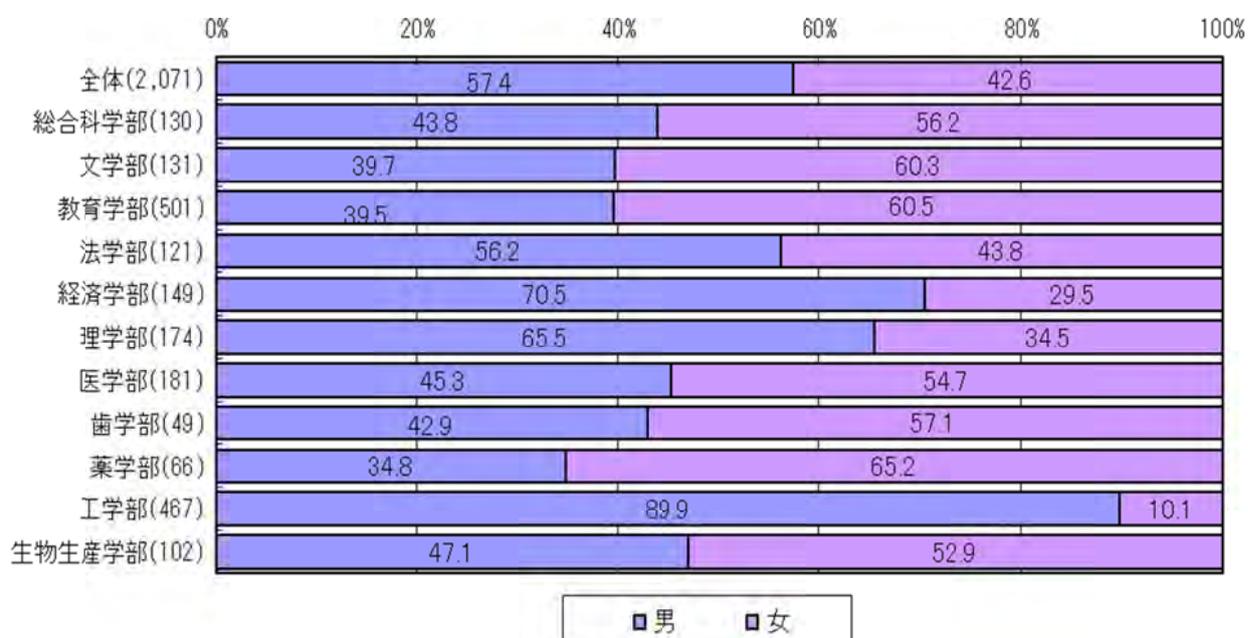
回答者の学部別構成比(%)



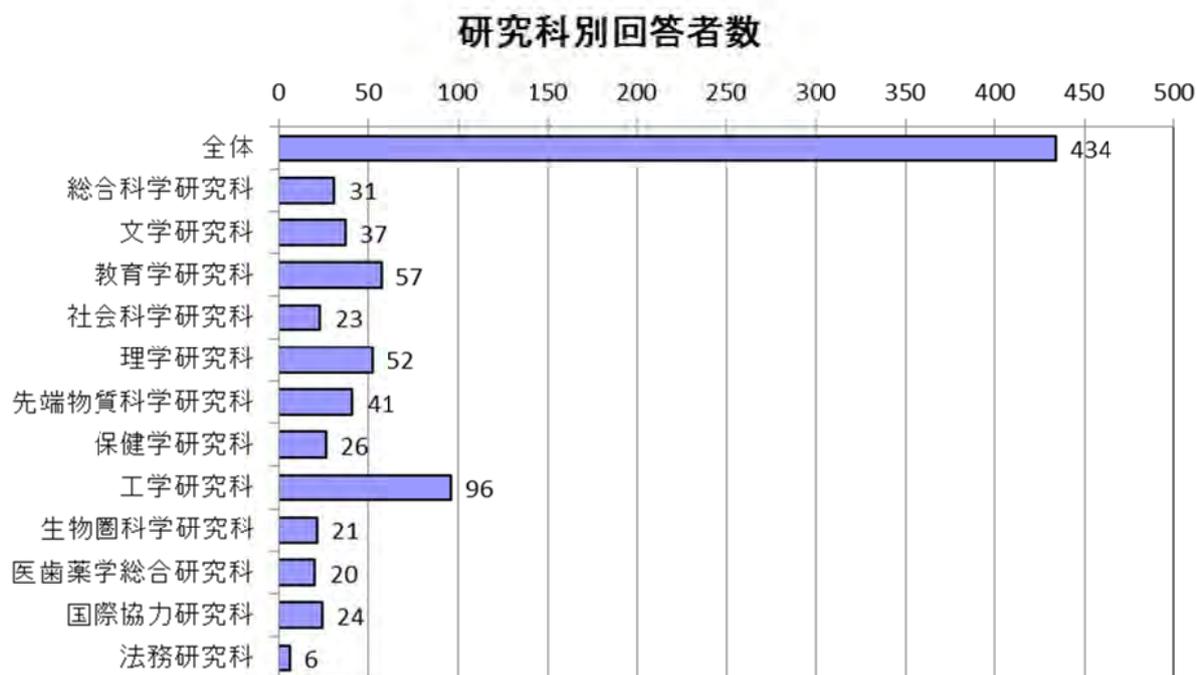
年次別



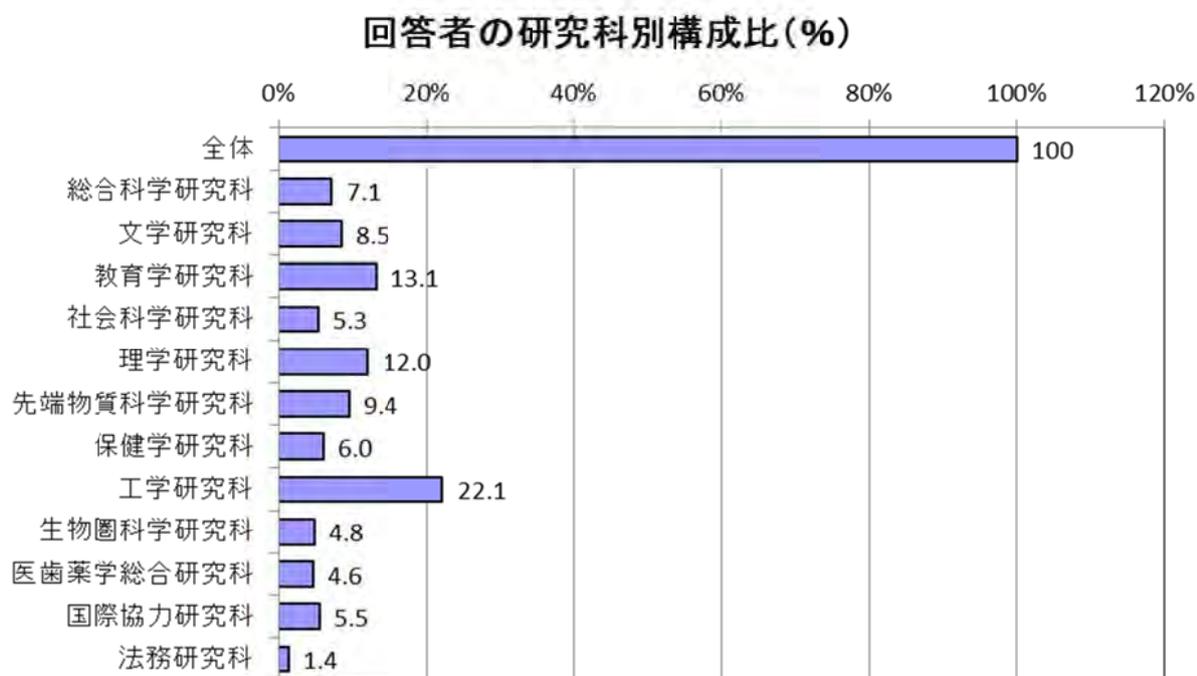
性別



【大学院】



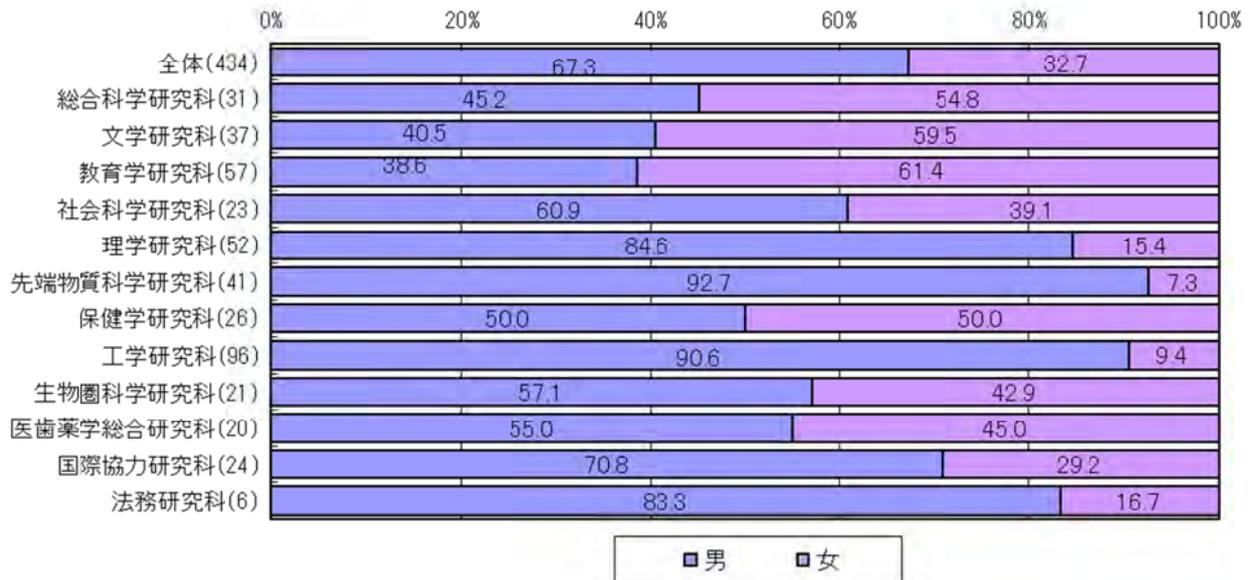
※特別支援教育特別専攻科 3名は教育学研究科に含めた。



年次別



性別



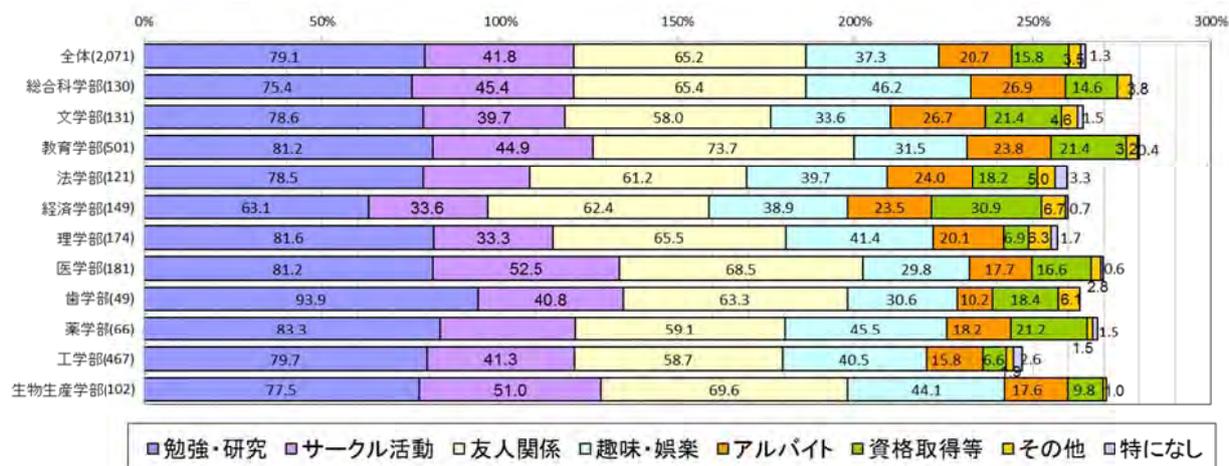
II 設問と回答分布

学 部

1 大学生活において大切にしているもの

8個の選択肢のうち、全体では多かった項目として勉強・研究（79.1%）と友人関係（65.2%）であった。サークル活動（41.8%）、趣味・娯楽（37.3%）、アルバイト（20.7%）、資格取得等（15.8%）の項目を選択した学生は少なかった。これらの傾向は各学部とも同様であった。

問1 大学生活において何を大切にしていますか。（複数回答可）

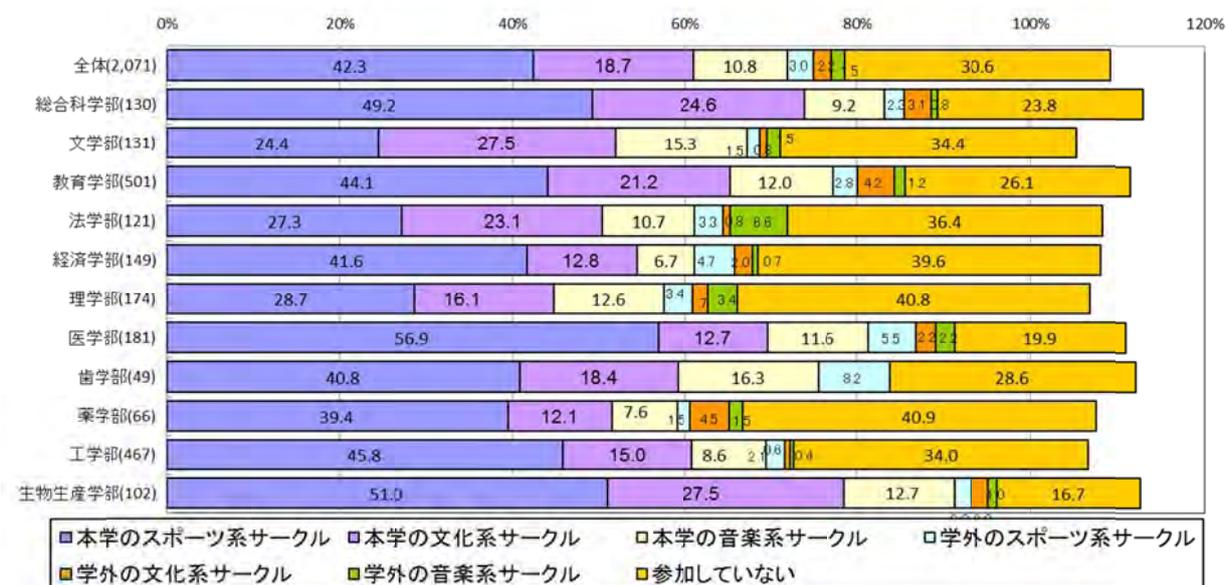


2 学内外のクラブ・サークル活動への参加

全体では、学内のスポーツ、文化、及び音楽系のクラブ・サークルに所属している学生は 71.8%と多く、学外のクラブ・サークルに所属している学生は 7%と少なかった。

学内及び学外の両方のクラブ・サークルに参加していない学生は 30.6%であり、前回の調査結果の 34%とほぼ同様の結果となった。また前回の調査結果では、夜間主コース、文学部、及び理学部のクラブ・サークル活動への参加が低かったが、今回の調査結果でも文学部、理学部、法学部の参加は他の学部 비해低い値であった。

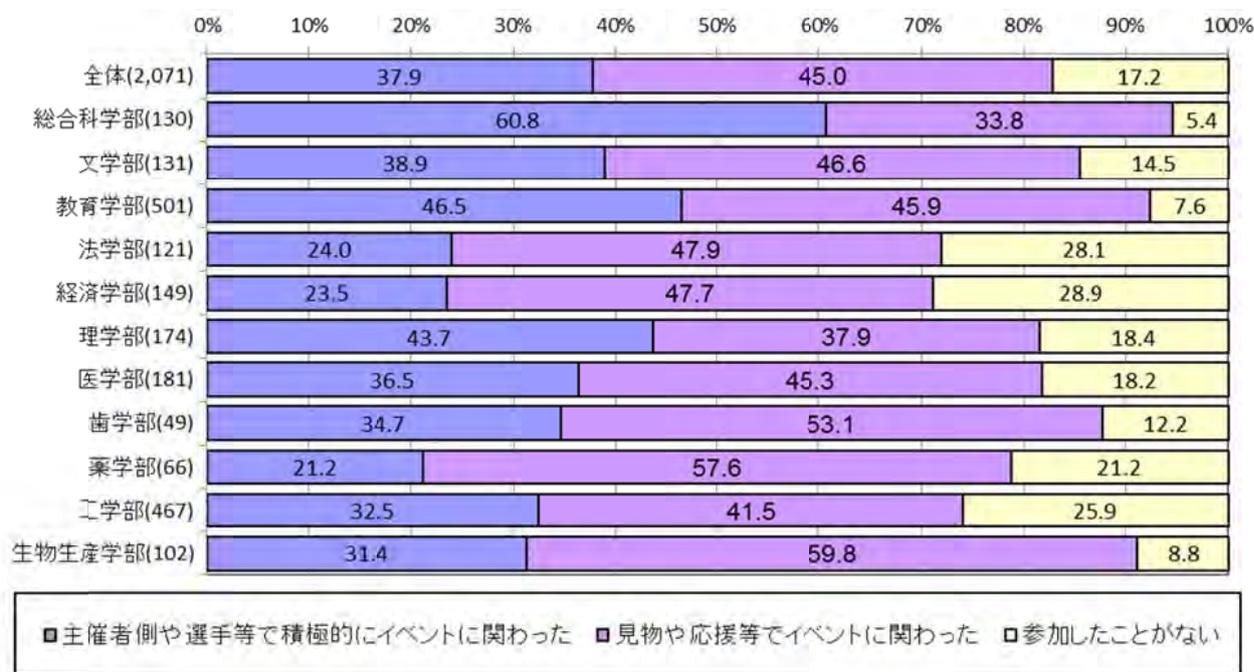
問2 学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）



3 大学の行事への参加

全体として、主催者や選手等でイベントに積極的に関わった学生は 38%、見物や応援等でイベントに参加した学生は 45%と、8 割以上の学生が大学行事に関わっていた。これらのことは、学生の大学行事への関心が高いことを示している。特に、総合科学部、教育学部、及び生物生産学部では、9 割以上の学生が高い関心を示していた。

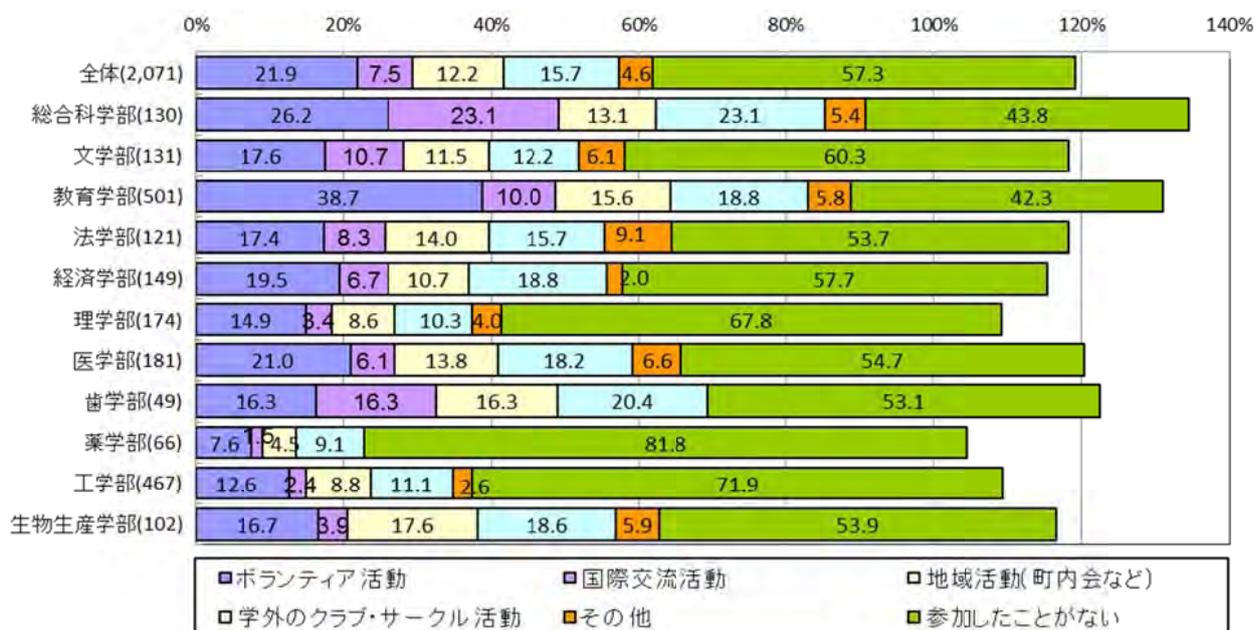
問3 大学祭、ゆかた祭、フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことがありますか。



4 ボランティアや地域活動への参加

全体として、ほぼ半数が何らかの活動に参加した経験を持っていた。このことは前回の調査結果とほぼ同様であった。中でも多かった項目として、ボランティア活動 (21.9%)、次いで学外のクラブ・サークル活動 (15.7%)、地域活動 (12.2%) の順となっていた。特にボランティア活動は、教育学部の参加が高かった。

問4 ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)

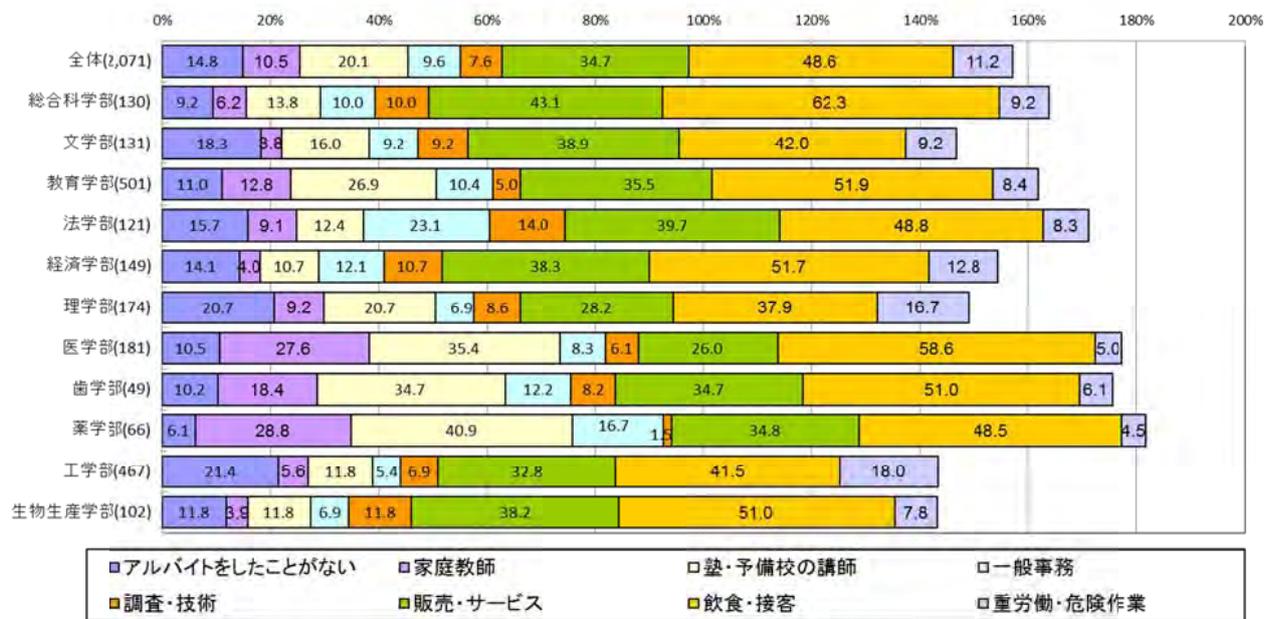


5 アルバイト

5-1 アルバイトの経験

全体では8割以上の学生がアルバイトを経験していた。その職種として、飲食・接客（48.6%）、販売・サービス業（34.7%）が多く、塾・予備校の講師（20.1%）や家庭教師（10.5%）の経験は少なかった。

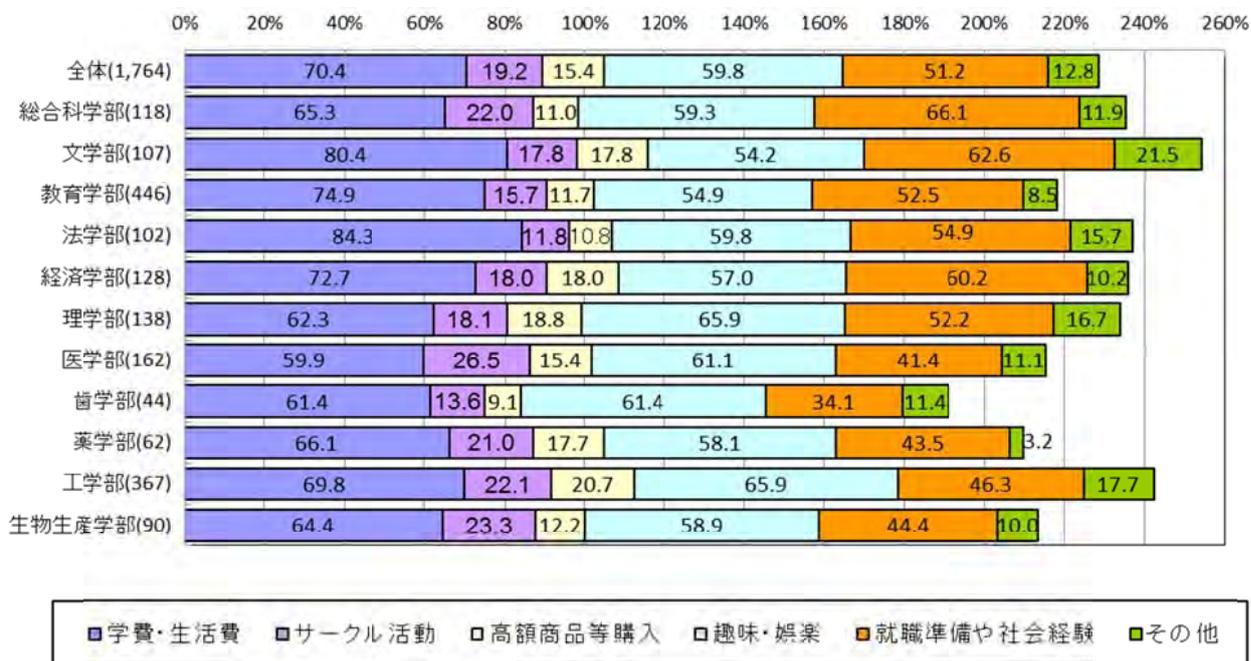
問5 入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。（複数回答可）



5-2 アルバイトの目的

アルバイトの経験がある学生のうち、70.4%の学生がアルバイトの目的を学費・生活費のためと回答した。また、趣味・娯楽（59.8%）と就職準備や社会経験（51.2%）のためと回答した学生も多かった。

問6 アルバイトの主な目的は何ですか。（複数回答可）

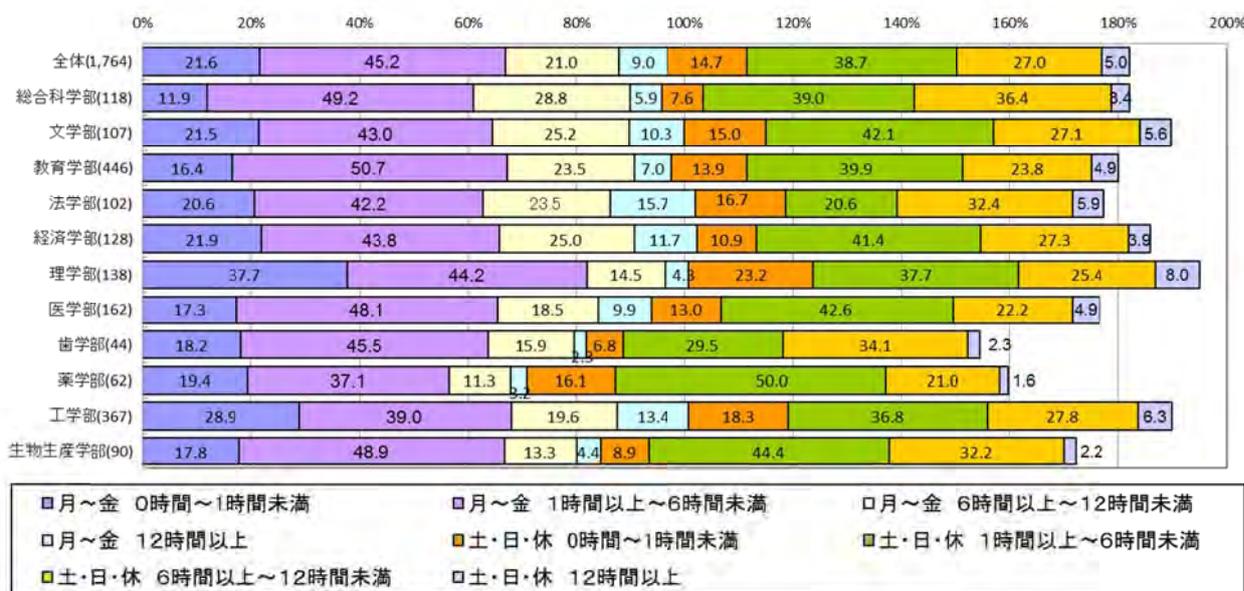


5-3 アルバイトの時間

アルバイトの経験がある学生のうち、アルバイトに充てている時間は平日の月曜から金曜までの5日間で、1時間以上6時間未満が多く(45.2%)、次いで土日休日の1時間以上6時間未満(38.7%)であった。

これらの結果は、前回の調査結果(平日5日間の平均で8.3時間、土日2日間で平均6.4時間)と比較し、アルバイトに充てている時間は少ない結果となった。

問7 アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜 及び 日曜・休日」それぞれの中から一ずつ選択してください。

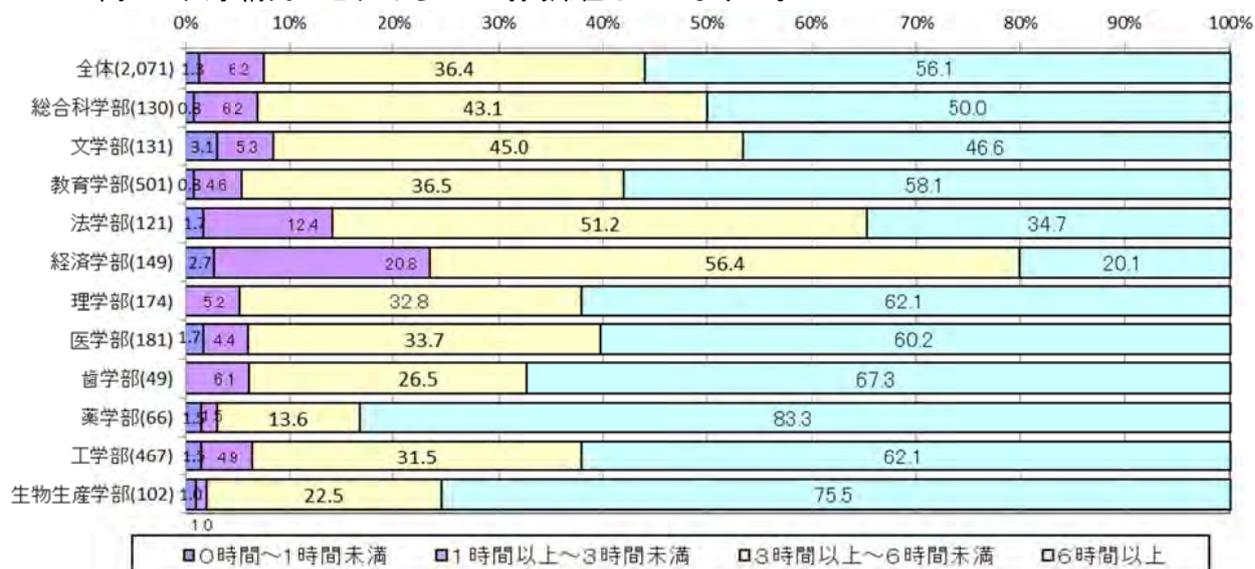


6 大学構内での滞在時間・場所について

6-1 大学構内の滞在時間

大学全体では、過半数(56.1%)の学生が6時間以上、大学に滞在している。これは、前回の調査とほぼ同様である(平成20年度54.0%)。6時間以上滞在している学生の比率を学部別にみると、多い順に、薬学部、生物生産学部、歯学部、工学部/理学部、医学部となり、一方、少ない順では、経済学部、法学部、文学部となる。一般的に、理系が文系に比べ、長時間、大学に滞在している傾向がある。

問8 大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

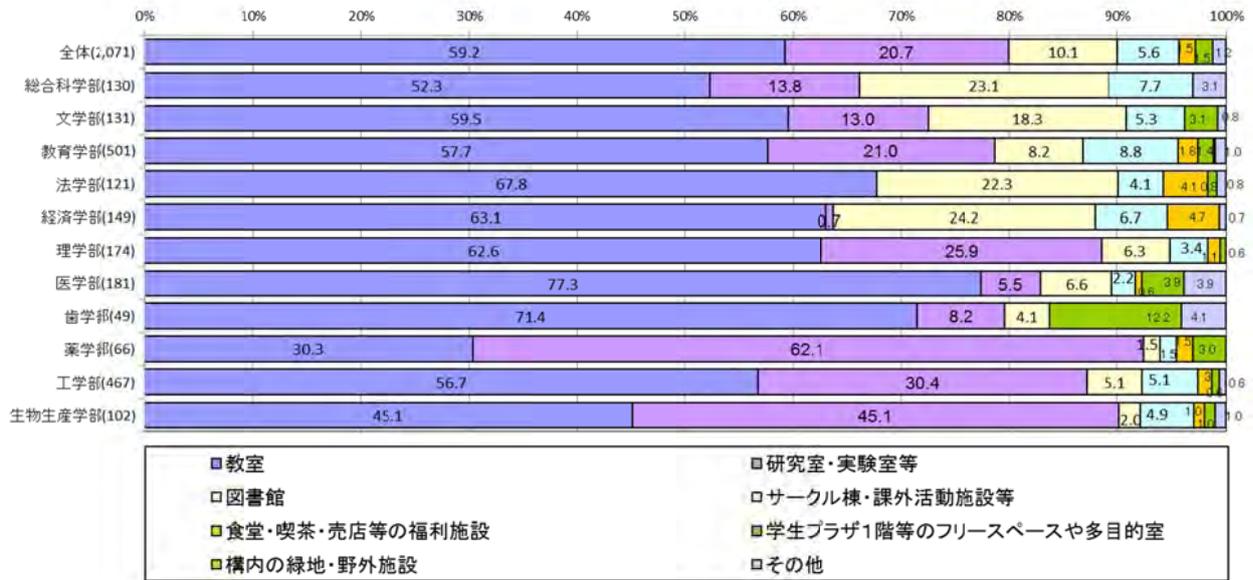


6-2 大学構内での滞在場所

大学内で1番多く滞在中の場所を全体でみると、教室（59.2%）、研究室・実験室（20.7%）、図書館（10.1%）の順になる。学部別にみると、理系、特に、薬学部では、研究室・実験室が1番多く滞在中の場所となり、他の理系学部においても（生物生産学部、工学部、理学部）、研究室・実験室の滞在割合が高くなる傾向にある。一方、文系では（経済学部、総合科学部、法学部、文学部）、研究室・実験室よりも、図書館の滞在割合が高い。

大学内で2番目に多く滞在中の場所は、図書館に続いて、食堂などの福利施設である。

問9 大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在中の場所はどこですか。



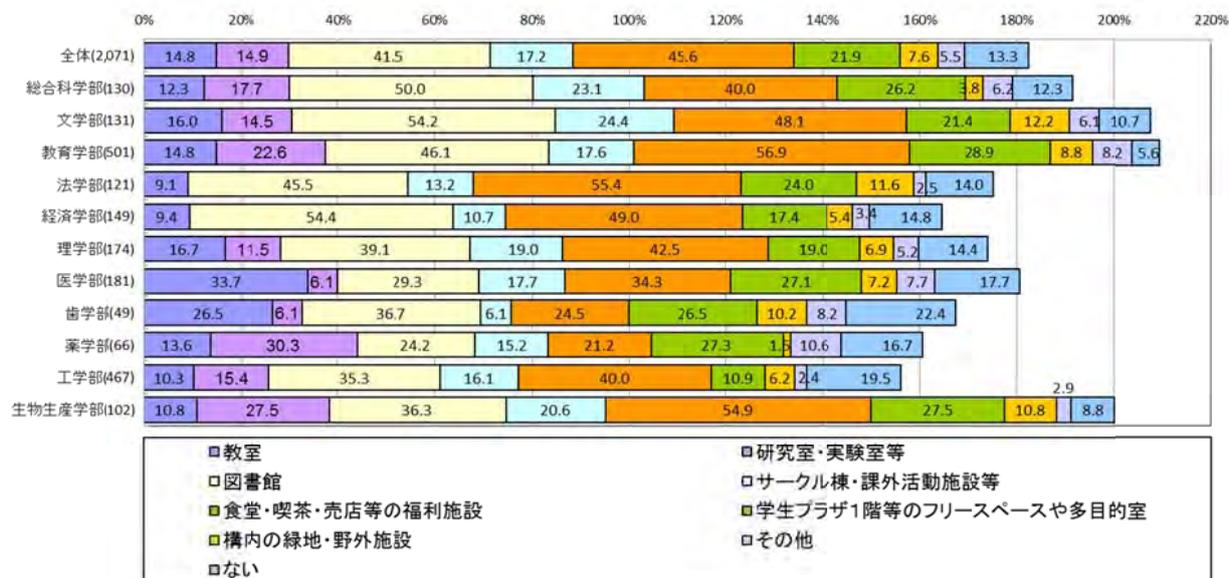
問10 大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在中の場所はどこですか



7 大学構内でくつろいで過ごせる場所

大学構内でくつろいで過ごせる場所は、学部別に大きな差異はなく、食堂などの福利施設、図書館、学生プラザ1階（フリースペース・多目的室）の順である。くつろげる場所が、「ない」と答えた学生は、全体では13.3%で、前回調査（平成20年度）の28.6%から、かなり減少した。これは、学生プラザのフリースペースなど、福利施設の充実が要因の一つと考えられる。

問11 大学内にくつろいで過ごせる場所はありますか。（複数回答可）



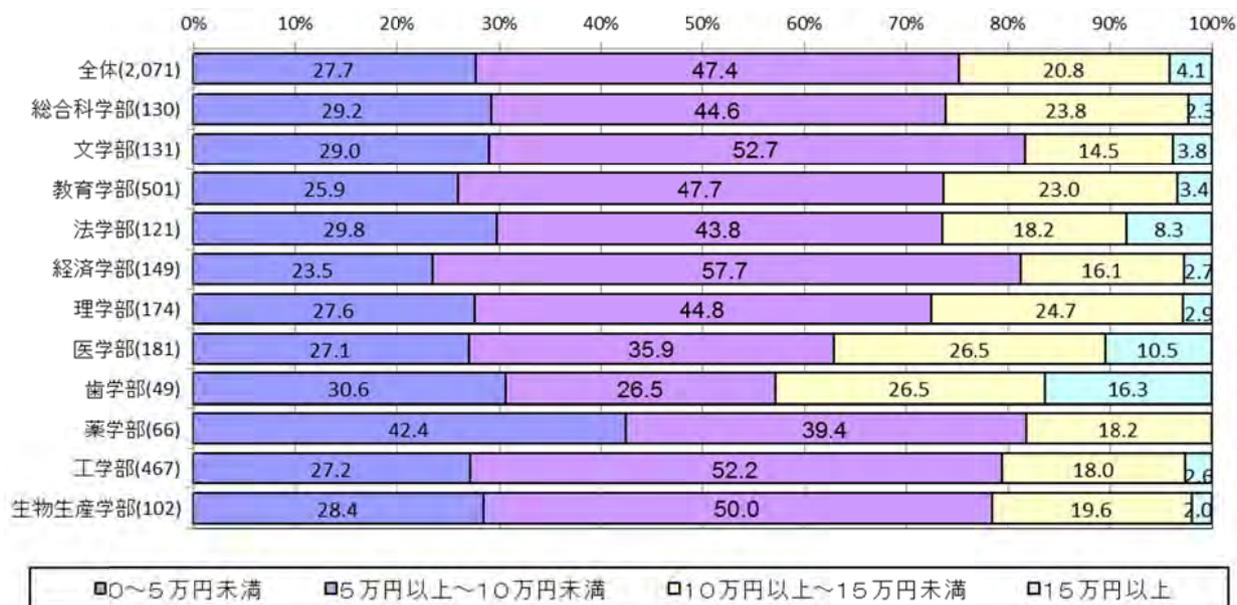
8 1ヶ月の生計費（収入・支出）

8-1 収入

最も多いのは5万円以上10万円未満（47.4%）、次いで5万円未満（27.7%）で、いずれも平成20年度の調査より増加している。5万円以上10万円未満（31.3%→47.4%）、5万円未満（11.8%→27.7%）。10万円以上収入のある割合が半分以下に減少している（56.9%→24.9%）。

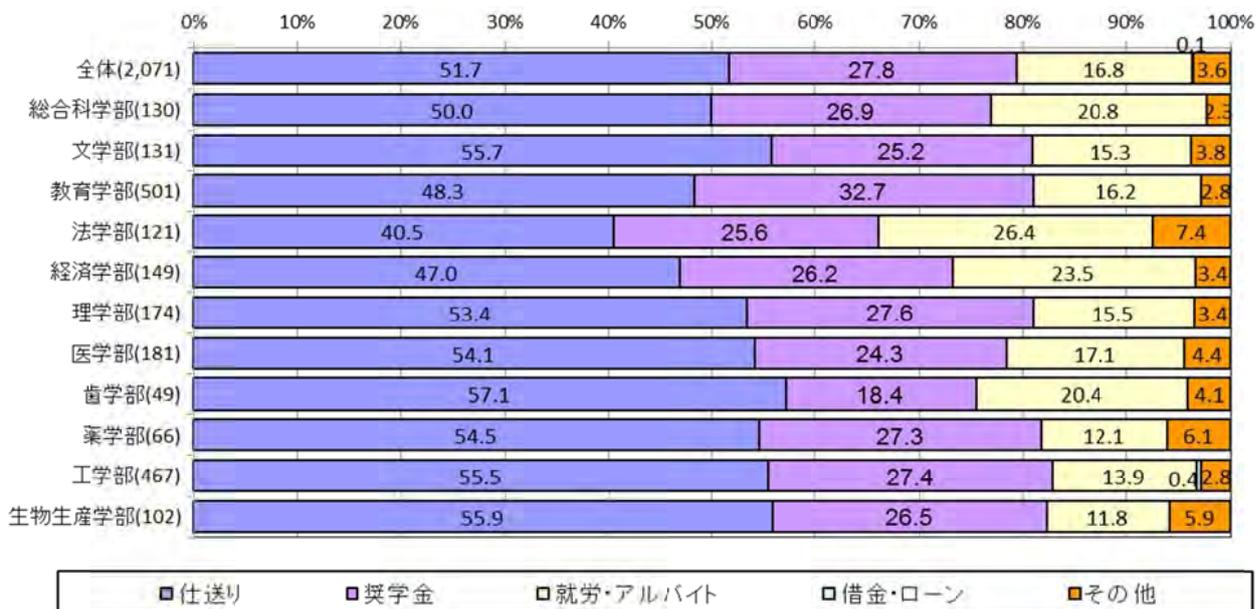
問12と問13の結果から、リーマンショック以降の景気後退の影響により、仕送りが減少していることが推測できる（授業料免除や奨学金等の支援策の拡充について検討する必要があるか）。

問12 1ヶ月の生計費（収入）はいくらですか。



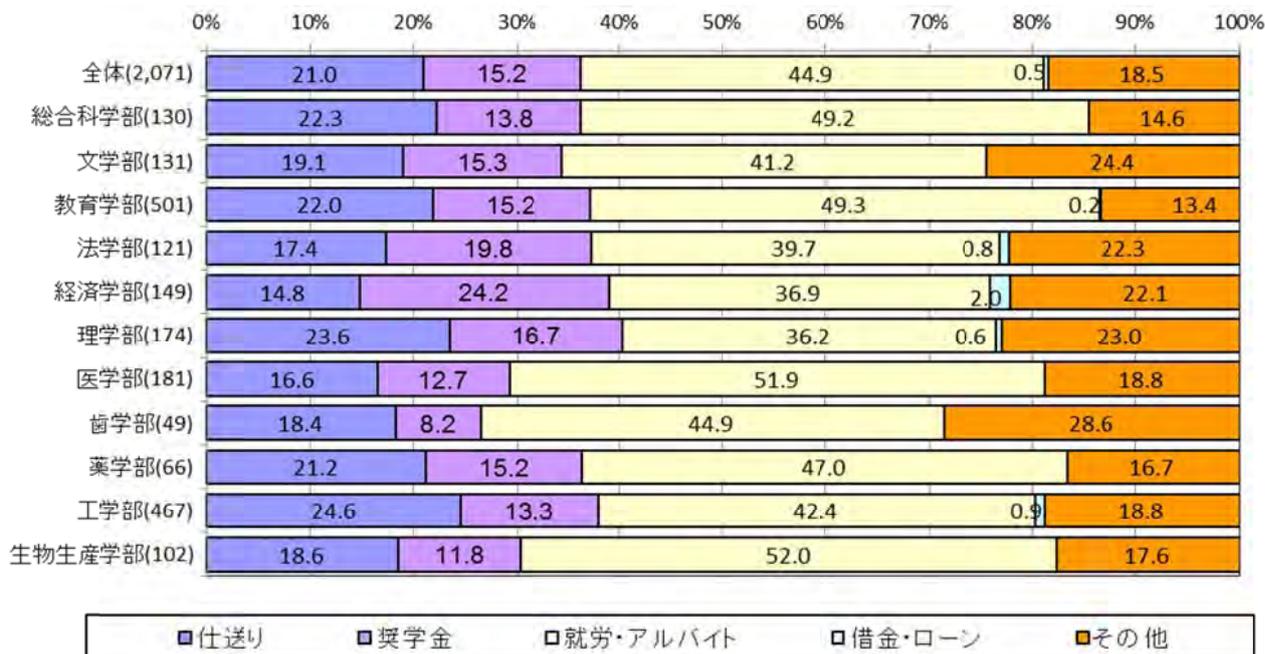
問 13 1ヶ月の生計費（収入）のうち、1番多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは仕送り（51.7%）、次いで奨学金（27.8%）、就労・アルバイト（16.8%）と続く。



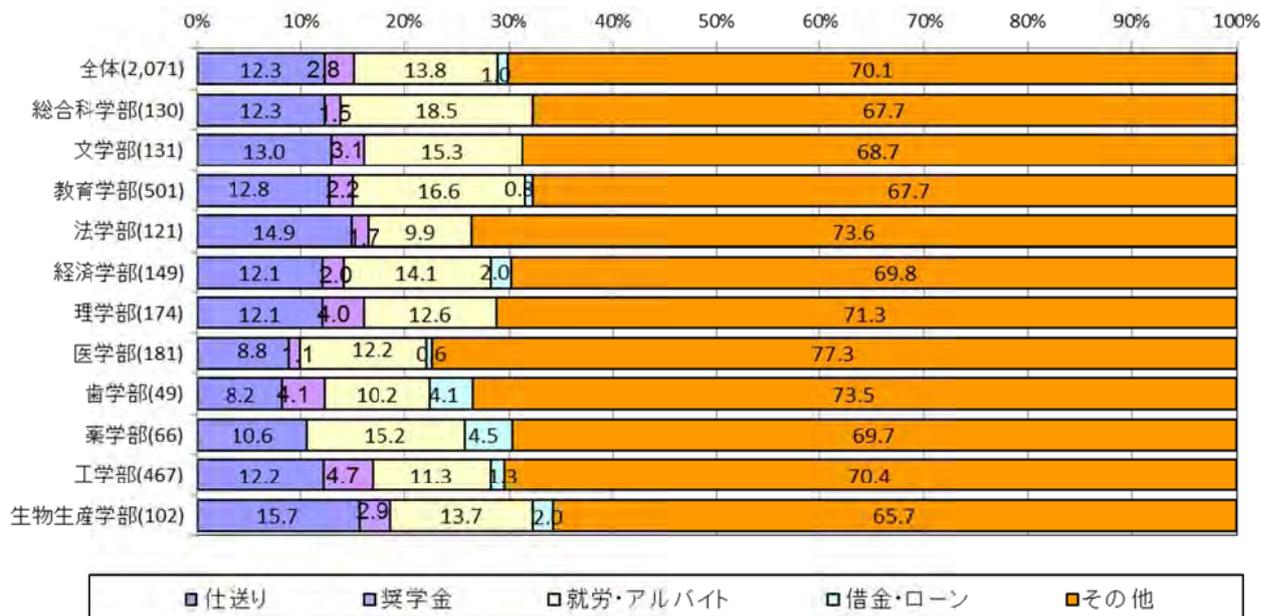
問 14 1ヶ月の生計費（収入）のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは就労・アルバイト（44.9%）、次いで仕送り（21.0%）と続く。



問 15 1ヶ月の生計費（収入）のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか。

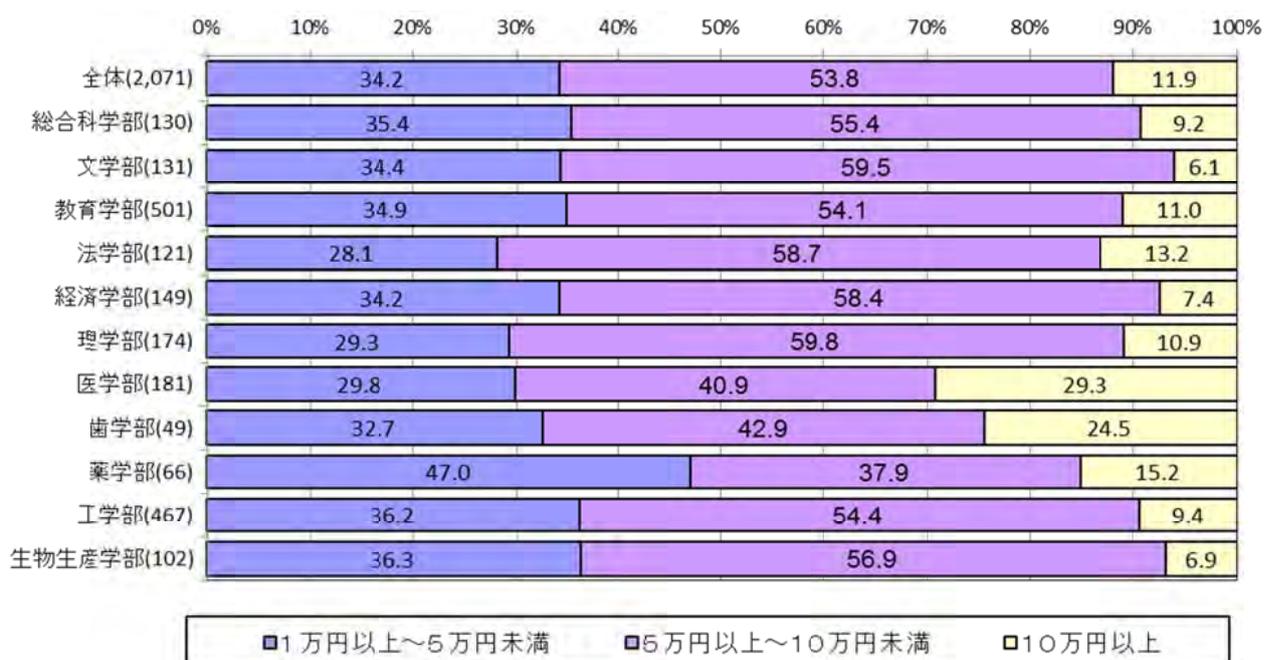
最も多いのがその他（70.1%）であり、実態は不明である。



8-2 支出

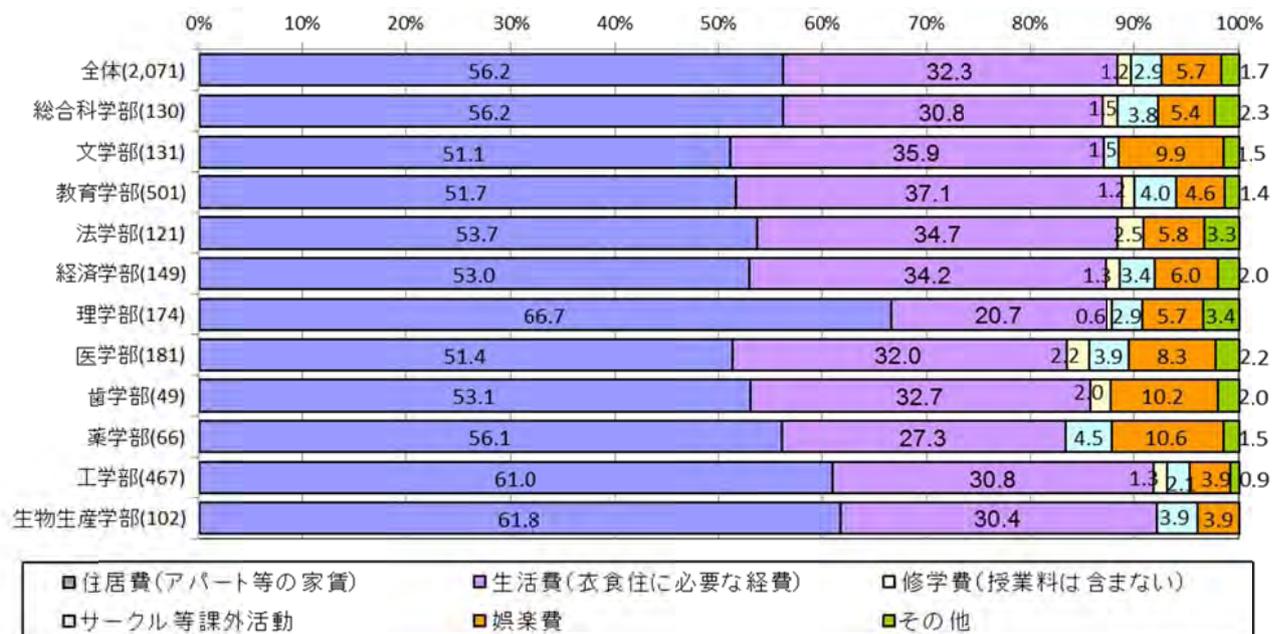
最も多いのは5万円以上10万円未満（53.8%）、次いで5万円未満（34.2%）、いずれも平成20年度の調査より増加している。5万円以上10万円未満（32.9%→53.8%）、5万円未満（21.5%→34.2%）。10万円以上支出している割合が大幅に減少している（45.6%→11.9%）医学部、歯学部は10万円以上支出している割合が他学部比べて多い（平均11.9%、医学部29.3%、歯学部24.5%）。

問 16 1ヶ月の生計費の支出はいくらですか。



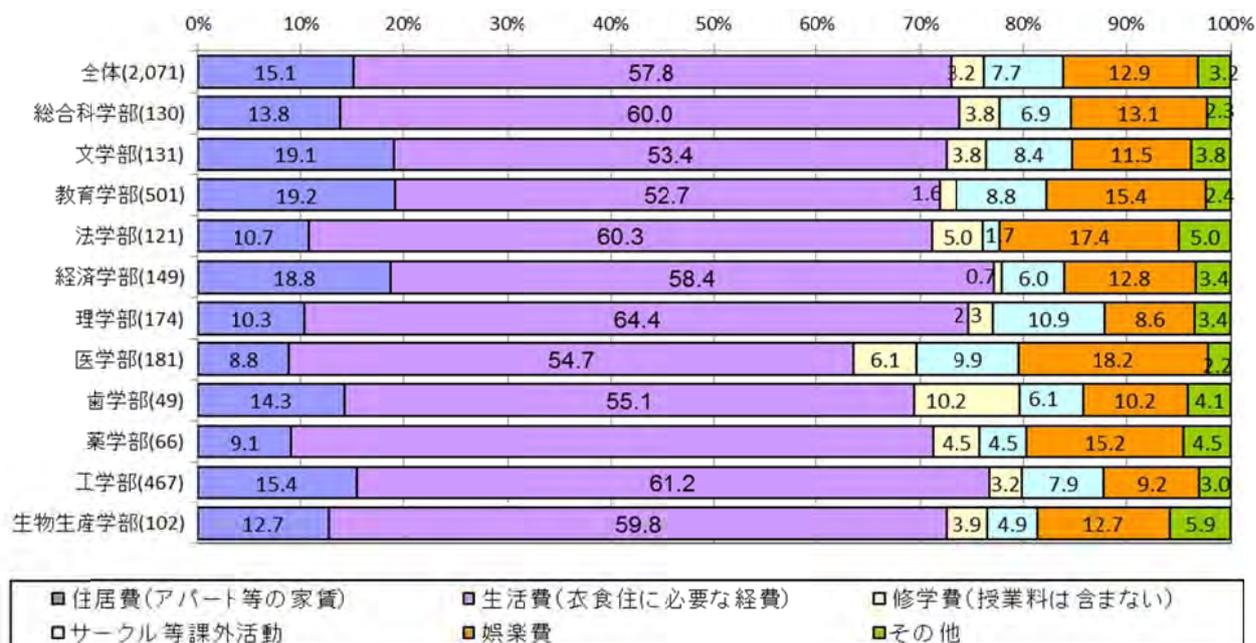
問 17 1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは住居費（56.2%）、次いで生活費（32.3%）。



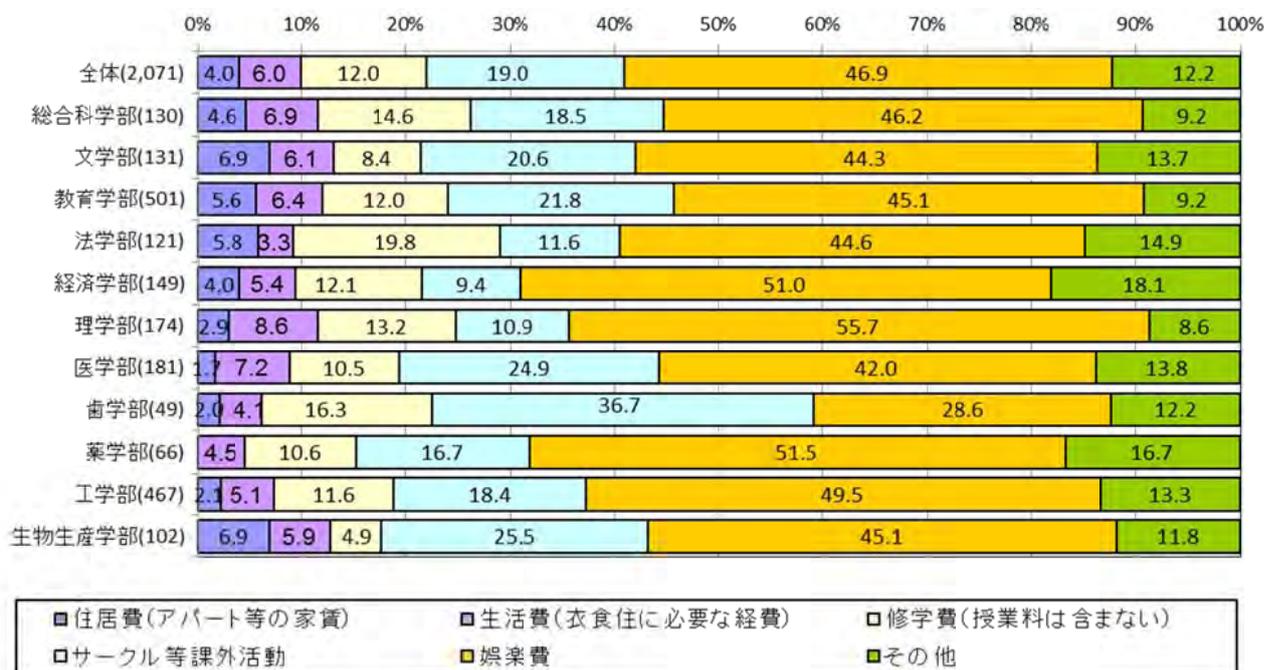
問 18 1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは生活費（57.8%）、次いで住居費（15.1%）、娯楽費（12.9%）と続く。



問 19 1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

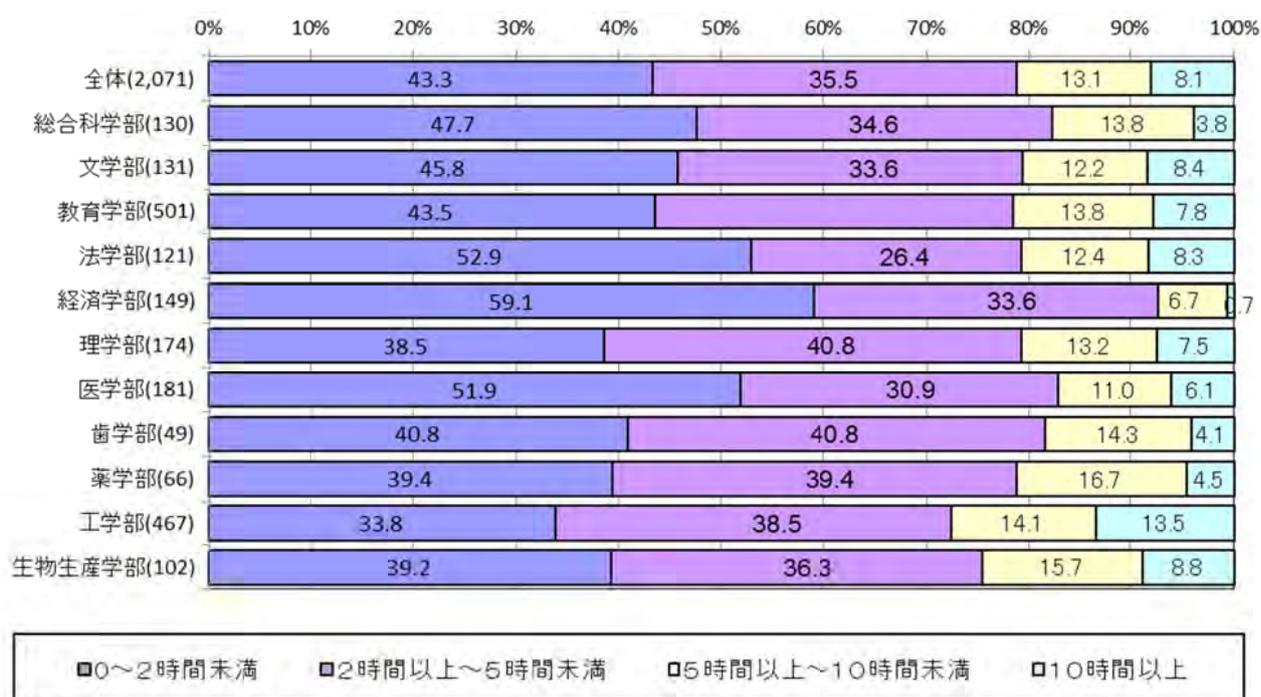
最も多いのは、娯楽費（46.9%）、次いでサークル等課外活動（19.0%）である。



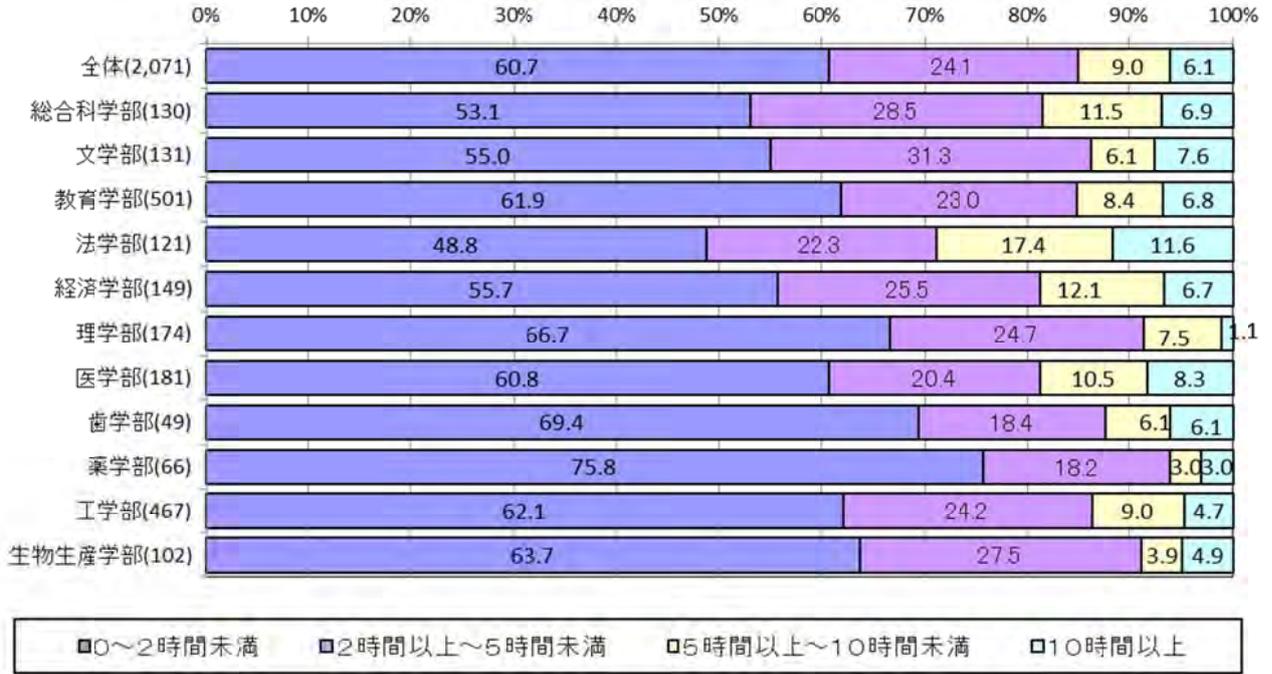
9 1週間の学習時間

授業等の予習・復習に充てている1週間の平均時間を全学的にみると、2時間未満が43.3%、2時間から5時間未満が35.5%、5時間から10時間未満が13.1%であり、この傾向は、学部別に大きな差異はない。また、授業や研究以外の学習に充てている時間も、全学的にみると、2時間未満が60.7%、2時間から5時間未満が24.1%である。

問 20 1週間を平均して、授業やゼミの予習・復習にどれくらいの時間をあてていますか。



問 21 1週間を平均して、授業や研究以外の学習にどれくらいの時間をあてていますか。



10 所有もしくは占有している物

学生の所有物の所有比率は、自動車 18.2% (前回調査平成 20 年度: 20.8%)、オートバイ 2.6% (3.7%)、原付・スクーター 21.3% (24.7%)、自転車 85.4% (82.2%) などについては、前回調査時とほとんど変わらないが、一方、携帯電話 95.8% (90.7%)、パソコン 88.7% (78.3%)、ルームエアコン 76.7% (70.9%)、携帯音楽プレーヤー 71.0% (57.4%) などは、前回調査時よりも顕著に増加し、ほとんどの学生が所有している。

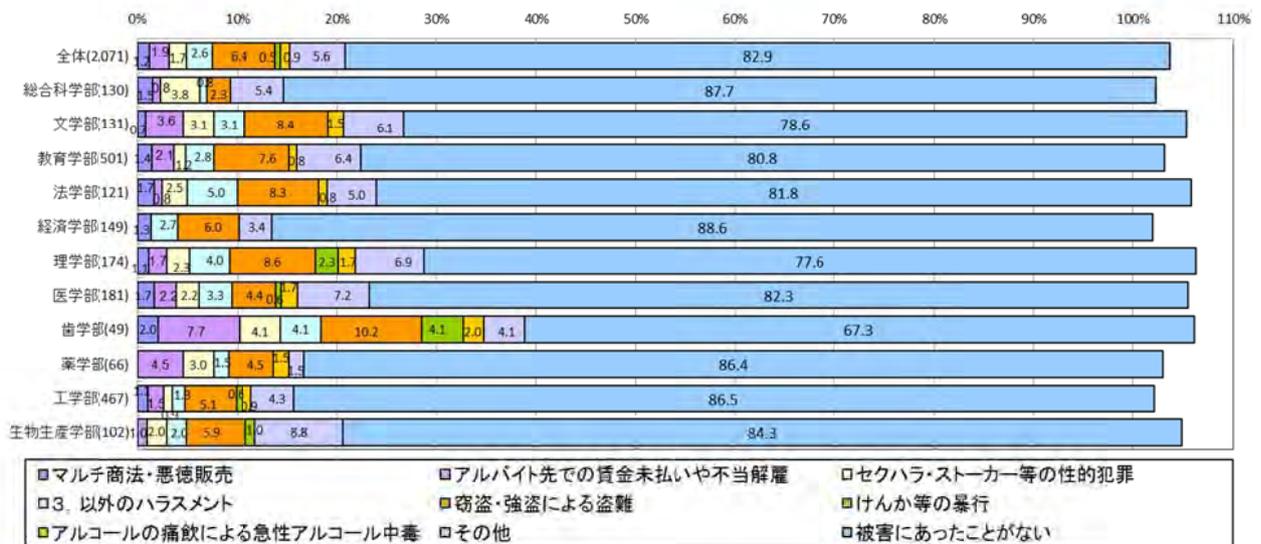
問 22 所有もしくは専用物がありますか。(複数回答可)



11 犯罪やトラブルなどの被害経験

犯罪やトラブルなど、何らかの被害にあったことがある者は 17.1%と、前回調査とほぼ同じ結果であった。割合として高いのは盗難であるが、前回 4.9%から今回 6.4%に増加している。マルチ商法・悪徳販売 1.2%、アルバイト先での賃金未払いや不当解雇 1.9%と金銭をめぐるトラブルの他に、セクハラ・ストーカー等の性的犯罪 1.7%、セクハラ以外のハラスメント 2.6%といった人権侵害がある。また、アルコールの痛飲による急性アルコール中毒 0.9%は、前回よりも 0.3%増加している。

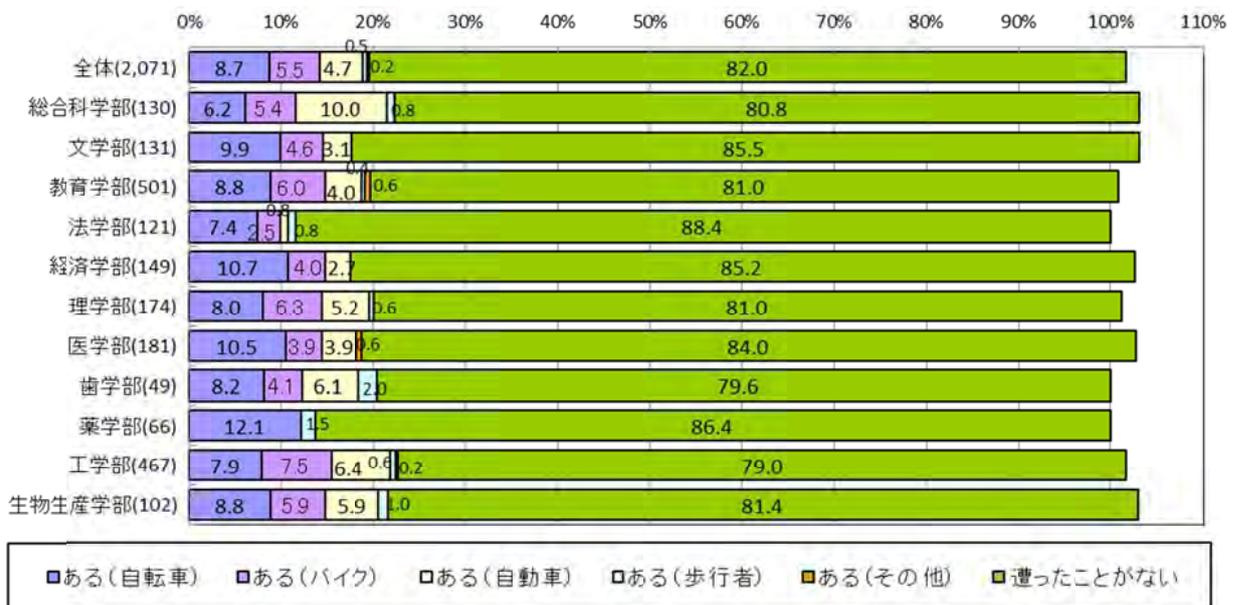
問 23 学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。(複数回答可)



12 交通事故の経験

在学中に交通事故にあったことがある者は 18%。自転車での事故がもっとも多く 8.7%、次にバイク 5.5%、自動車 4.7%とつづき、歩行中の事故も 0.5%が経験している。

問 24 在学中交通事故に遭ったことがありますか。(複数回答可)

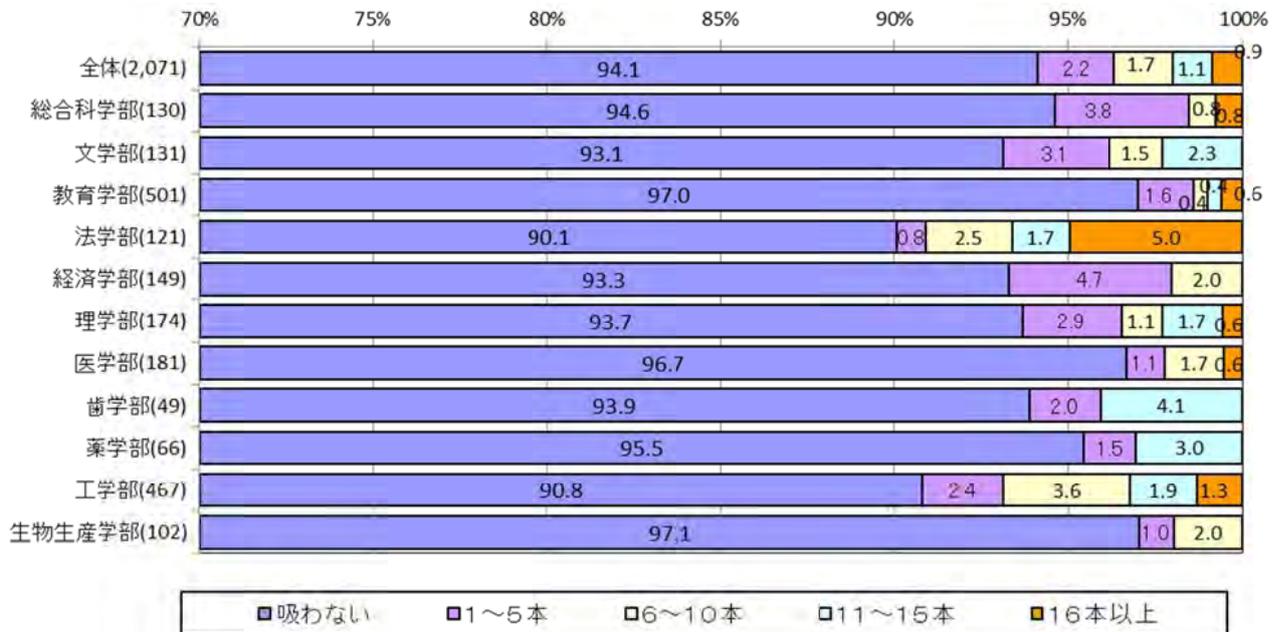


13 喫煙及び飲酒の習慣

13-1 喫煙

喫煙の習慣がある者は5.9%であり、前回7.0%からさらに減少している。また、吸う本数は1日10本以下が喫煙者の3分の2を占める。

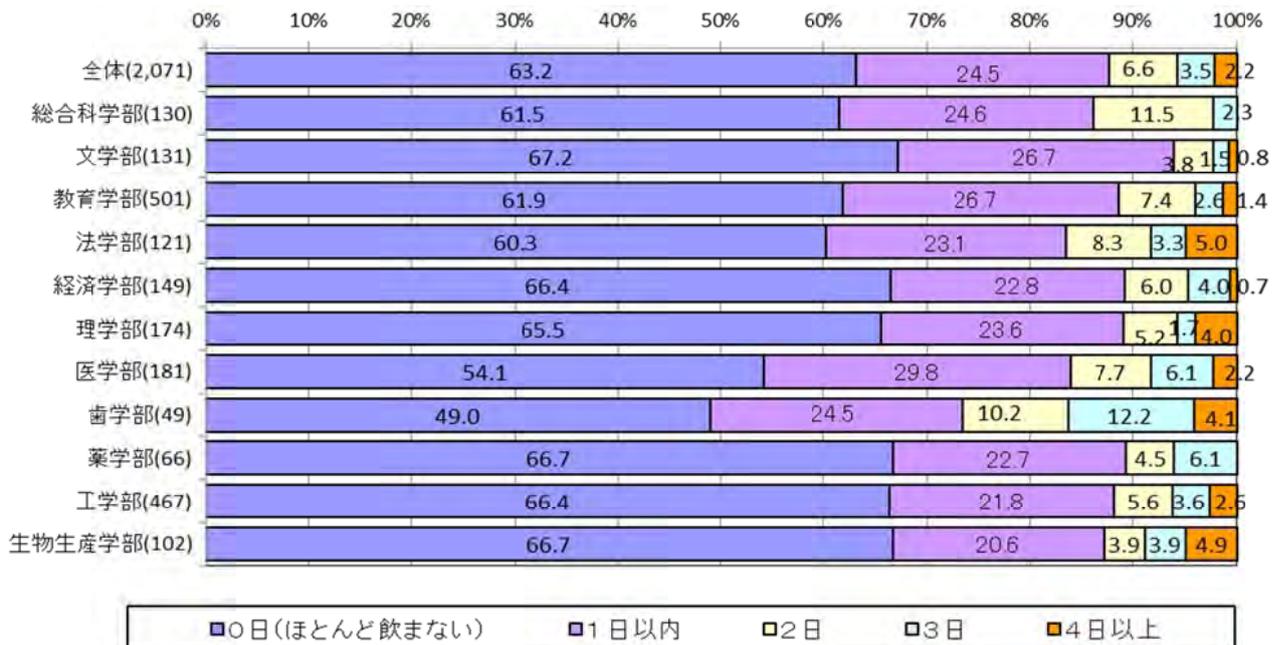
問 25 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください。



13-2 飲酒

飲酒の習慣がある者は36.8%であり、前回34.1%よりも若干増加している。1週間に飲む日数は1~2日が大半である。

問 26 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数をお答えください。



14 薬物（大麻等・覚醒剤）について

薬物（大麻等・覚醒剤）について、97.4%が見たり聞いたりしたことはないと回答している。しかし、所持又は使用している人を見たり聞いたりしたことがある者2.0%、薬物の使用や栽培を誘われたことがある者も0.5%と存在する。

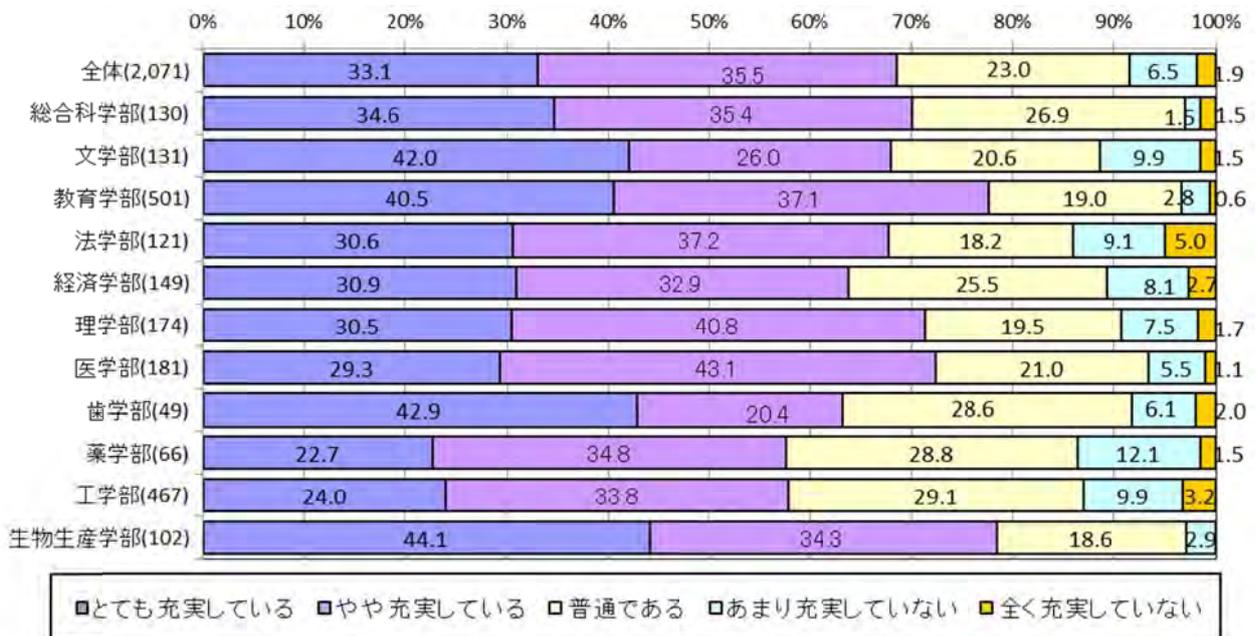
問 27 薬物（大麻等・覚醒剤）について、該当するものを選択してください。（複数回答可）



15 授業以外の学生生活の充実度

全体では「とても充実している」「やや充実している」を合わせると68.6%で、3人に2人が肯定的にとらえていた前回調査と同様の結果であった。「あまり充実していない」「全く充実していない」と回答したのは、2.9~14.1%と学部によってややばらつきがみられた。

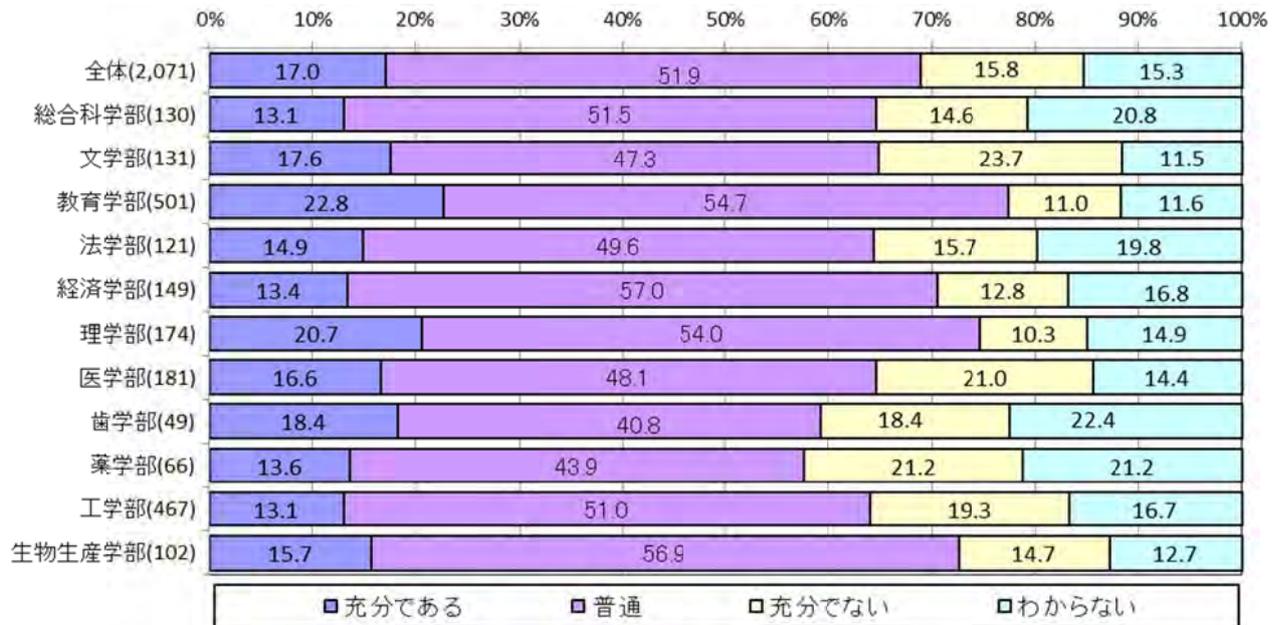
問 28 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。



16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

前回調査と比較すると、「充分である」が 13.5%から 17.0%に増加している一方で、「充分でない」も 13.7%から 15.8%と若干増加している。「充分である」「普通」を合わせると約7割となり、前回とほぼ同じ結果であった。

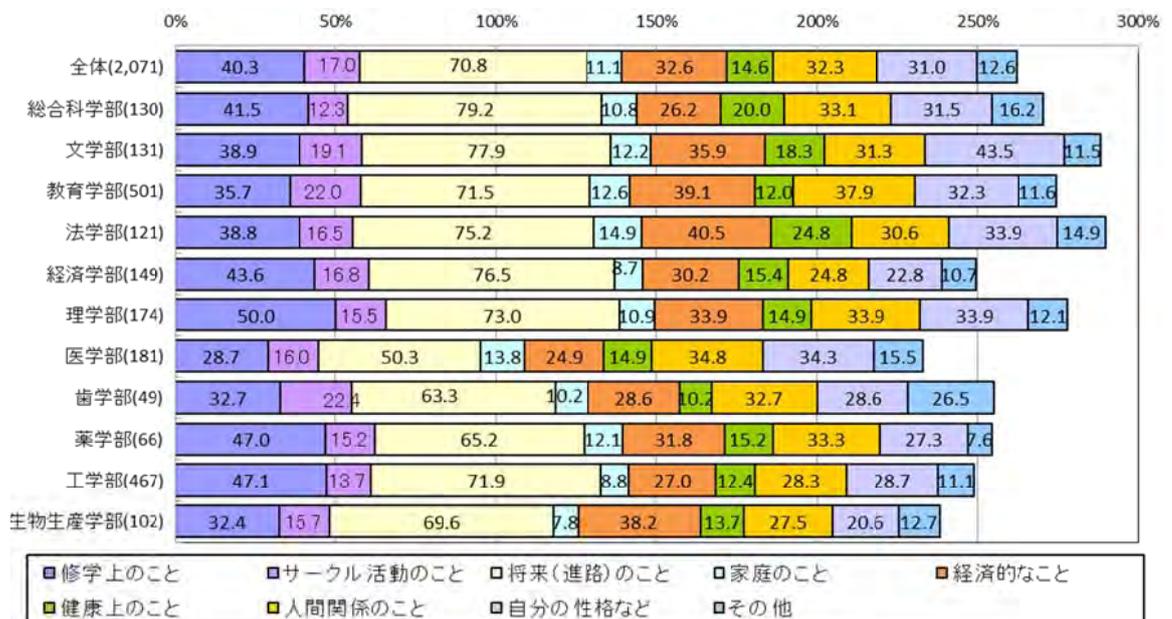
問 29 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。



17 学生生活の悩み

この問の回答には、「悩みはない」という選択肢を設けていなかったため、回答者は何れか1つは必ず選択するという結果になっている。その中でもっとも多かったのは将来（進路）のこと 70.8%であり、次に修学上の問題 40.3%、経済的なこと 32.6%と続く。人間関係や自分の性格などの悩みがそれぞれ 30%強、サークル活動 17.0%、さらに、健康上のこと 14.6%と7人に1人が健康面で悩みを抱えている。

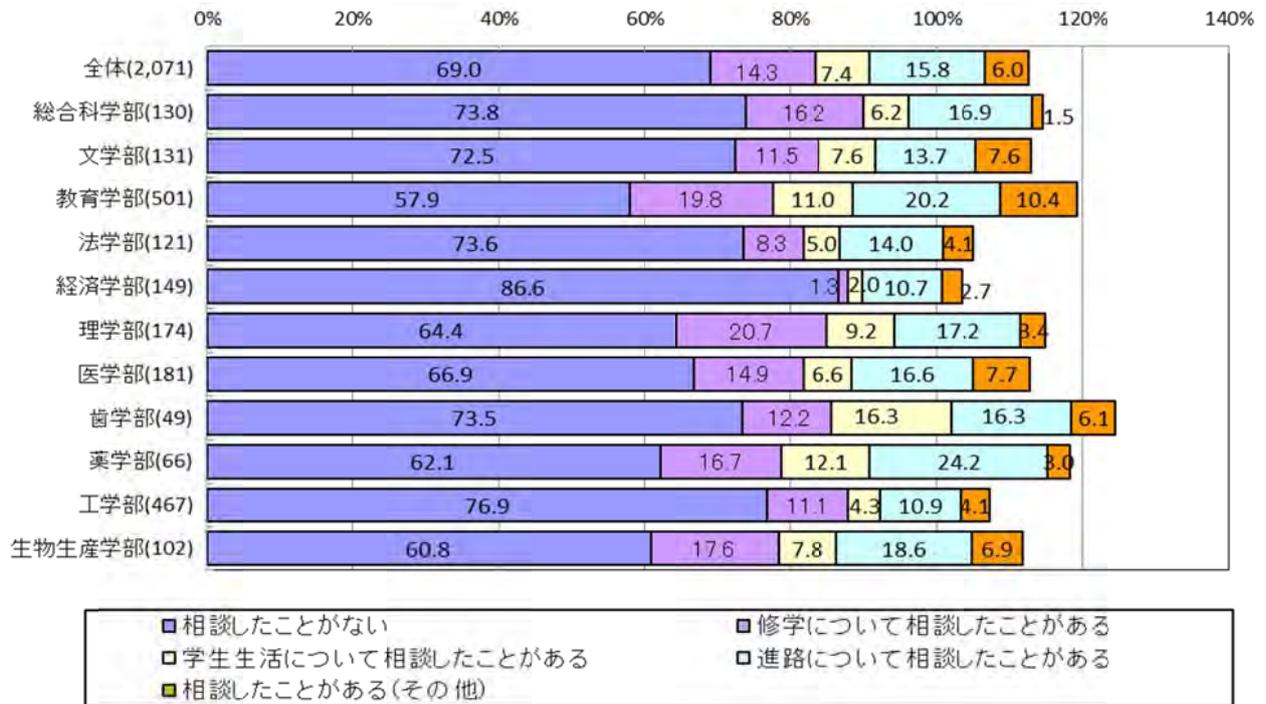
問 30 学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）



18 チューターへの相談と相談内容

チューターへの相談経験は13.4～42.1%と学部によってかなりばらつきがある。全体では31%に相談の経験があり、前回調査27%より若干増えている。また、相談内容で多いのは、前回同様修学や進路に関するもので、15%前後の者がそれらの問題についてチューターに相談している。

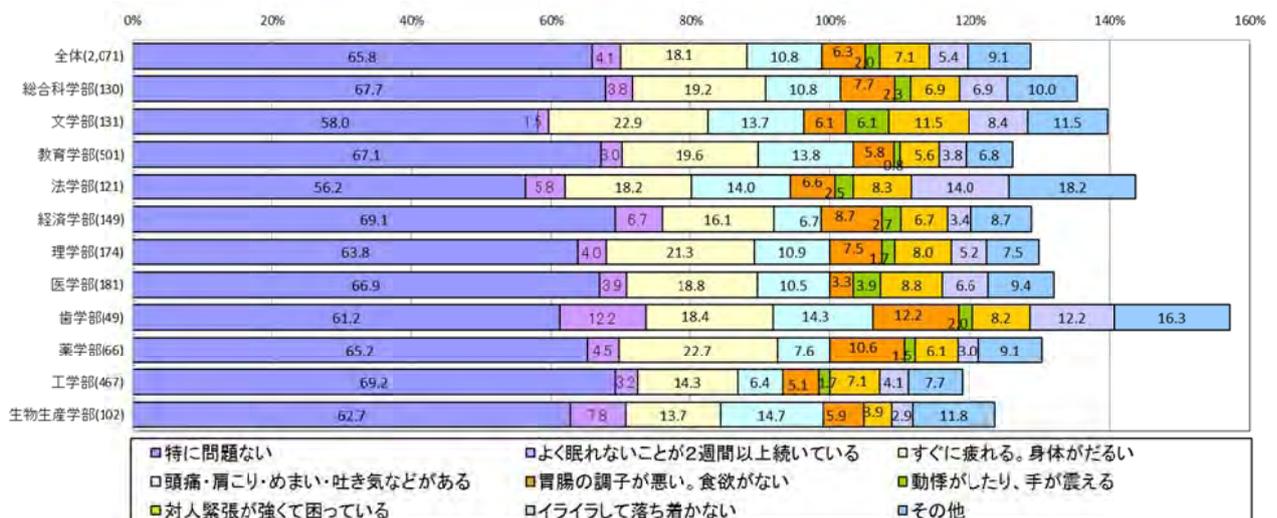
問 31 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は、相談内容を選択してください。



19 現在の健康状態

全体では65.8%が、特に問題ないと回答している。逆にいえば、3人に1人が不調を感じており、身体のだるさ・疲れ易さ18.1%、頭痛・肩こり等10.8%、胃腸の不調6.3%、対人緊張7.1%、不安・イライラ5.4%という回答が得られた。これらの問題は、どんな人間でも一時的に起こるものであるが、2週間以上の不眠が続いている者が4.1%おり、このような不眠と合併した場合には注意を要する。

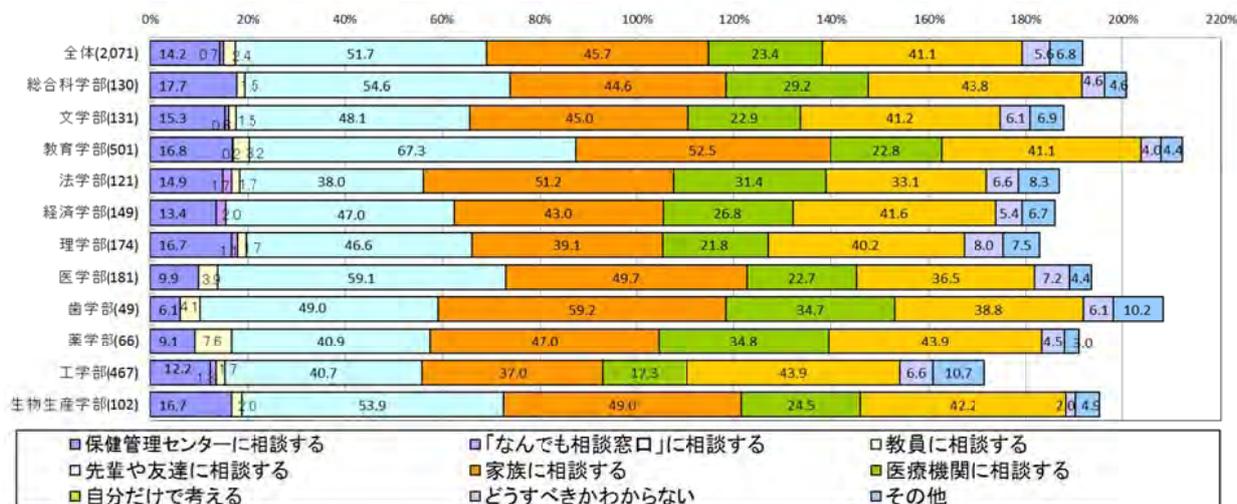
問 32 現在の健康状態はどうか。(複数回答可)



20 身体面・心理面の悩みの解消

自分だけで考えると回答したものが 41.1%であった。他者へ相談する場合は、先輩や友達がもっとも多く 51.7%、次に家族が 45.7%の順番である。医療機関に相談するもの 23.4%、保健管理センターへ相談するもの 14.2%と続き、どうすべきかわからないと回答したのも 5.6%あった。

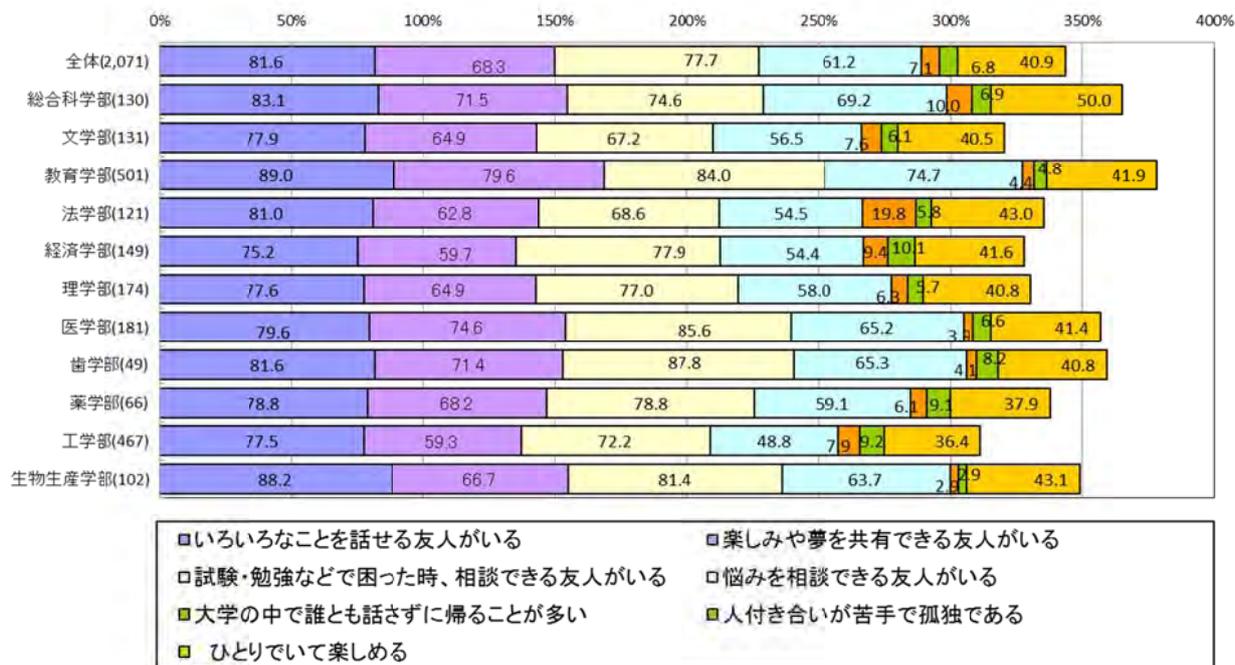
問 33 身体面、心理面で何か悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか。(複数回答可)



21 友人との関係

いろいろなことを話せる友人がいる 81.6%、試験・勉強などで困った時に相談できる友人がいる 77.7%、楽しみや夢を共有できる友人がいる 68.3%、悩みを相談できる友人がいる 61.2%という回答であった。一方、大学の中で誰とも話さずに帰るとい回答も 7.1%あり、人付き合いが苦手が 6.8%であった。また、40.9%がひとりできて楽しめると回答している。

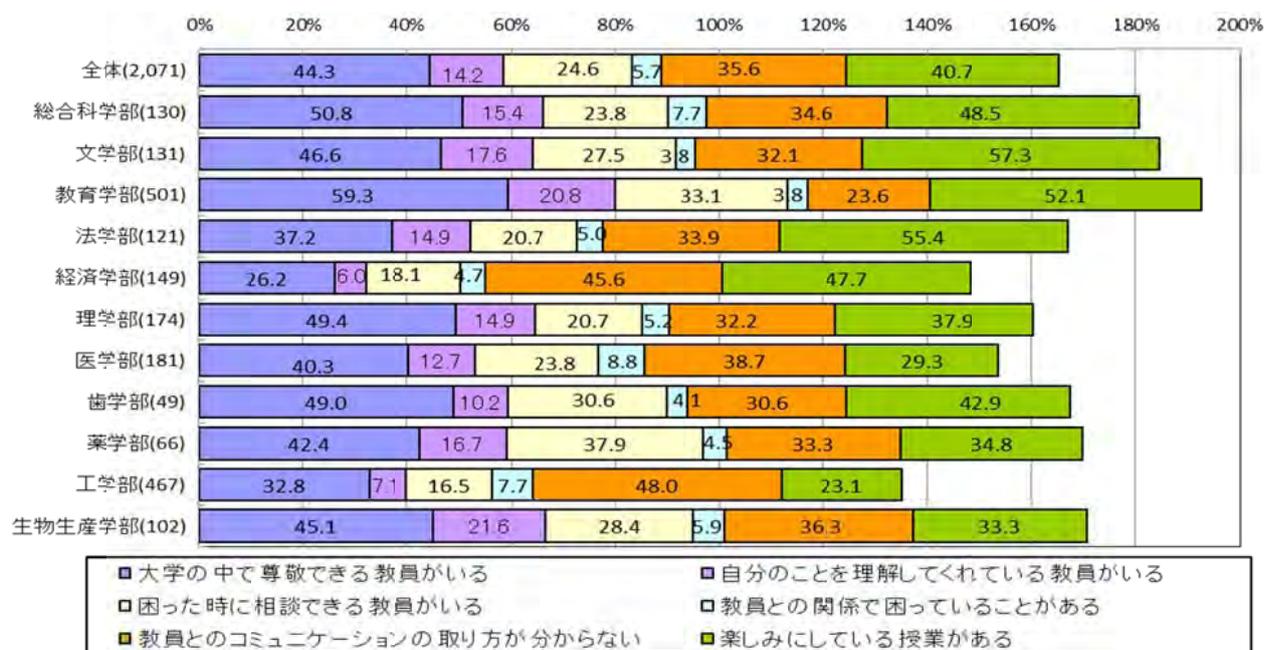
問 34 友人についてお尋ねします。複数回答可)



22 教員との関係

全体では、44.3%の学生が大学の中で尊敬できる教員がいると回答し、また、24.6%は困った時に相談できる教員がいるとしている。その一方で、教員とのコミュニケーションの取り方が分からない35.6%、教員との関係で困っていることがある5.7%という回答であった。学部ごとに特徴があり、尊敬できる教員がいるでは教育学部の59.3%、自分のことを理解してくれている教員がいるでは生物生産学部の21.6%、困った時に相談できる教員がいるでは薬学部の37.9%、楽しみにしている授業があるでは文学部の57.3%がもっとも高い比率であった。

問 35 教員についてお尋ねします。(複数回答可)



23 学生交流スペースの利用

全体として43.1%の学生が利用したことがあるとなっているが、学部別では、設置場所に比較的近い総合科学部、教育学部の利用率が高い。その反面、東広島キャンパスに1年次生しかいない医学部、歯学部、薬学部の利用率が低い。但し、利用したことがある学生では、歯学部の学生が週2回以上と積極的に使用しているのが目立つ。

問 36 「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか。

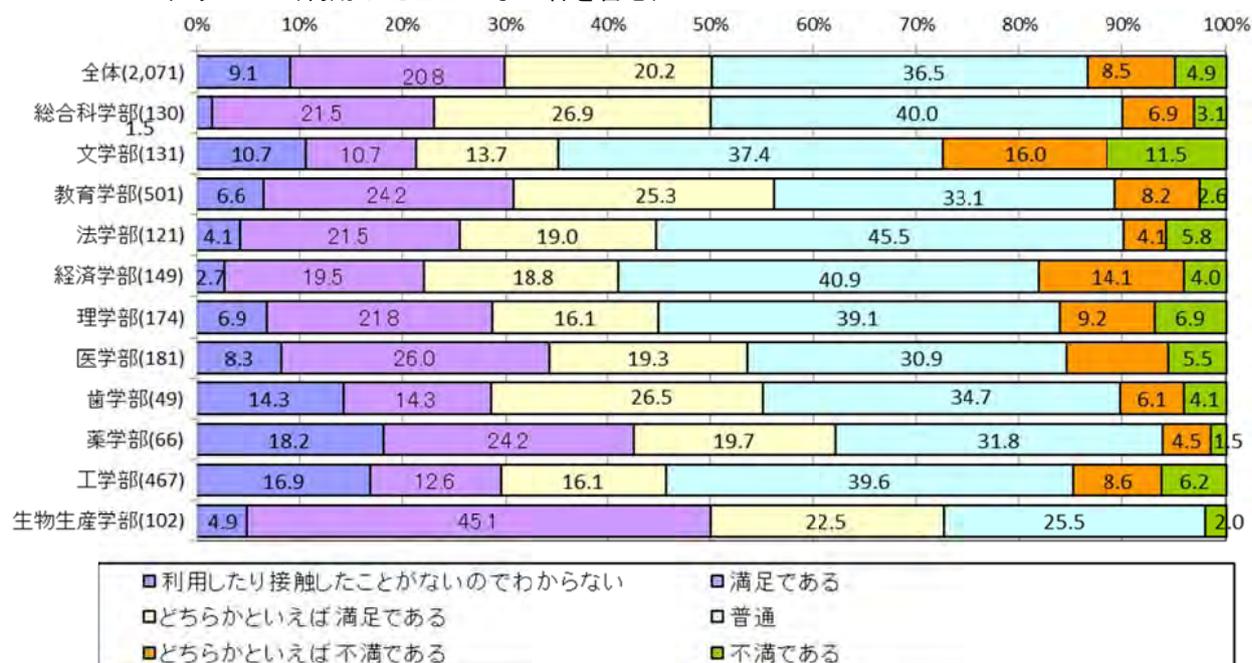


24 所属学部・研究科の学生支援室の対応

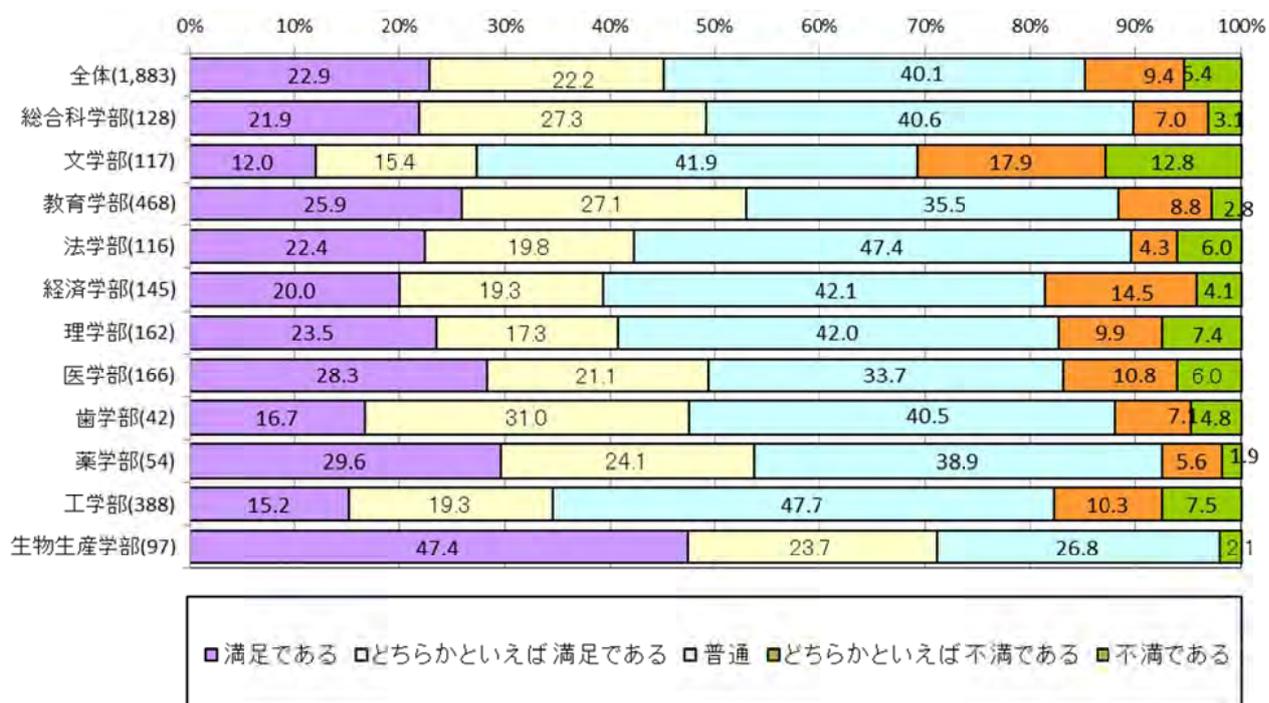
全体として 90%程度が利用したことがあり（グラフ1）、そのうち（グラフ2）の 45.1%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。特に生物生産学部は 67.6%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている反面、文学部と工学部は 30%前後である。

問 37 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

グラフ1（利用したことがない者を含む）



グラフ2（利用したことがある者のみ）

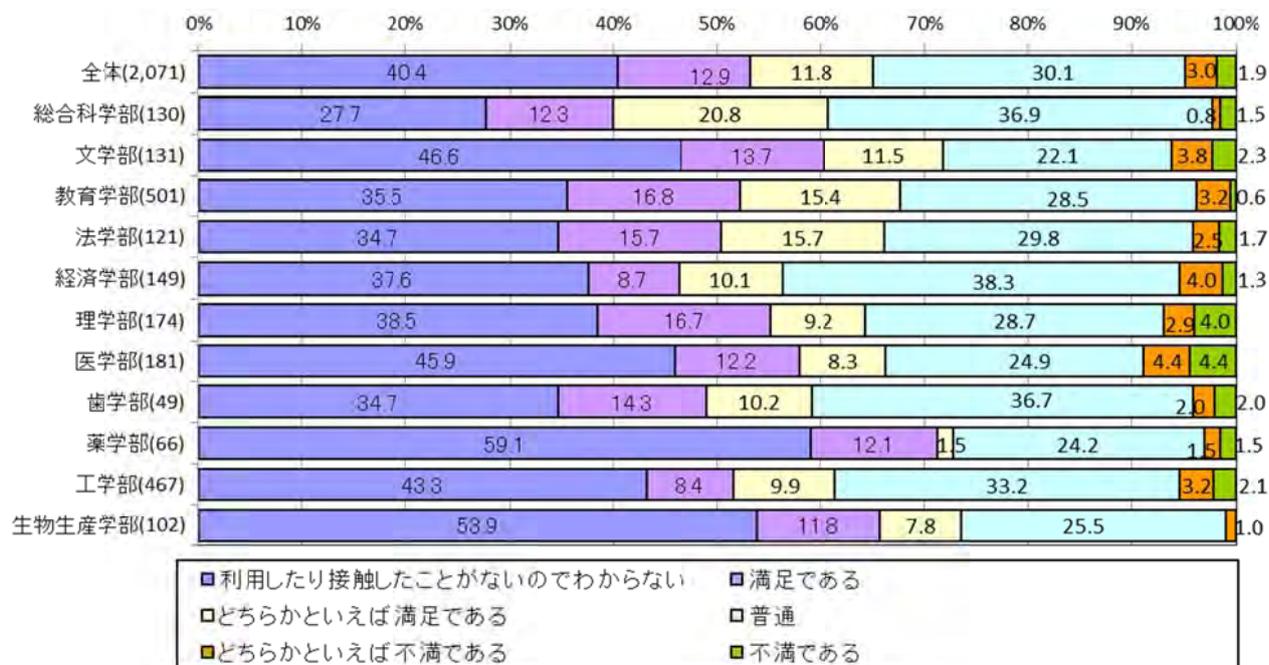


25 学生プラザの学生支援部門の対応

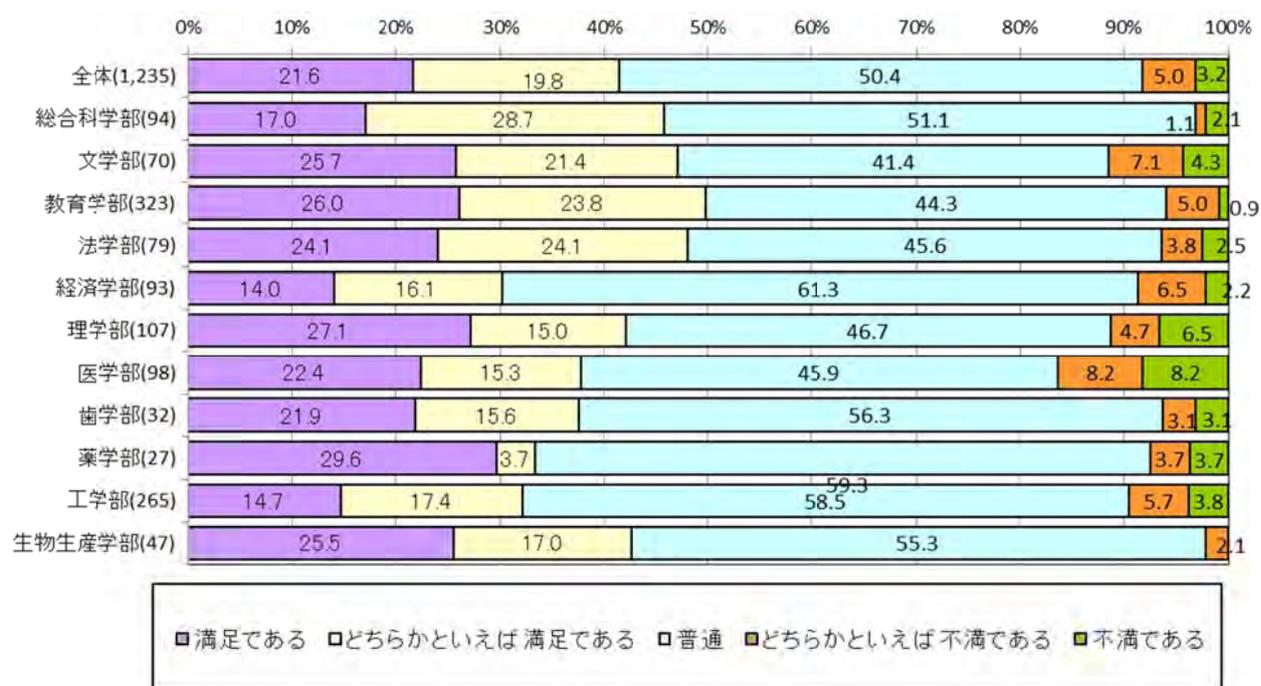
全体として 60%程度が利用している（グラフ 1）が、そのうち（グラフ 2）「満足である」「どちらかといえば満足である」が 41.4%であり「どちらかといえば不満」「不満である」は 8.2%未満である。学部別（グラフ 2）では「満足である」「どちらかといえば満足である」が約 30%から約 50%であり、「どちらかといえば不満」「不満である」は医学部が 16.4%と若干多いが他の学部は 11%以下である。

問 38 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ 1（利用したことがない者を含む）



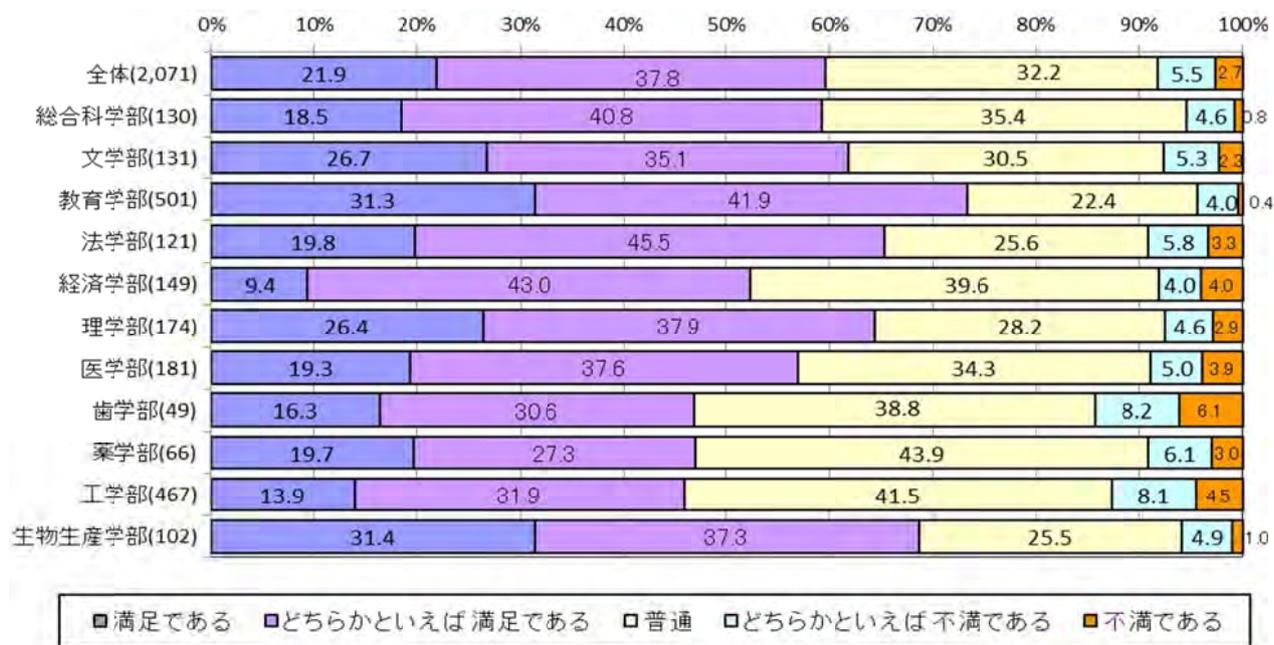
* グラフ 2（利用したことがある者のみ）



26 本学の教育・学習、学生生活などの全体的な満足度

本学全体に対する満足度としては、全体で 59.7%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。特に、教育学部と生物生産学部の満足度が高い。その反対に、霞地区にある学部は若干満足度が低い傾向にある。また、不満と思う学生は、全体として10%未満であり、総合的にみれば本学に対する満足度は高いとみられる。

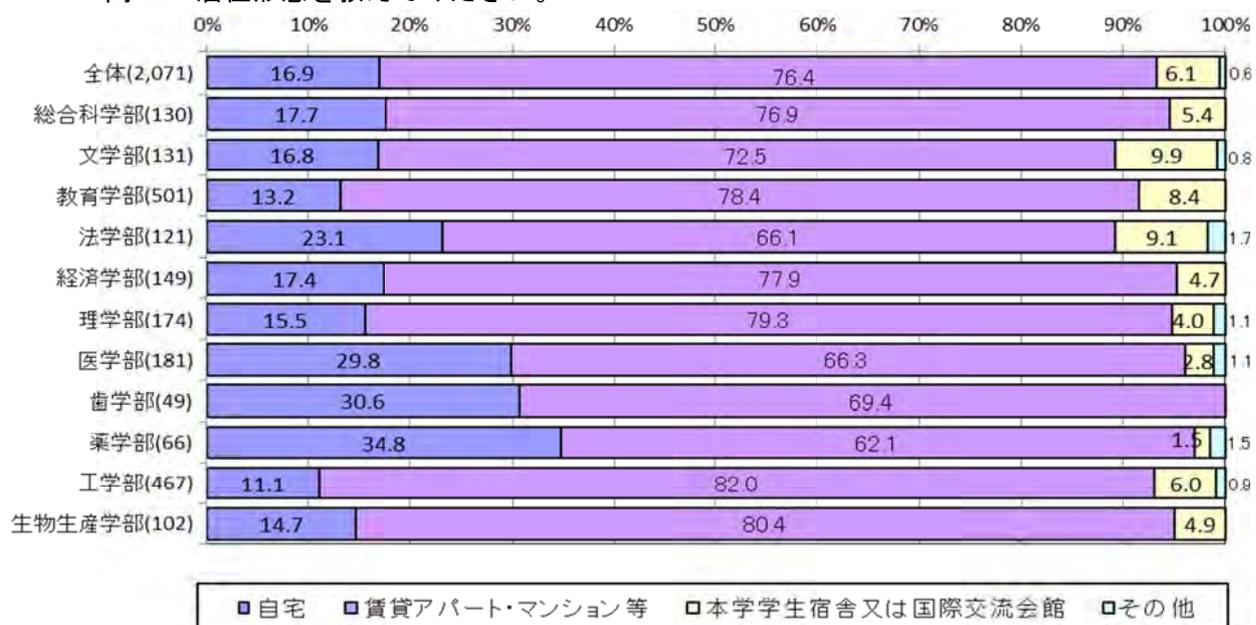
問 39 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか。



27 居住形態

本学は県外出身者が多いことから、居住形態についてもアパート・マンション等が多い。但し、霞キャンパスにある学部（医学部、歯学部、薬学部）は、東広島キャンパスの学部と比べて自宅から通学する学生が多い傾向にある。

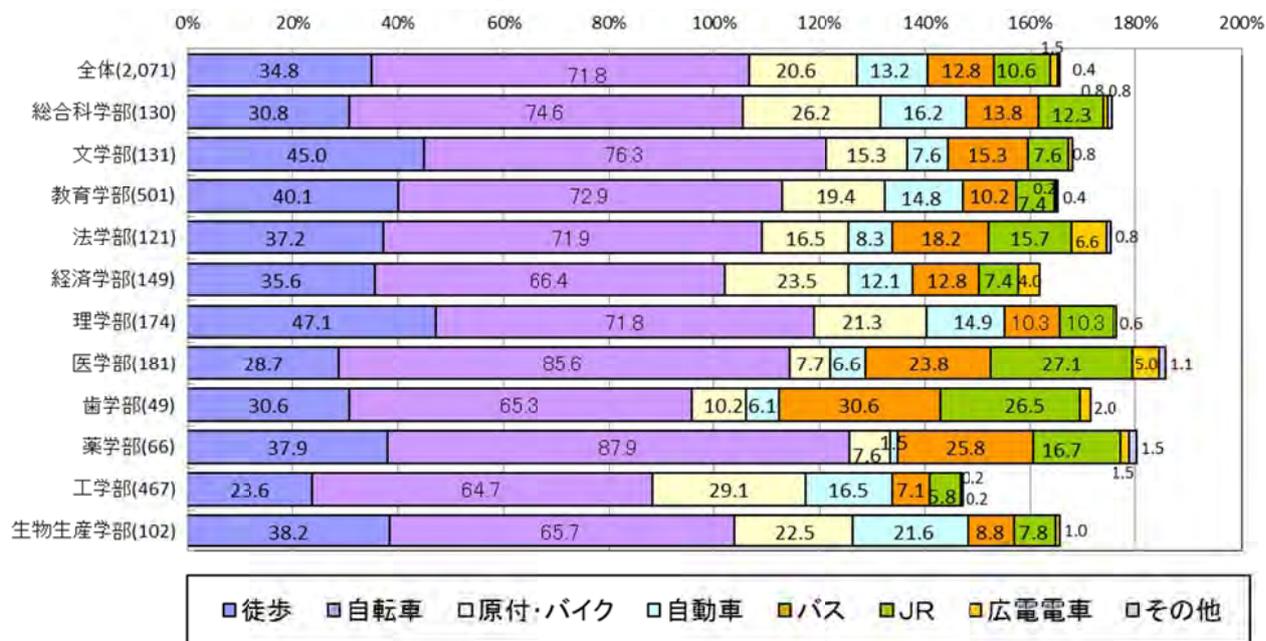
問 40 居住形態を教えてください。



28 通学方法

通学方法としては、全体で71.8%が自転車を利用している。次いで、徒歩34.8%、原付・バイク20.6%、自動車13.2%となっている。なお、東広島キャンパスと霞キャンパスの学部ではキャンパス内の環境や市内公共交通機関等の環境が異なることもあり、原付・バイクや自動車の利用率は霞キャンパスの方が低い。

問 41 通学方法を教えてください。(複数回答可)

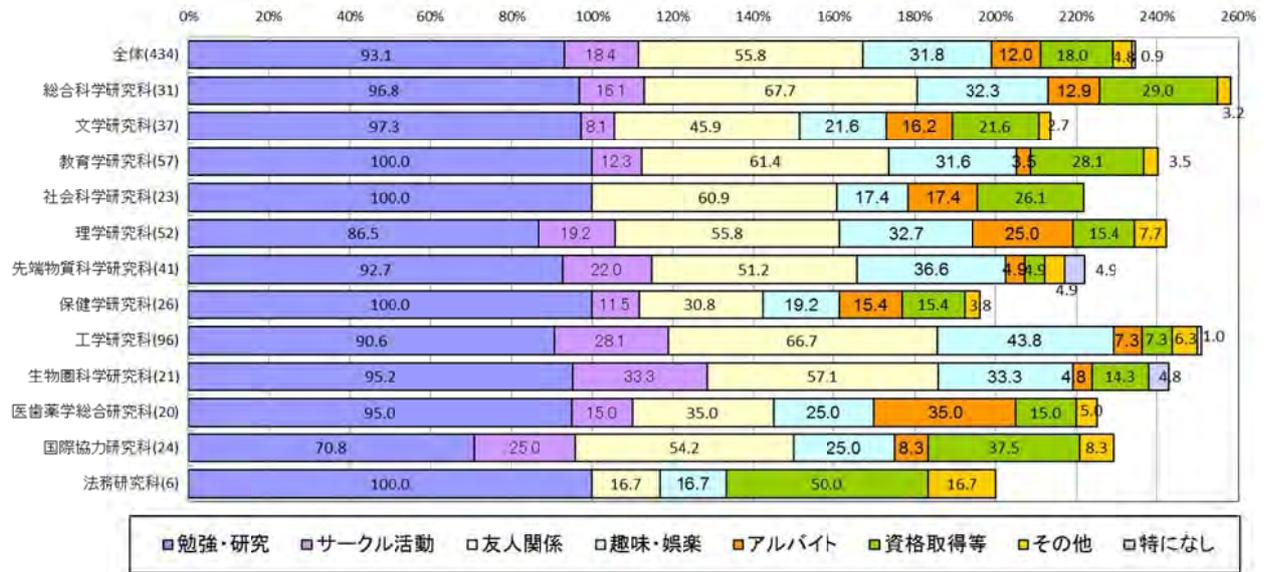


大 学 院

1 大学生活において大切にしているもの

8個の選択肢のうち、全体では多かった項目として勉強・研究（93.1%）と友人関係（55.8%）であった。これらは、各研究科とも同様の傾向であり、大学院生が学部生と比較して勉強・研究を大切にしていることを示している。サークル活動（18.4%）、アルバイト（12%）、資格取得等（18%）の項目を選択した大学院生は少なかった。

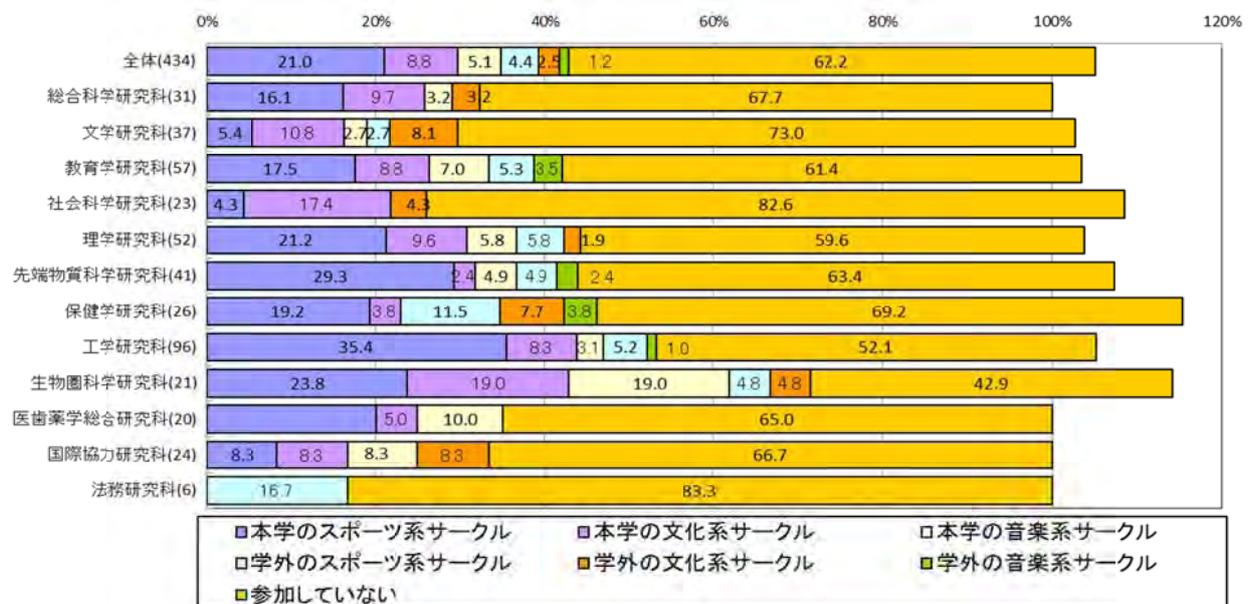
問1 大学生活においてに何を大切にしていますか。（複数回答可）



2 学内外のクラブ・サークル活動への参加

学内外のクラブ・サークル活動に参加している大学院生は全体で42.9%であり、学部生（69.4%）に比べ少なかった。この結果は、前回の調査結果とほぼ同様であった。

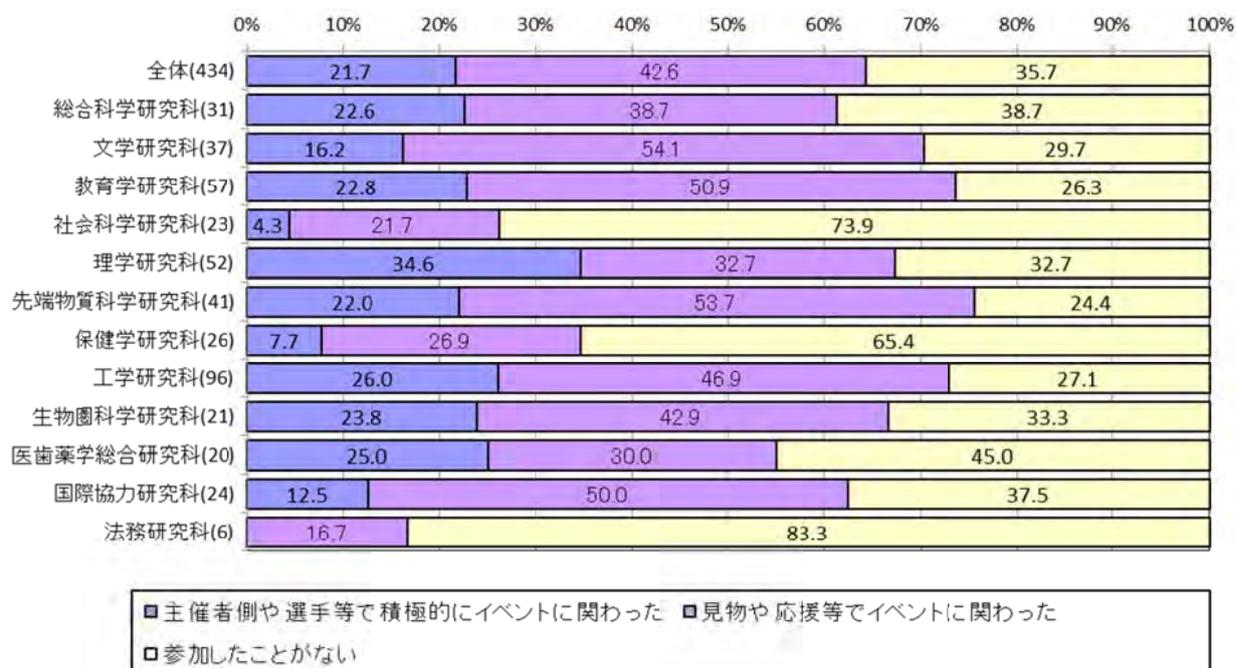
問2 学内外のクラブやサークル活動に参加していますか。（複数回答可）



3 大学の行事への参加

全体として、主催者などで積極的に関わった大学院生は 21.7%、見物やイベントに参加した大学院生は 42.6%であり、約 6 割の大学院生が大学行事に関わっていた。これらのことは、大学院生も大学行事への関心が高いことを示している。また、「参加したことがない」と答えた大学院生の割合が高かった研究科もあったが、サンプル数が少なかったため、この傾向は明らかではない。

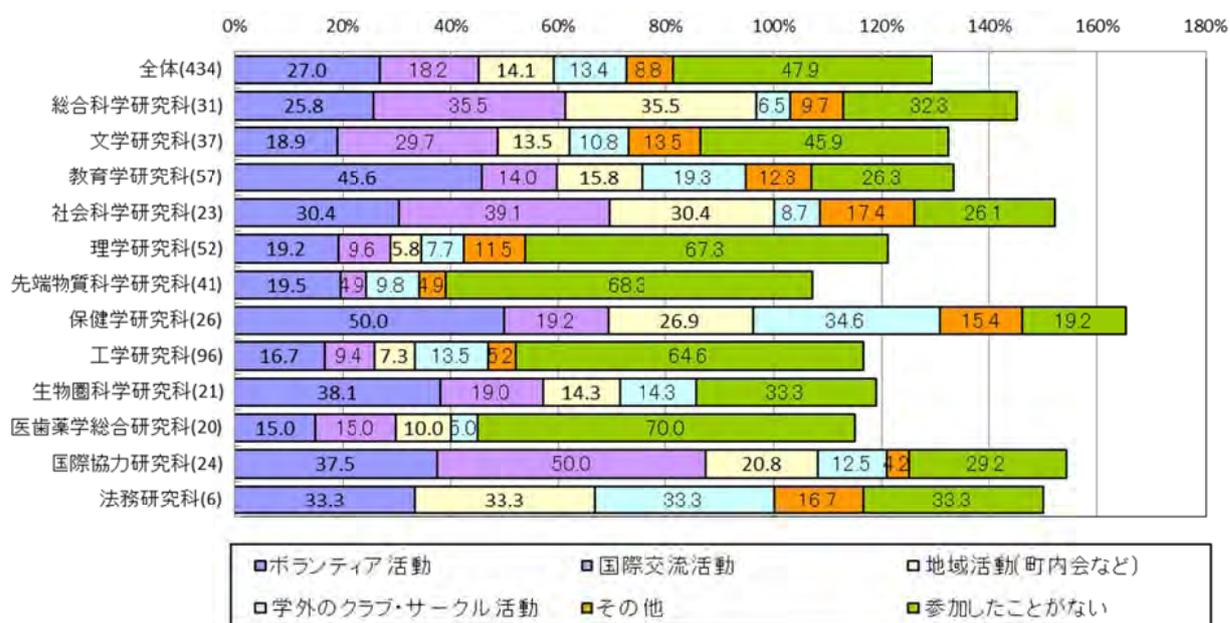
問3 大学祭、ゆかた祭、フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことがありますか。



4 ボランティアや地域活動への参加

全体として、「参加したことがない」と答えた大学院生の割合が高かったが、教育学研究科 (45.6%) と保健学研究科 (50.0%) のボランティア活動への参加は高い値となった。また、国際協力研究科ではボランティア活動と国際交流活動を合わせると高い値となった (87.5%)。

問4 ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか。(複数回答可)



5 アルバイトについて

5-1 アルバイトの経験

全体では8割以上の大学院生がアルバイトを経験していた。その職種として、飲食・接客(39.6%)、販売・サービス業(30.0%)が多く、塾・予備校の講師(20.5%)や家庭教師(14.3%)の経験は少なかつた。ティーチングアシスタントやリサーチアシスタントに従事している大学院生が多いことが予想されたが、アルバイトの職種は学部生の結果と同様の傾向であった。

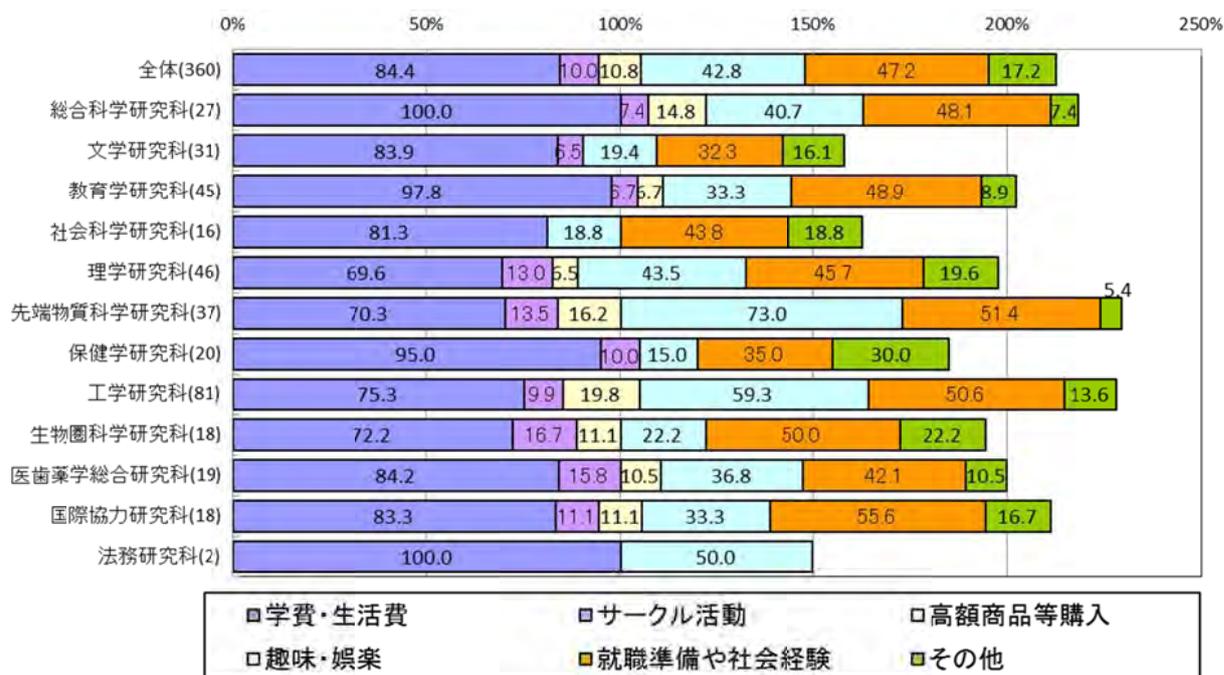
問5 入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか。(複数回答可)



5-2 アルバイトの目的

アルバイトの経験がある大学院生のうち、アルバイトの目的を学費・生活費のためと回答した大学院生が多かった(84.4%)。また、趣味・娯楽(42.8%)と就職準備や社会経験(47.2%)のためと回答した大学院生も多かった。これらは各研究科とも同様の傾向であった。

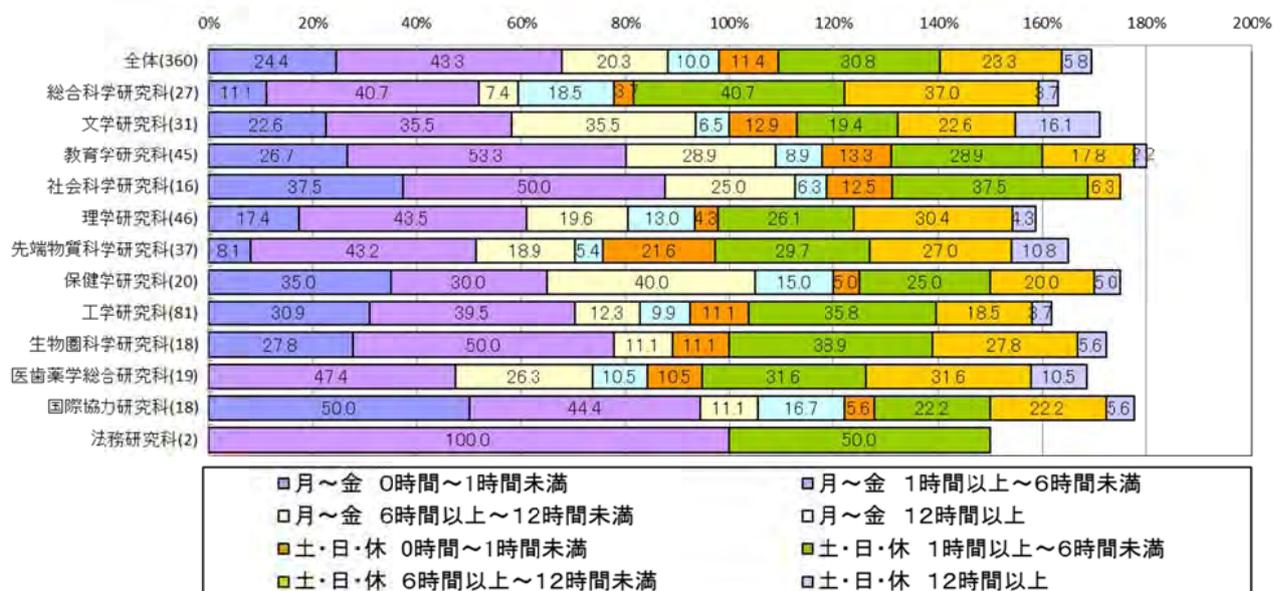
問6 アルバイトの主な目的は何ですか。(複数回答可)



5-3 アルバイトの時間

アルバイトの経験がある大学院生のうち、アルバイトに充てている時間は、平日の月曜から金曜までの5日間で、1時間以上6時間未満が多く(43.3%)、次いで土日休日の1時間以上6時間未満(30.8%)であった。これらの結果は、学部学生と同様であった。

問7 アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜及び日曜・休日」それぞれの中から一ずつ選択してください。

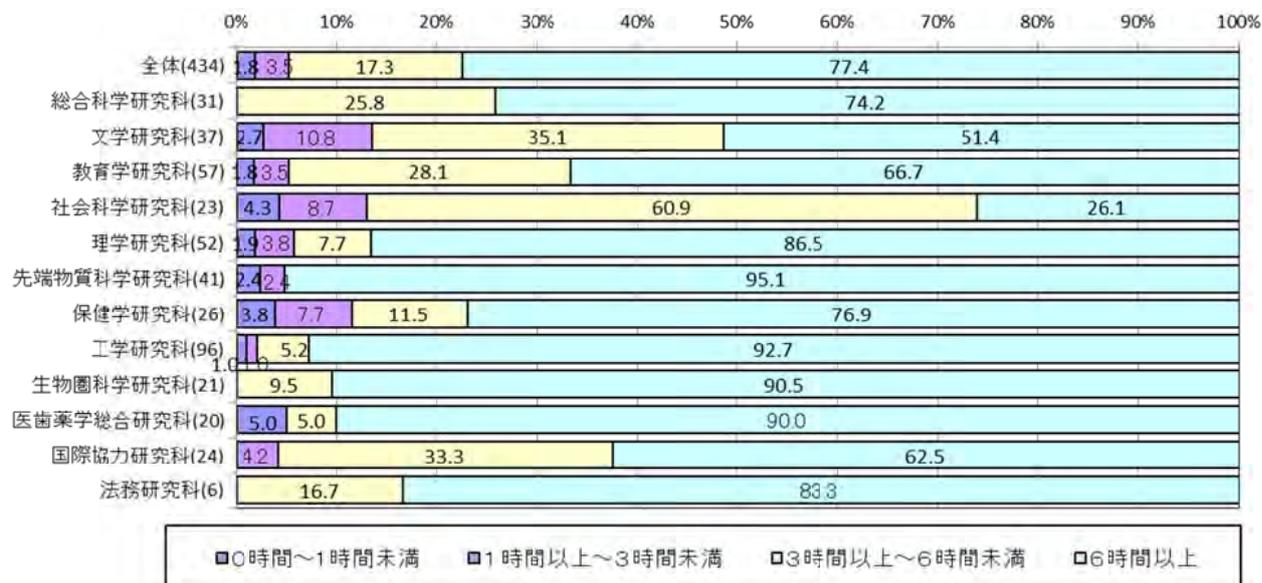


6 大学構内の滞在時間・場所について

6-1 滞在時間

全体では、約8割(77.4%)の学生が6時間以上、大学に滞在している。特に、先端物質科学研究科、工学研究科、生物圏科学研究科、医歯薬学総合研究科など、理系の大学院では、約9割の学生が6時間以上、大学に滞在している。一方、理系に比べ、文系の大学院では(社会科学研究科、文学研究科など)、学生の滞在時間が短い傾向にある。

問8 大学構内にどれくらいの時間滞在していますか。

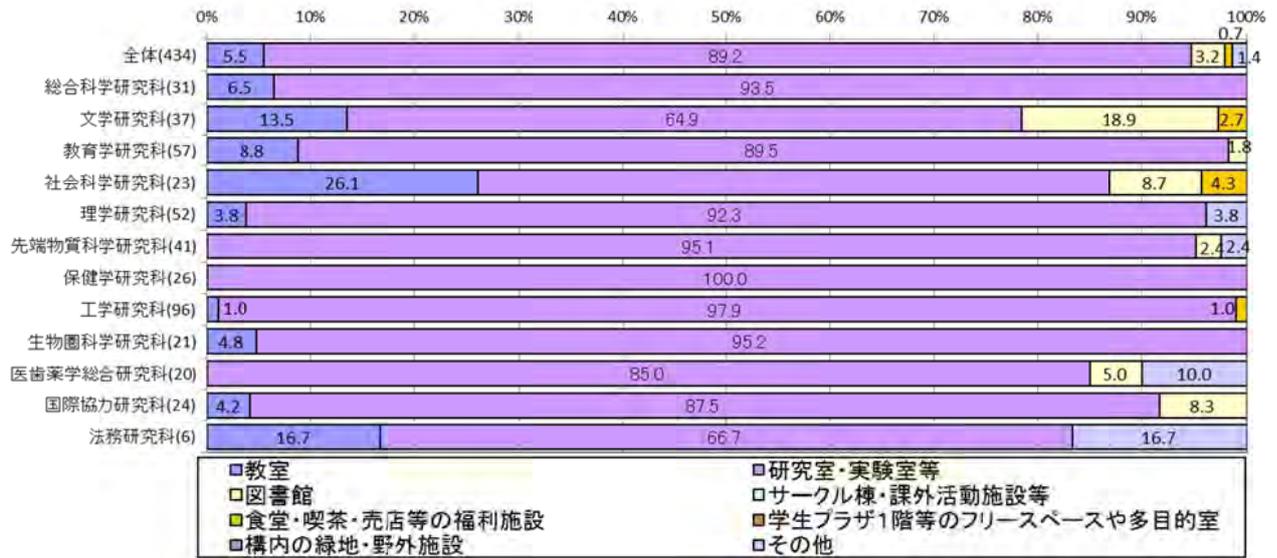


6-2 大学構内の滞在時間のうち、1番目及び2番目に多く滞在している場所はどこですか

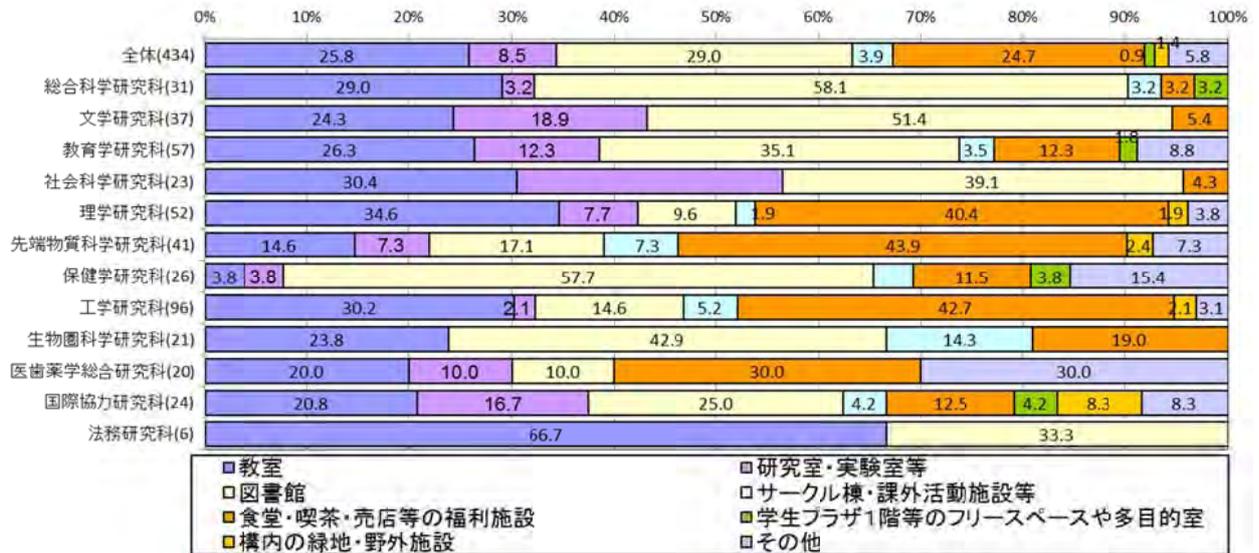
大学院生の場合、1番多く滞在している場所は、研究室・実験室（89.2%）である。これは、大学院別にみても、ほぼ同様の傾向である。ただし、社会科学研究科と文学研究科では、この比率がやや低い。

2番目に多く滞在している場所は、全体では、図書館、教室、食堂などの福利施設が、ほぼ同程度である。ただし、大学院別にみると、図書館に多く滞在しているのは、多い順に、総合科学研究科、保健学研究科、文学研究科、生物圏科学研究科、社会科学研究科である。

問9 大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在している場所はどこですか。



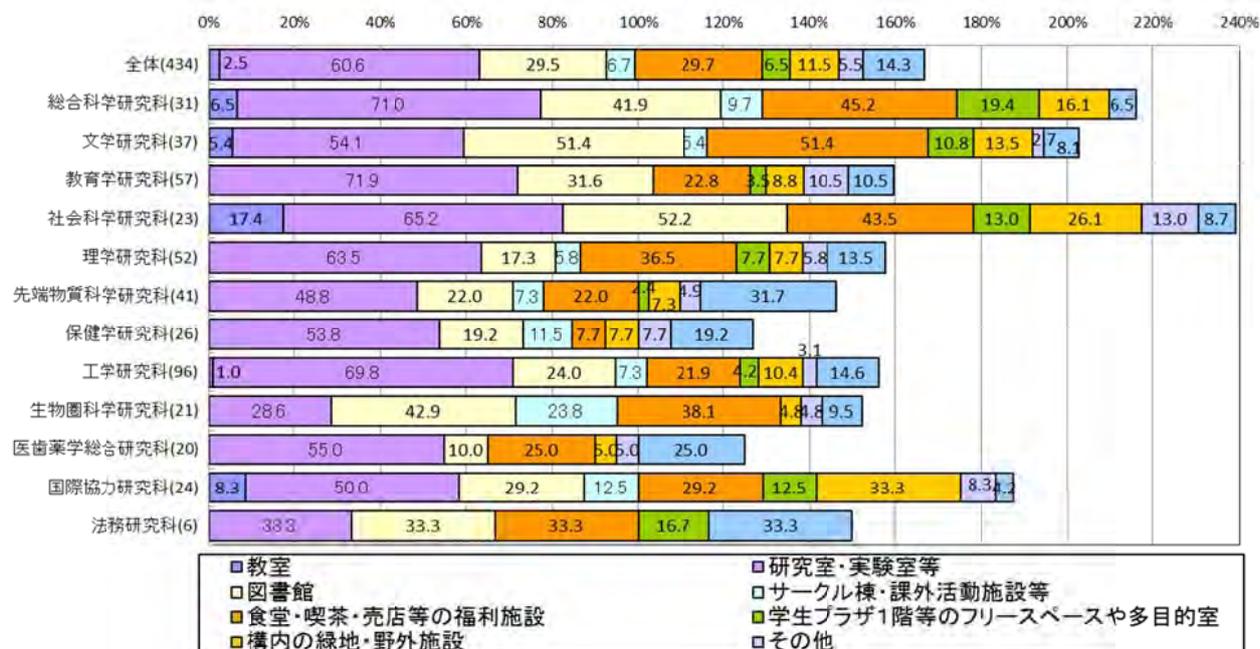
問10 大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在している場所はどこですか。



7 大学構内でくつろいで過ごせる場所

大学構内でくつろいで過ごせる場所は、大学院別に大きな差異はなく、研究室・実験室、食堂などの福利施設、図書館の順である。くつろげる場所が、「ない」と答えた学生は、全体では14.3%で、大学院別にみると、多い順に、法務研究科、先端物質科学研究科、医歯薬学総合研究科、保健学研究科、工学研究科である。

問11 大学内にくつろいで過ごせる場所がありますか。(複数回答可)

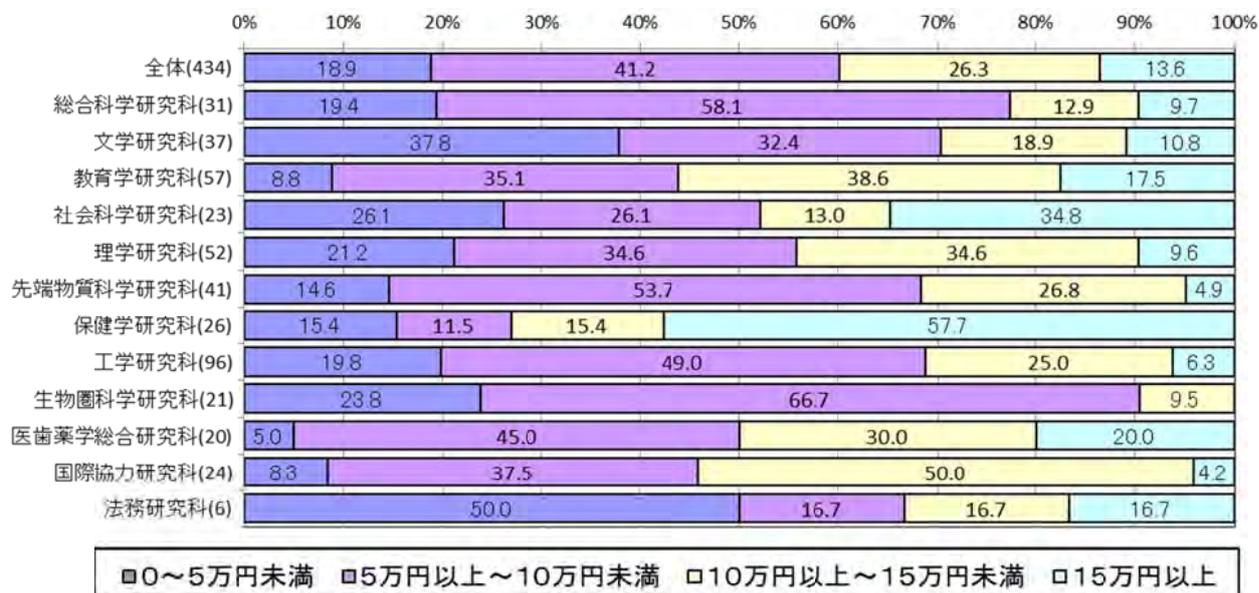


8 1ヶ月の生計費(収入・支出)

8-1 収入

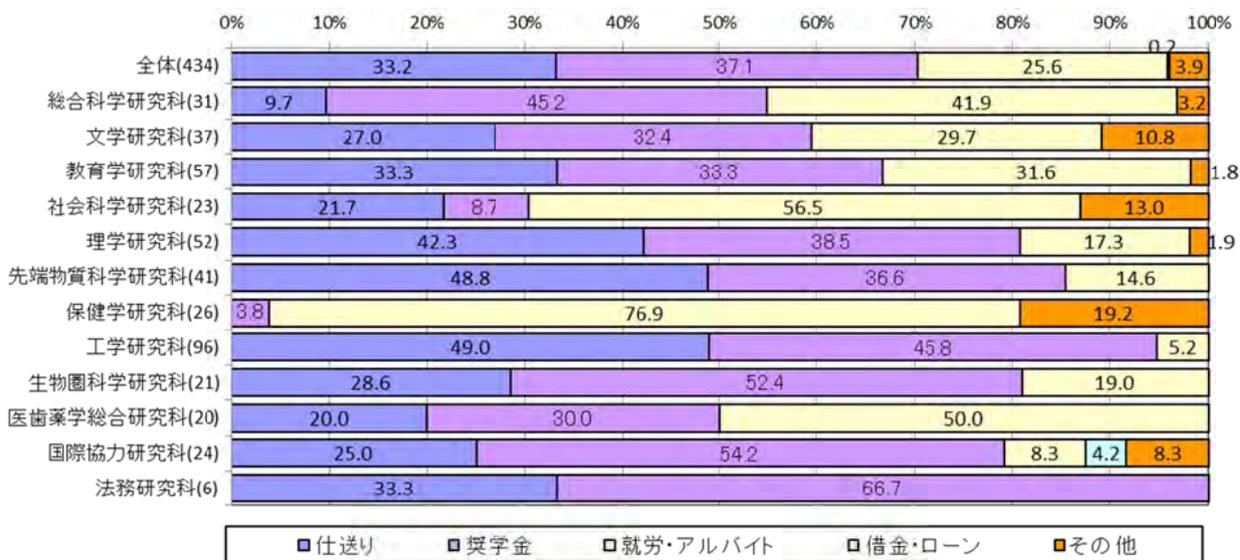
最も多いのは5万円以上10万円未満(41.2%)、次いで10万円以上15万円未満(26.3%)、5万円未満(18.9%)と続く。学部生に比べて10万円以上収入のある割合が多い(学部生24.9%→大学院生39.9%)。保健学研究科は15万円以上収入のある割合が多い(平均13.6%、保健学研究科57.7%)。生物圏科学研究科は5万円以上10万円未満の割合が多い(平均41.2%、生物圏科学研究科66.7%)。また、法務研究科は5万円未満の割合が突出して多い(平均18.9%、法務研究科50.0%)。

問12 1ヶ月の生計費(収入)はいくらですか。



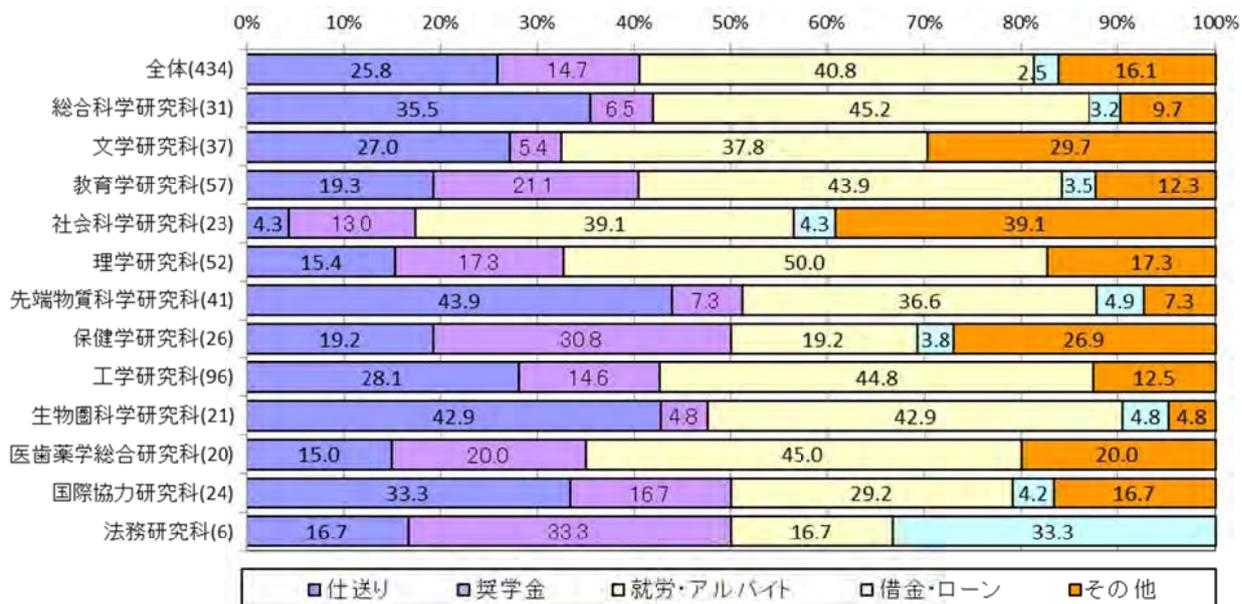
問13 1ヶ月の生計費（収入）のうち、1番多い収入は、次のどれですか。

最も多いのは奨学金（37.1%）、次いで仕送り（33.2%）、就労・アルバイト（25.6%）と続く。学部生に比べて仕送りの比率割合が少なく（学部生 51.7%：大学院生 33.2%）、奨学金の比率割合（学部生 27.8%：大学院生 37.1%）、就労・アルバイトの比率割合（学部生 16.8%：大学院生 25.6%）が多い。保健学研究科は就労・アルバイトの割合が突出して多い（平均 25.6%、保健学研究科 76.9%）。看護師、理学療法士、作業療法士等の資格保有者が多く、就労の機会が多いためと思われる。問12において、保健学研究科は15万円以上収入のある割合が多く見られるが、就労・アルバイトの機会が多いためと思われる。



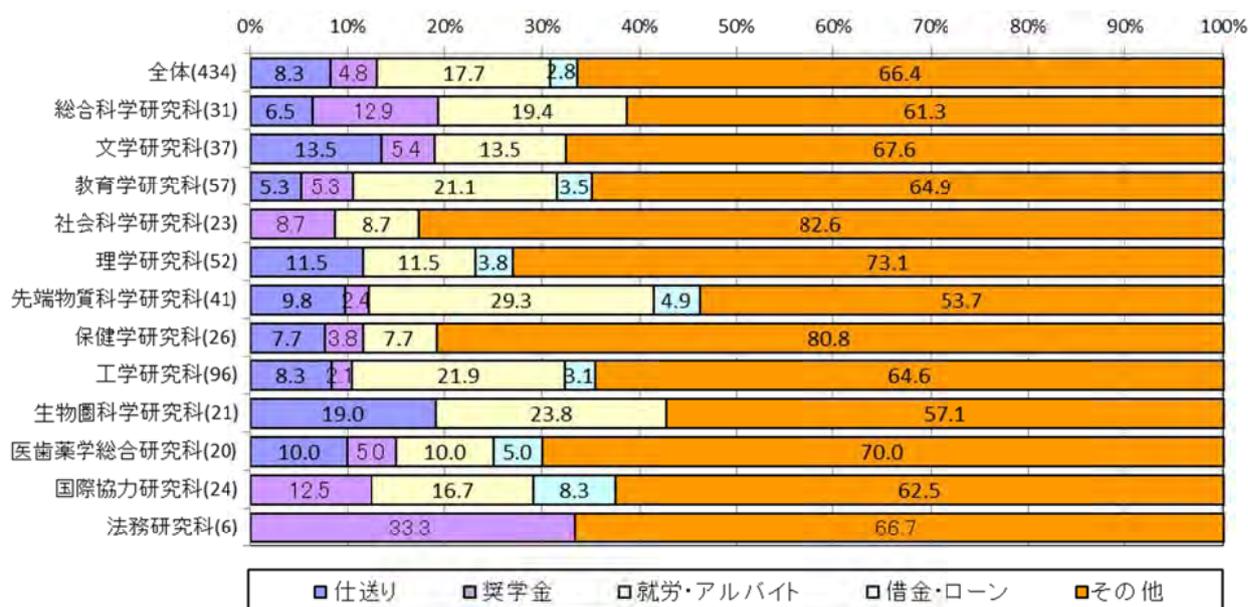
問14 1ヶ月の生計費（収入）のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか。

学部生と同様の傾向で、最も多いのは就労・アルバイト（40.8%）、次いで仕送り（25.8%）。



問 15 1ヶ月の生計費（収入）のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか。

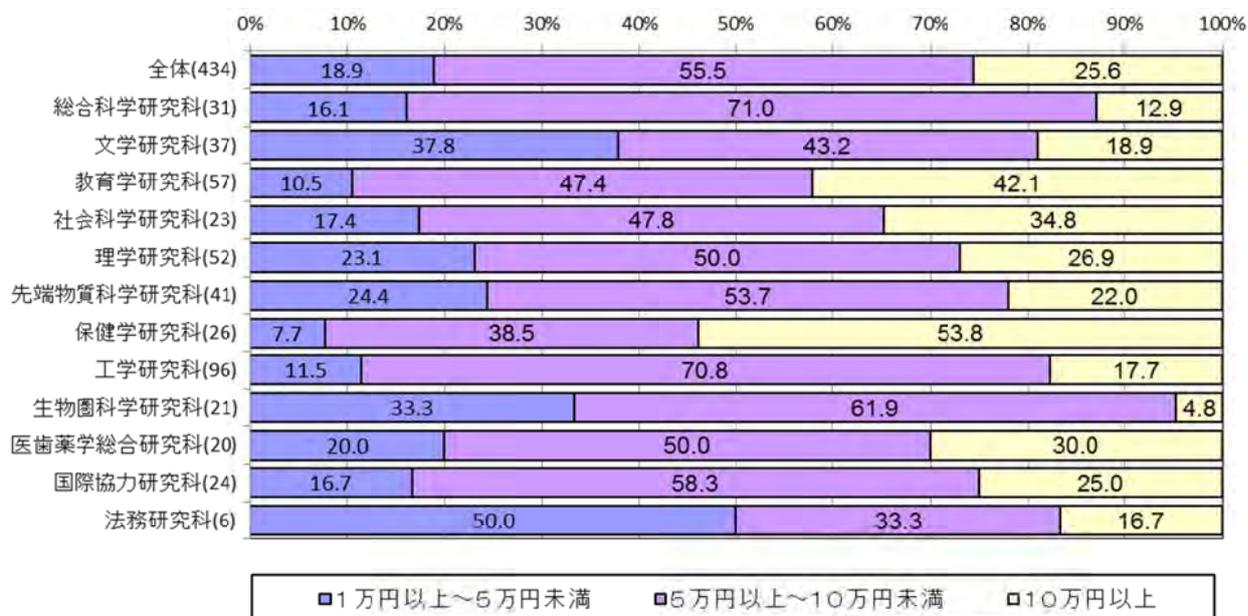
最も多いのがその他（66.4%）であり、実態は不明である。



8-2 支出

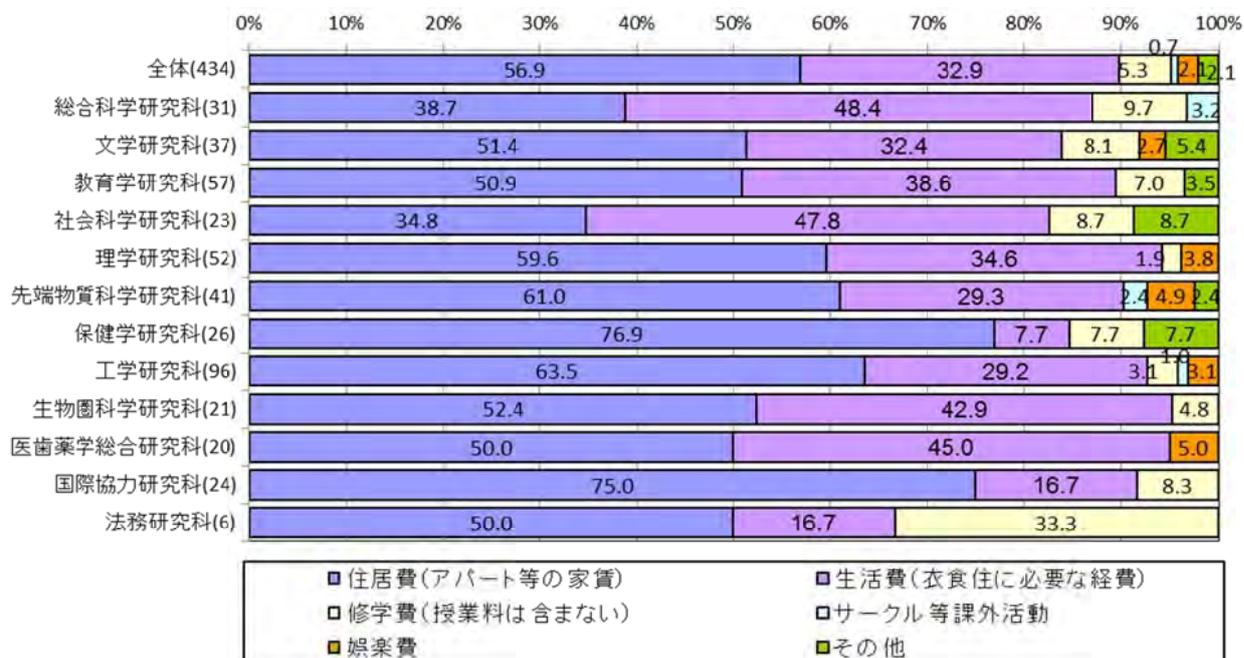
最も多いのは5万円以上10万円未満（55.5%）、次いで10万円以上（25.6%）、5万円未満（18.9%）と続く。5万円未満の比率が学部生より少なく（学部生 34.2%：大学院生 18.9%）、10万円以上の比率が学部生より多い（学部生 11.9%：大学院生 25.6%）。保健学研究科は10万円以上の割合が多い（平均 25.6%、保健学研究科 53.8%）。問 12、問 13 の回答にリンクしている。

問 16 1ヶ月の生計費の支出はいくらですか。



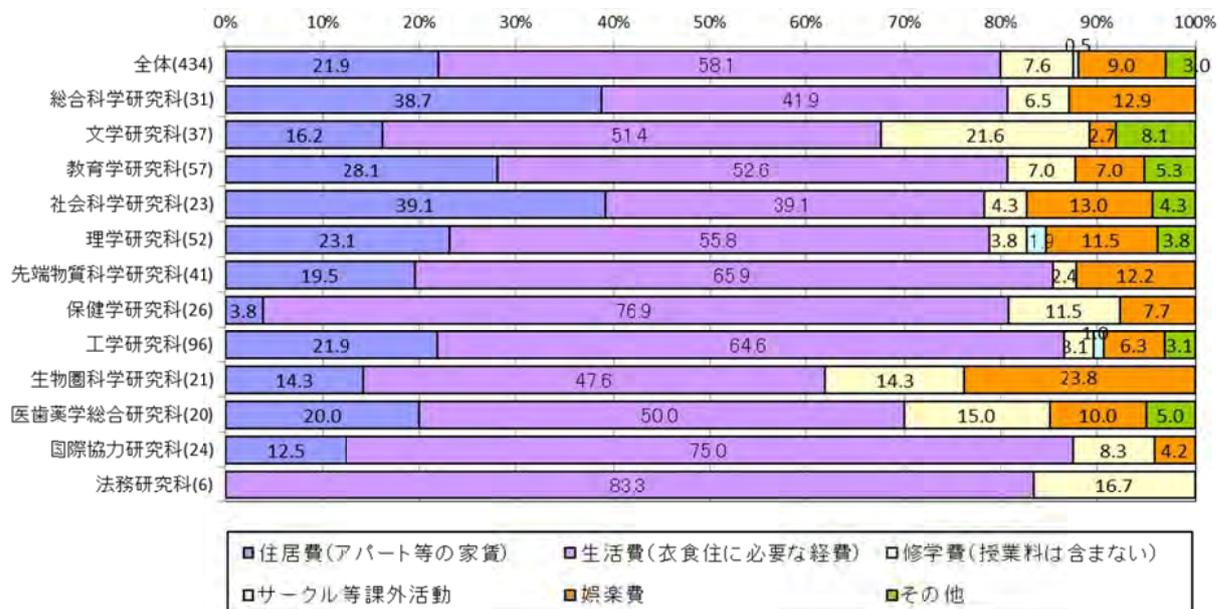
問 17 1ヶ月の生計費（支出）のうち、1番多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

学部生とほとんど同様の傾向である。最も多いのは住居費（56.9%）、次いで生活費（32.9%）。



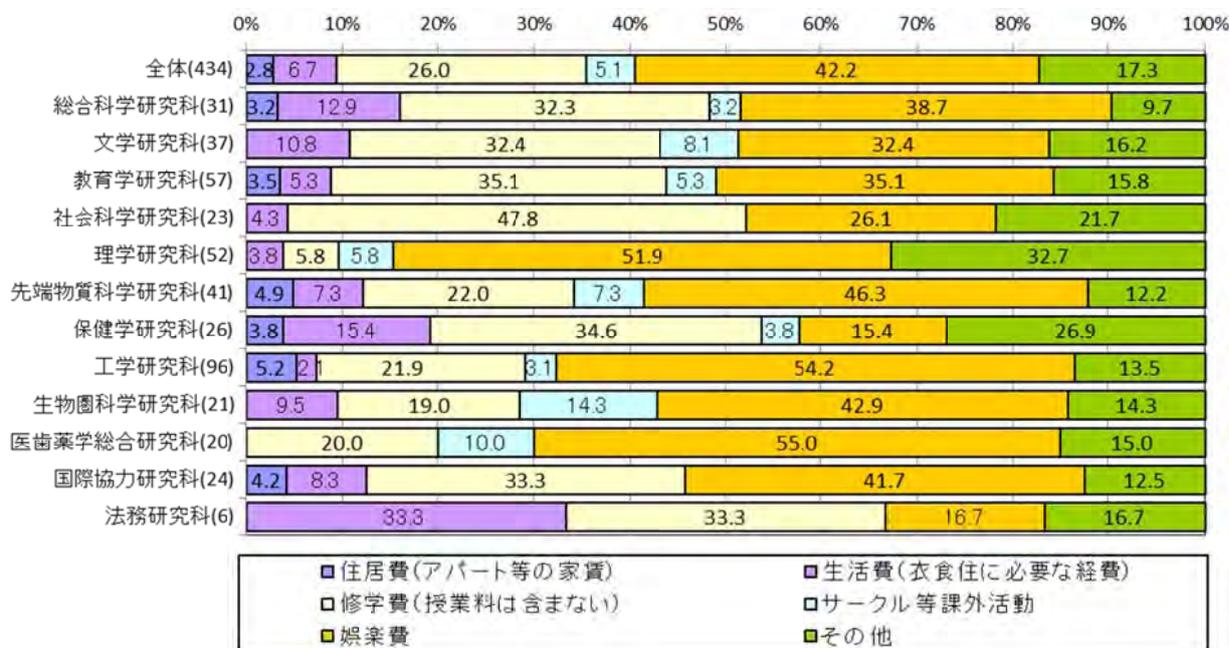
問 18 1ヶ月の生計費（支出）のうち、2番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

学部生とほぼ同様の傾向である。最も多いのは生活費（58.1%）、次いで住居費（21.9%）、娯楽費（9.0%）と続く。



問 19 1ヶ月の生計費（支出）のうち、3番目に多く必要とする経費は何ですか。（授業料は含まない）

最も多いのは娯楽費（42.2%）、次いで修学費（26.0%）である。学部生に比べて修学費が多く（学部生 12.0%：大学院生 26.0%）、サークル等課外活動費が少ない（学部生 18.9%：大学院生 5.1%）。

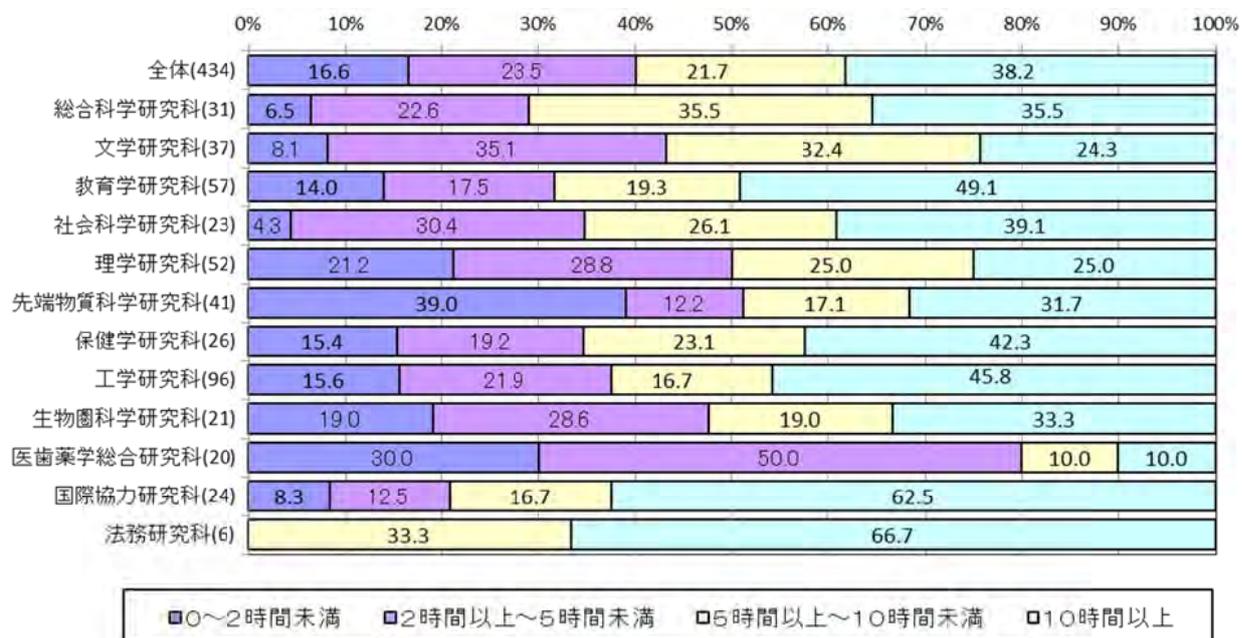


9 1週間平均の学習時間

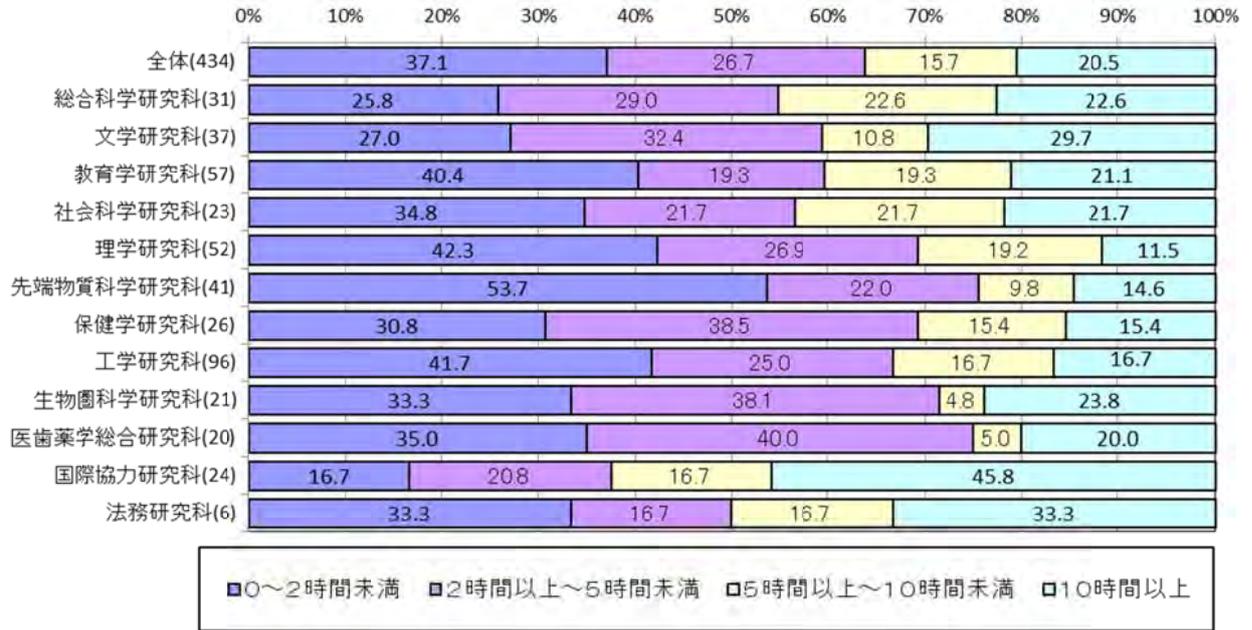
授業やゼミの予習・復習に充てている、1週間の平均時間を、全学的にみると、多い順に、10時間以上が38.2%、続いて、2時間から5時間未満が23.5%、5時間から10時間未満が21.7%、2時間未満が16.6%である。この傾向は、医歯薬学総合研究科（5時間未満が80%）を除いては、大学院別に大きな差異はないようだ。ただし、法務研究科と国際協力研究科では、約6割以上が10時間以上と回答している。

また、授業や研究以外の学習に充てている時間も、全学的にみると、2時間未満が16.6%、2時間から5時間未満が23.5%である。ただし、国際協力研究科は、5時間以上が62.5%である。

問 20 1週間を平均して、授業やゼミの予習・復習にどれくらいの時間をあてていますか。



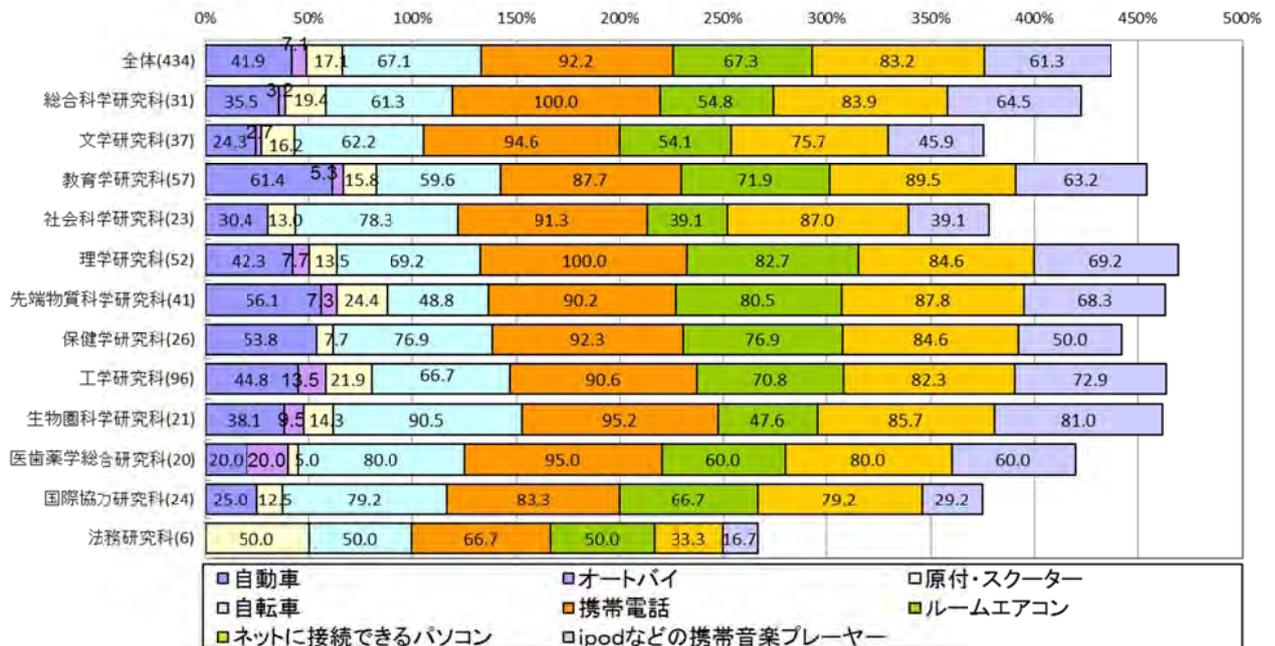
問 21 1週間を平均して、授業や研究以外の学習にどれくらいの時間をあてていますか。



10 所有もしくは占有している物

学生の所有物の所有比率を全学的にみると、移動手段では、自動車・オートバイ・原付・スクーターの総数が66.1%、自転車67.1%。一方、所有物では、所有比率の高い順に、携帯電話、パソコン、ルームエアコン、携帯音楽プレーヤーであり、多くの学生が所有している。

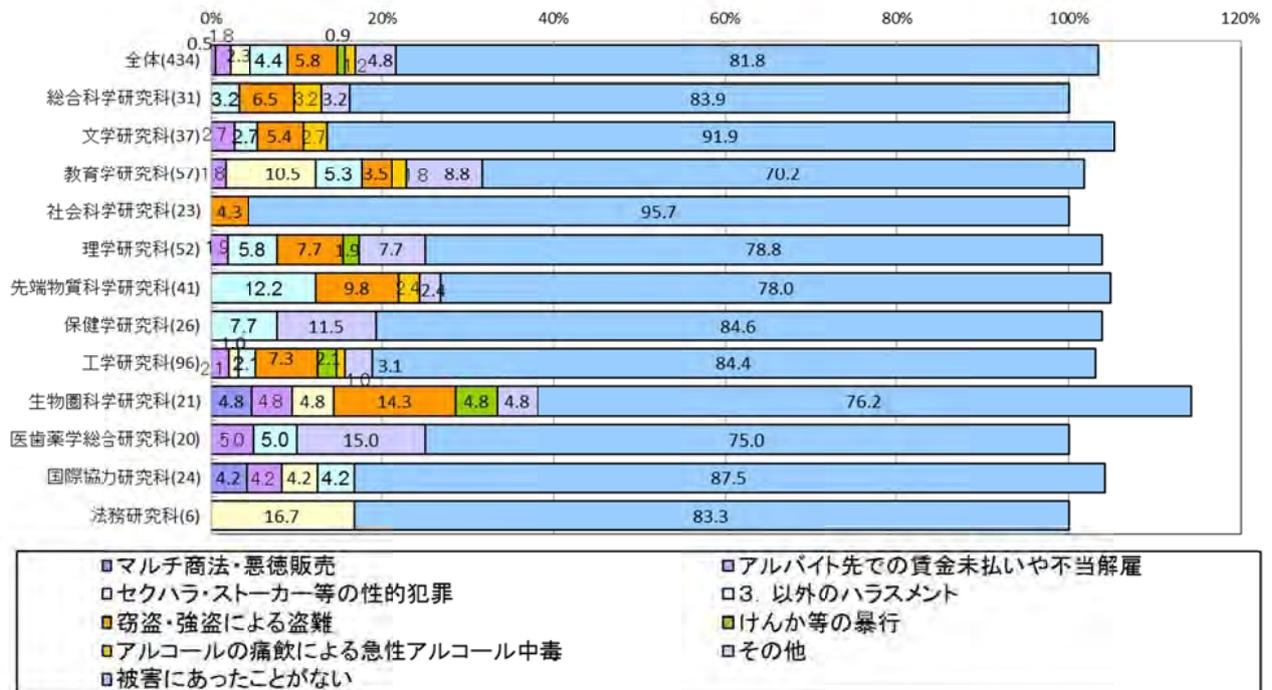
問 22 所有もしくは専用物がありますか。(複数回答可)



11 犯罪やトラブルなどの被害経験

犯罪やトラブルなど、何らかの被害にあったことがある者は 19.2%。割合として高いのは学部生調査と同様に盗難の 5.8%であるが、これは前回の大学院生調査と同じ傾向である。

問 23 学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか。(複数回答可)



12 交通事故の経験

在学中に交通事故にあったことがある者は 26.5%で、学部生に比べ多くなっている。大学院生では自動車での事故が増え 12.2%、次に自転車 9.0%、バイク 6.7%と続く。

問 24 在学中交通事故に遭ったことがありますか。(複数回答可)

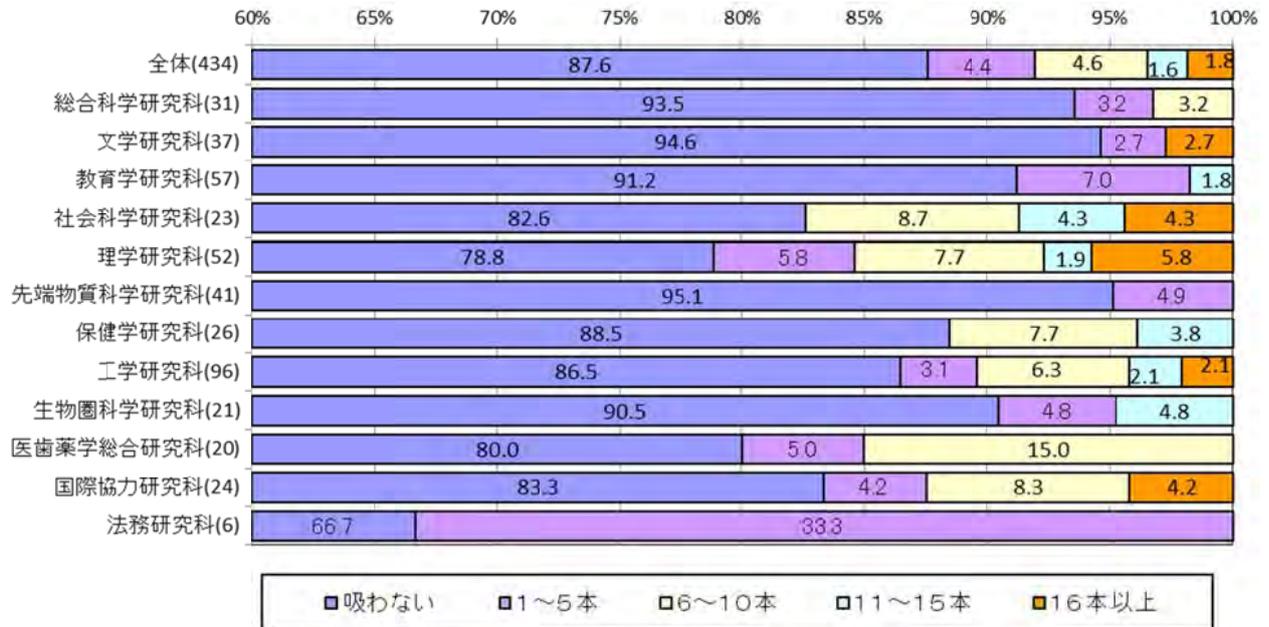


13 喫煙及び飲酒の習慣

13-1 喫煙の習慣

学部生と比べると、大学院生における喫煙の習慣は若干増える傾向にある。また、研究科によって4.9%～33.3%とかなりばらつきがみられた。

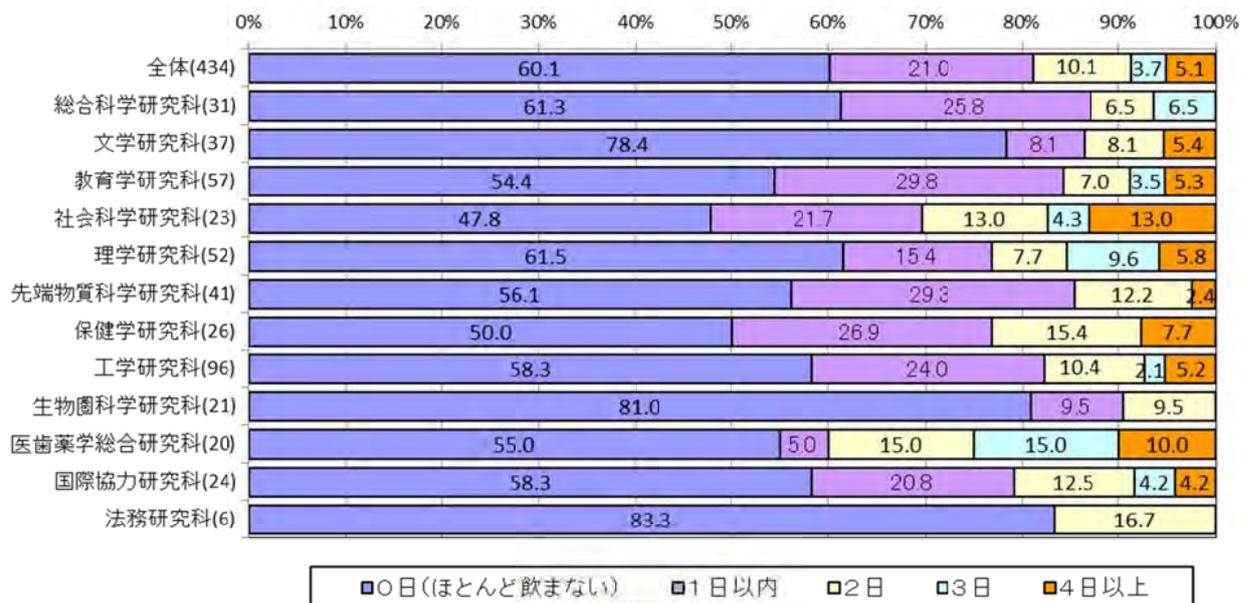
問 25 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください。



13-2 飲酒の習慣

飲酒の習慣がある者は39.9%。1週間に飲む日数は1～2日というものが大半である。ただ、4日以上飲むものが5.1%と学部生2.2%に比べると多くなっている。

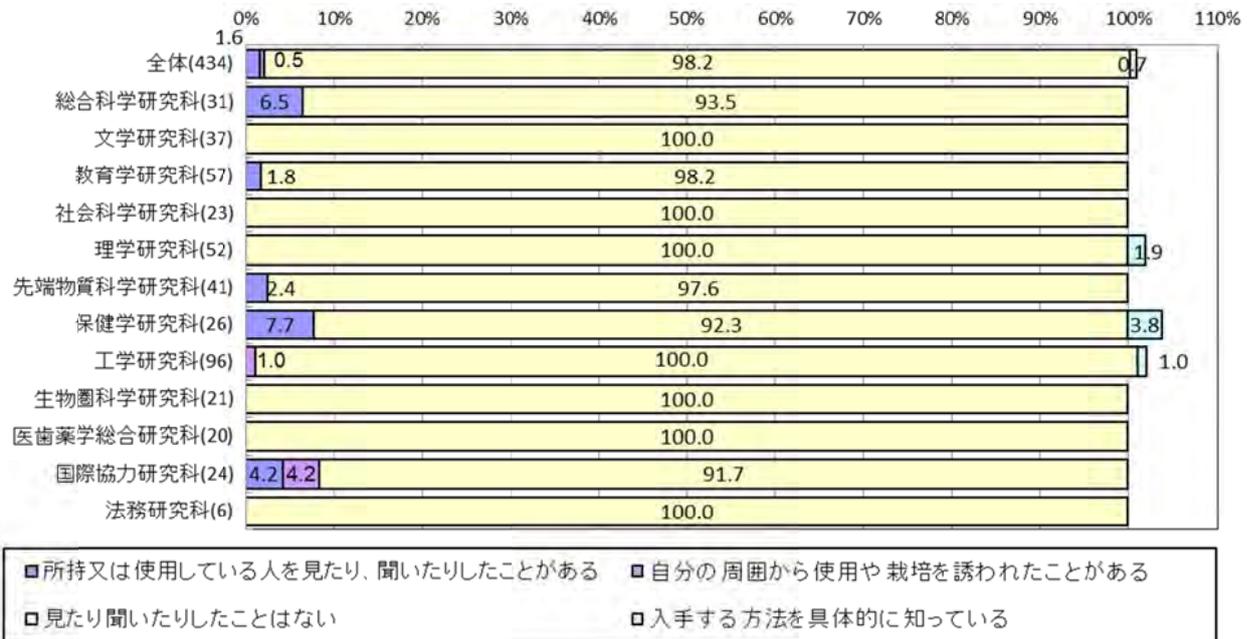
問 26 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数でお答えください。



14 薬物（大麻等・覚醒剤）について

98.2%が、薬物（大麻等・覚醒剤）について見たり聞いたりしたことはないと回答している。しかし、学部生調査と同様に、使用や栽培を誘われたことがある者も0.5%存在する。

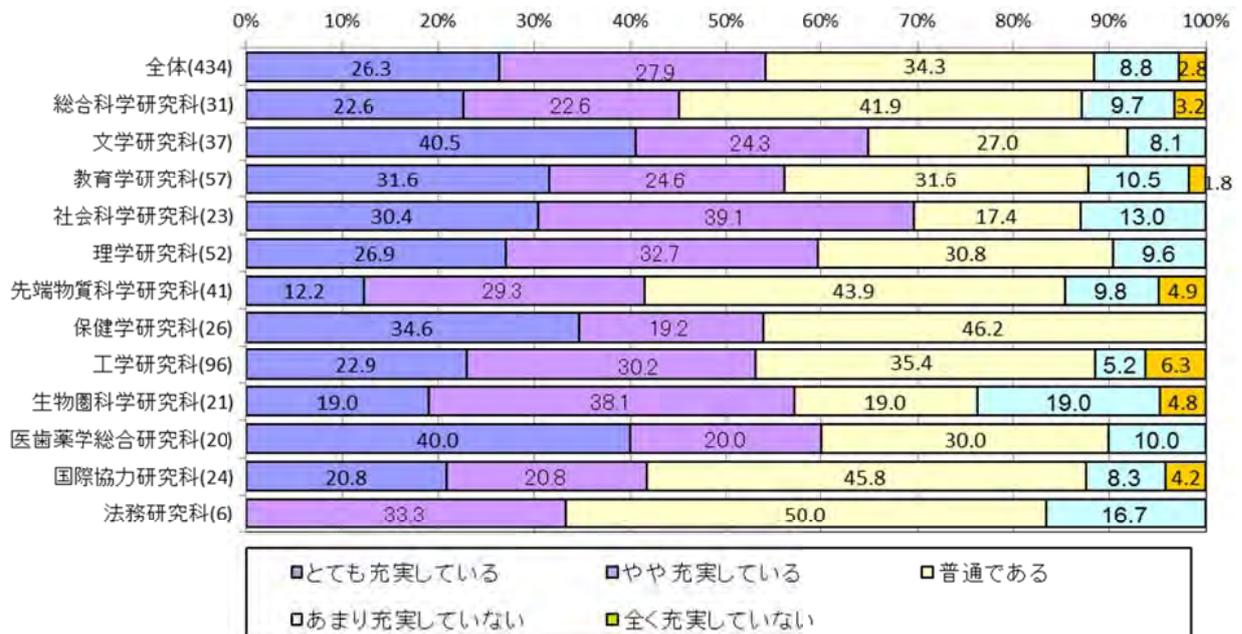
問 27 薬物（大麻等・覚醒剤）について、該当するものを選択してください。（複数回答可）



15 授業以外の学生生活の充実度

前回調査では「とても充実している」「やや充実している」という回答が60%を超えていたのに比べて、今回は54.2%と減少している。また、「あまり充実していない」「全く充実していない」は合わせて11.6%。と、前回より若干増加している。

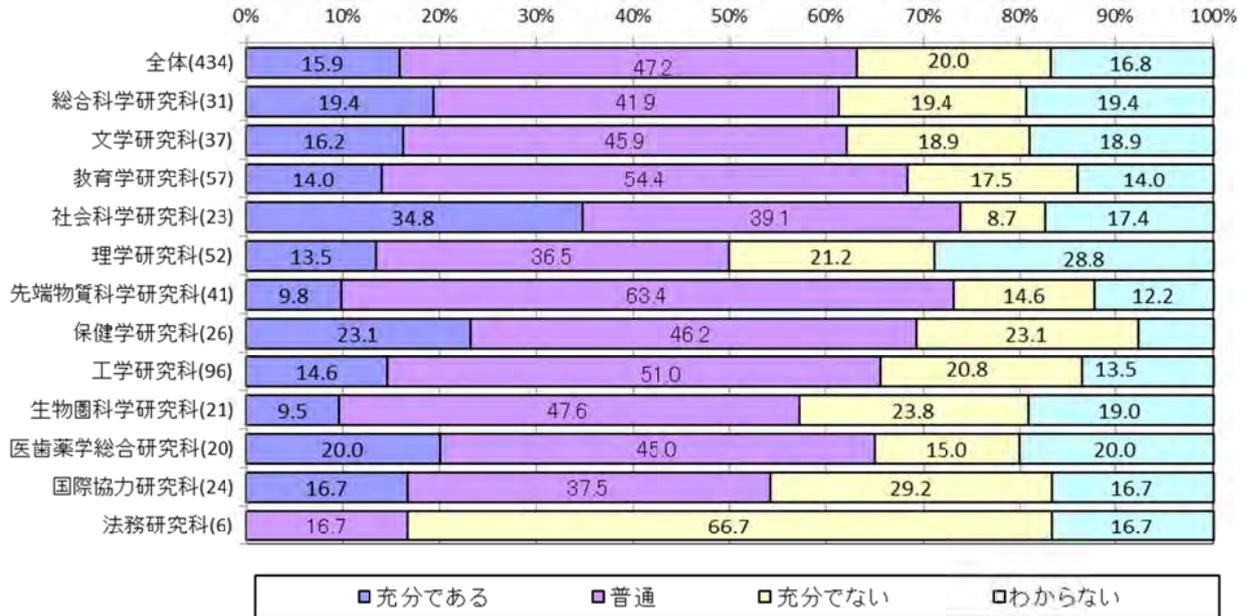
問 28 授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか。



16 授業以外の学生生活に対する大学のサポート体制やサービス

前回は「充分である」と「普通」を合わせた回答が全体で80%を超えていたが、今回は63.1%であった。また「充分でない」が20.0%と前回より倍増している。

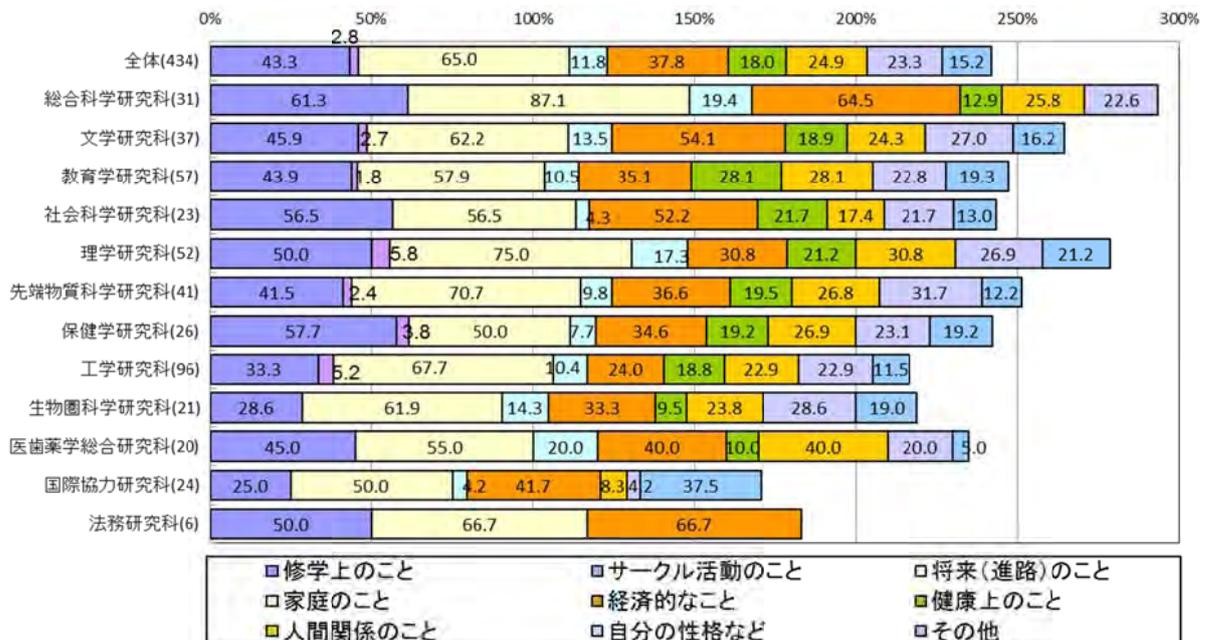
問 29 授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート（支援）体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか。



17 学生生活の悩み

大学院生においても、学生生活の悩みの中でもっとも多かったのは、将来（進路）のこと 65.0%であり、次に修学上の問題 43.3%と続く。学部生調査と比べて、経済的なこと及び健康上のことでの悩みが若干多くなっている。

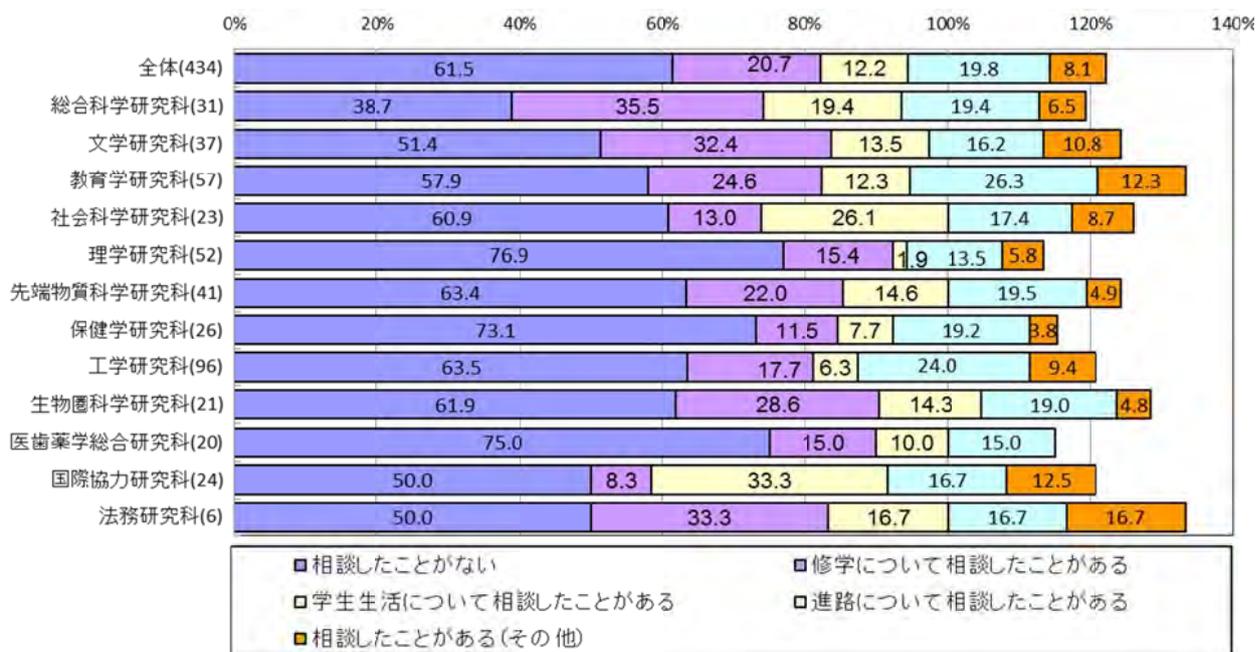
問 30 学生生活の中で悩みがありますか。（複数回答可）



18 チューターへの相談と相談内容

研究科によって 23.1～61.3%と、相談経験にはばらつきがみられる。相談内容では、修学および進路についてそれぞれが 20%前後、学生生活に関する相談も 12.2%あった。全体で 38.5%の学生が相談したことがあると回答している。

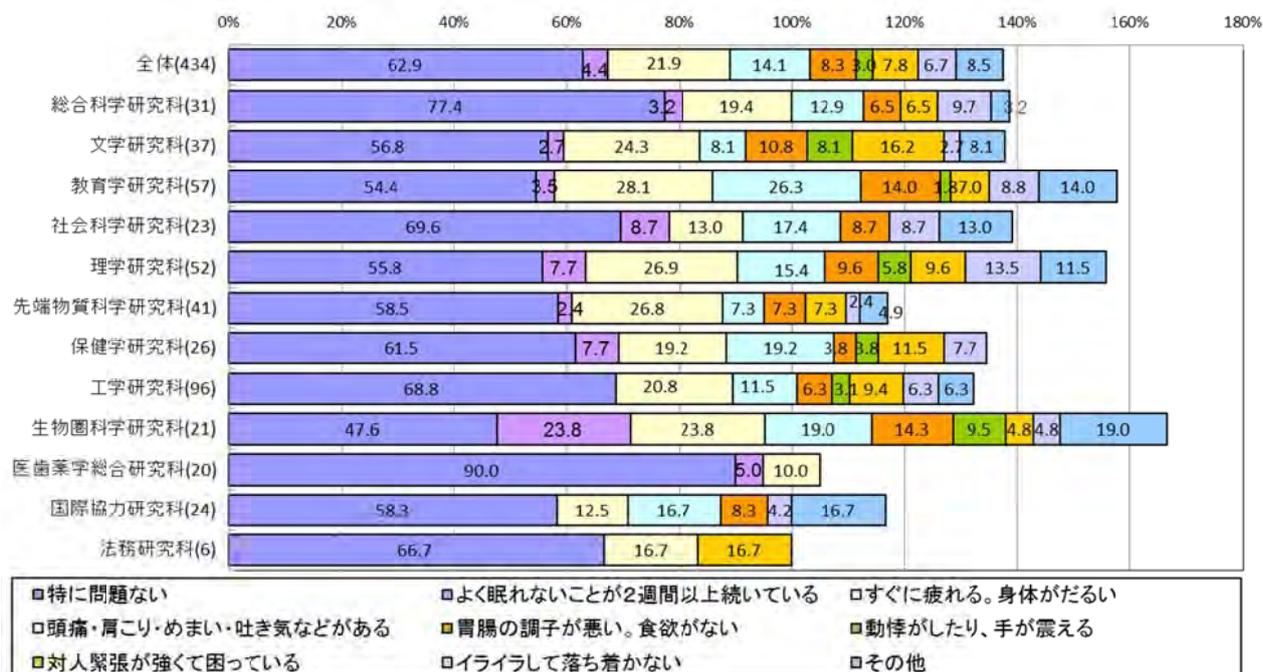
問 31 修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は、相談内容を選択してください。(複数回答可)



19 現在の健康状態

全体では 62.9%が、特に問題ないと回答している。一方で、4割弱の学生が何らかの不調を感じており、学部生に比べ、どの症状もポイントが高くなっている。2週間以上の不眠が続いている者も 4.4%存在し、ストレスや疲労の蓄積が健康に及ぼす影響が懸念される。

問 32 現在の健康状態はどうか。(複数回答可)



20 身体面・心理面の悩みの解消

悩みの解消に当たっては、学部生と同様に、先輩・友達に相談するがもっとも多く44.5%であった。家族に相談するは、学部生より少し減って38.7%、一方で医療機関や保健管理センター等の専門機関に相談する率は増えている。自分だけで考えるという回答も42.4%あった。

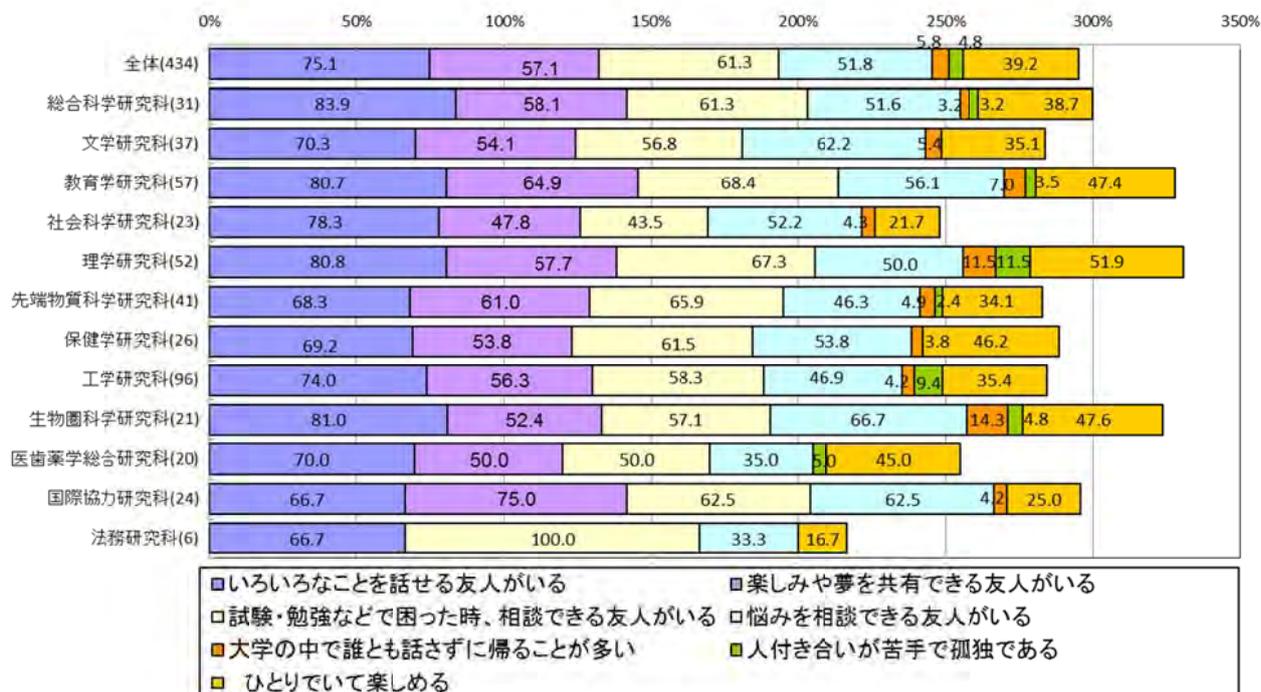
問33 身体面、心理面で何か悩みが生じた場合には、解消に向けてどうしますか。(複数回答可)



21 友人との関係

いろいろなことを話せる友人がいるという回答は75.1%で、学部生の81.6%に比べ、やや少なくなっている。また、悩みを相談できる友人がいるという回答も、学部生61.2%から大学院生51.8%と減少しており、大学院生は学部時代より友人との交流はやや希薄になる傾向が示唆された。

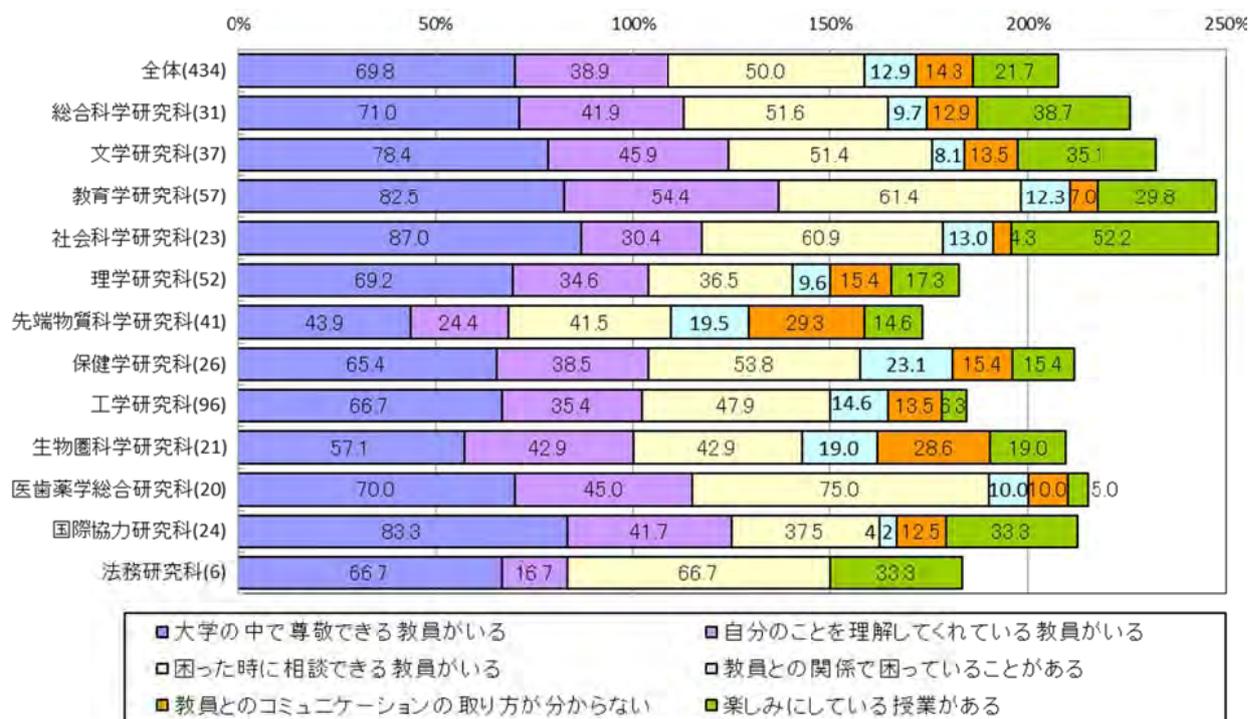
問34 友人についてお尋ねします。(複数回答可)



22 教員との関係

全体では、69.8%が大学の中で尊敬できる教員がいると回答している。困った時に相談できる教員がいるのは50.0%と、学部生の24.6%に比べてかなり多く、また、自分のことを理解してくれている教員がいるという回答も、学部生14.2%から大学院生38.9%と増加している。一方で、教員との関係で困っていることがあるという回答が12.9%と、学部生の5.7%に比べ倍になっている。いずれも、学生と教員との関係が、大学院に入るとより近くなるということが背景にあると考えられる。

問 35 教員についてお尋ねします。(複数回答可)



23 学生交流スペースの利用

全体として、利用したことがある学生は13%程度しかなく利用率は低い。その要因として、大学院生は、各研究科において研究室や自習室など、学生用スペースが確保されていることから、フリースペースの必要性は学部生より低いと思われる。

問 36 「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか。

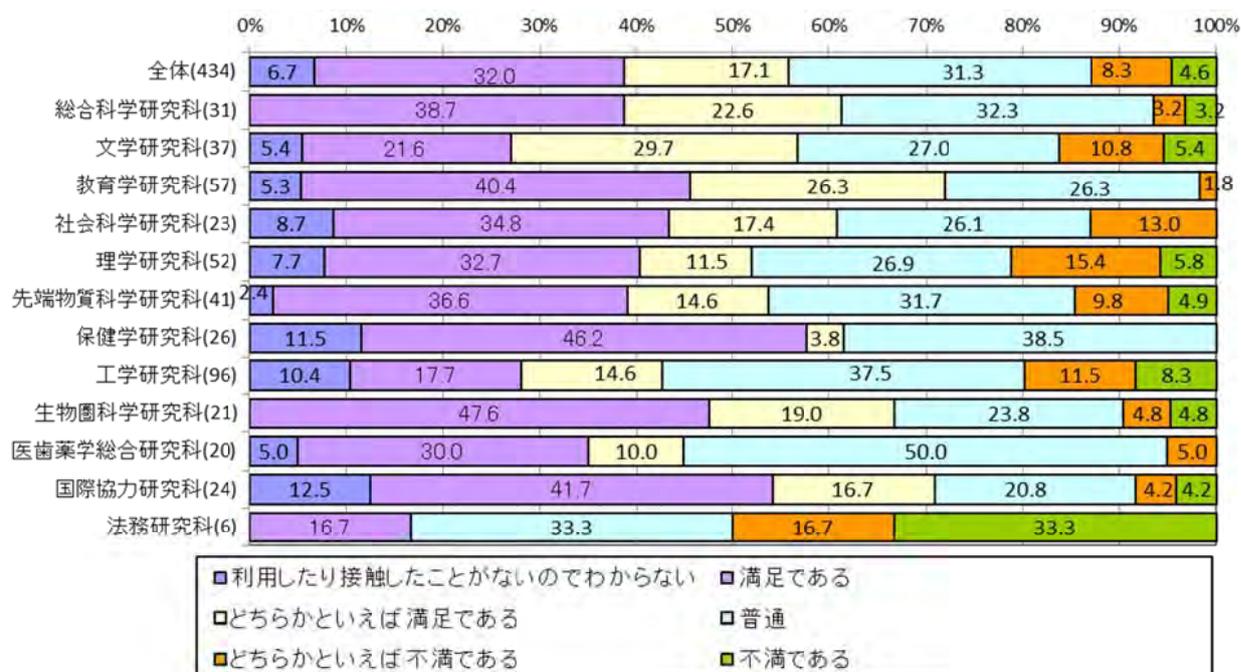


24 所属学部・研究科の学生支援室の対応

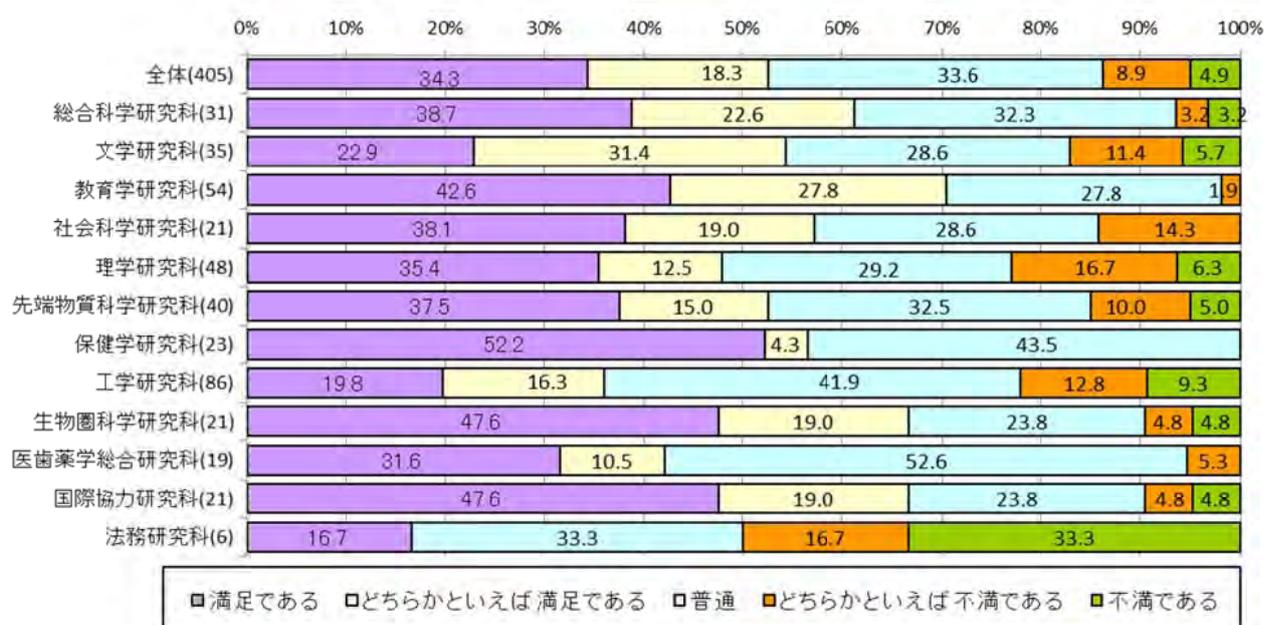
全体として 90%以上が利用したことがあり（グラフ 1）、そのうち（グラフ 2）の 52.6%が「満足である」「どちらかといえば満足である」となっている。また、「どちらかといえば不満」「不満」と回答したものは 12.9%である。研究科別では理学研究科と工学研究科が 20%程度と「どちらかといえば不満」「不満」が若干多い。なお、法務研究科は「どちらかといえば不満」「不満」の率が著しく多いが、回答した学生数が 6 名であることから評価はできない。

問 37 所属学部・研究科の学生支援室の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ 1（利用したことがない者を含む）



* グラフ 2（利用したことがある者のみ）



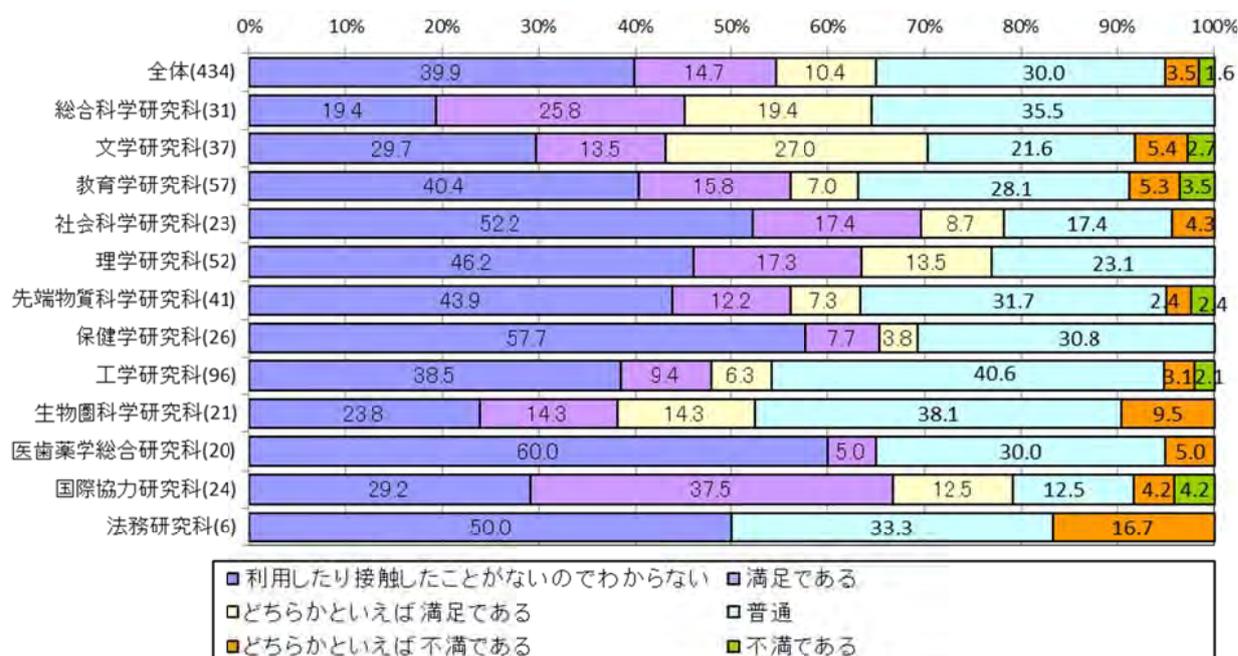
25 学生プラザの学生支援部門の対応

全体として60%程度（グラフ1）が利用しているが、そのうち（グラフ2）「満足である」「どちらかといえば満足である」が41.7%であり「どちらかといえば不満」「不満である」は8.4%である。

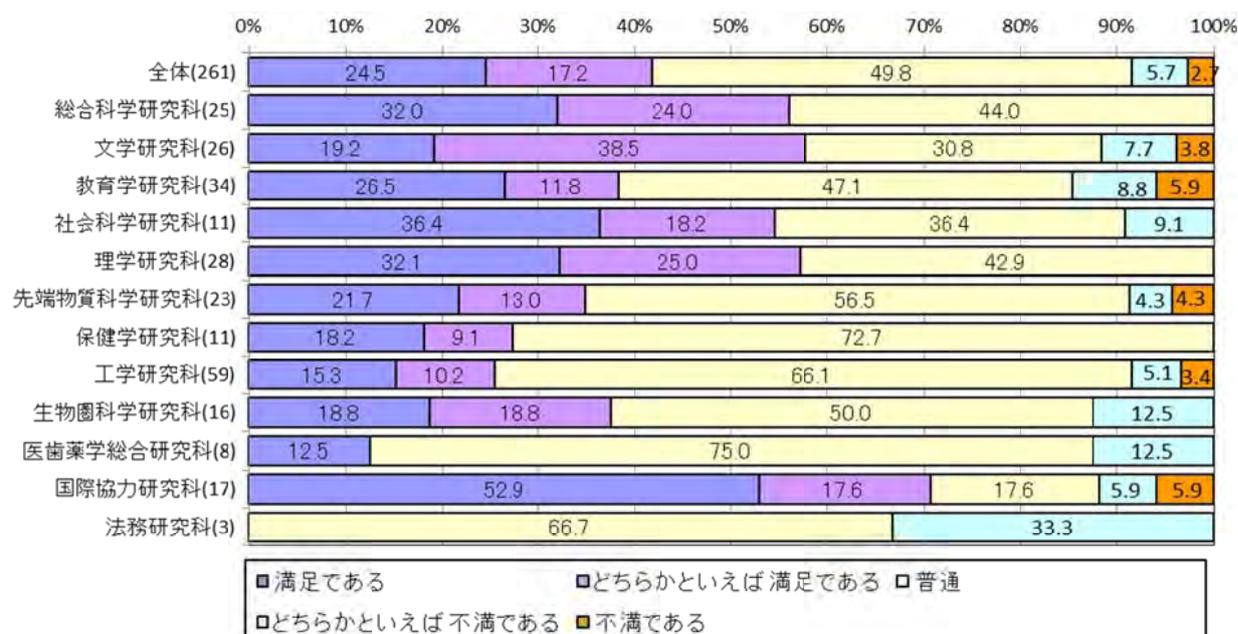
研究科別では、利用者数が少ない研究科もあって、その評価が極端に大きく異なっており、分析はできない。

問 38 学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください。

* グラフ1（利用したことがない者を含む）



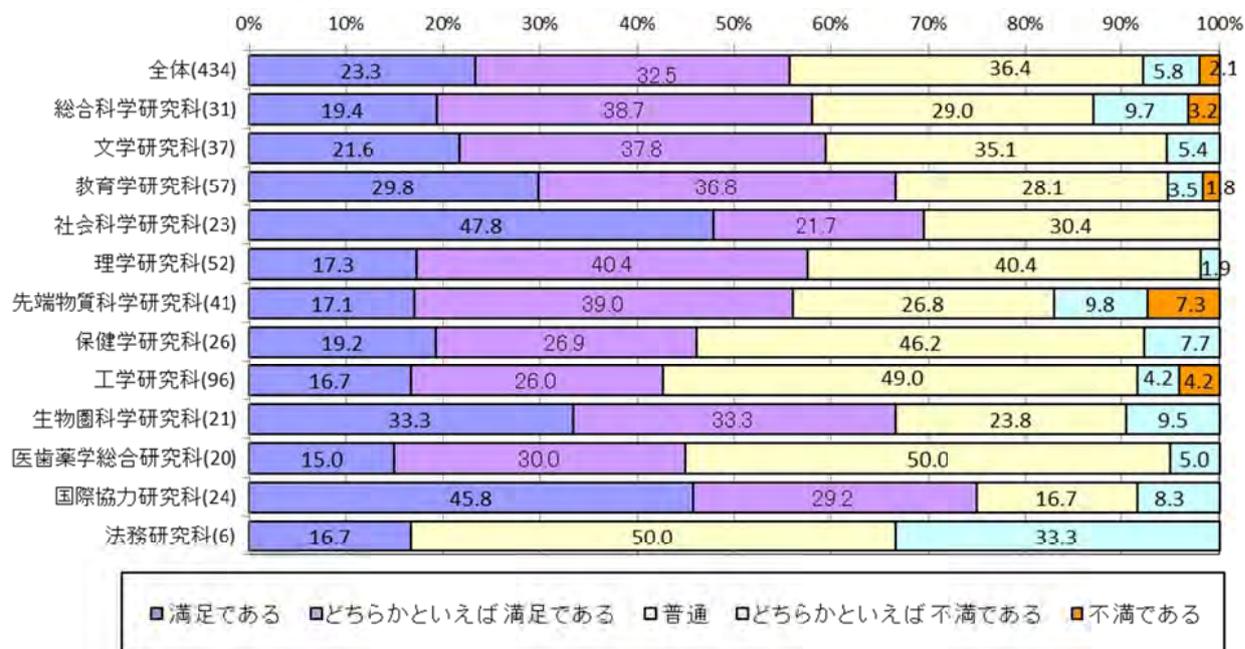
* グラフ2（利用したことがある者のみ）



26 本学での教育・学習、学生生活などの全体的な満足度

全体として 55.8%が「満足である」「どちらかといえば満足である」であり、不満を感じているのは 8%程度である。研究科別では「満足である」「どちらかといえば満足である」が 40%程度から 70%程度と差はあるが、不満と感じる学生については、どの研究科も 10%以内である。なお、法務研究科については、回答数が 6 であるので評価はできない。

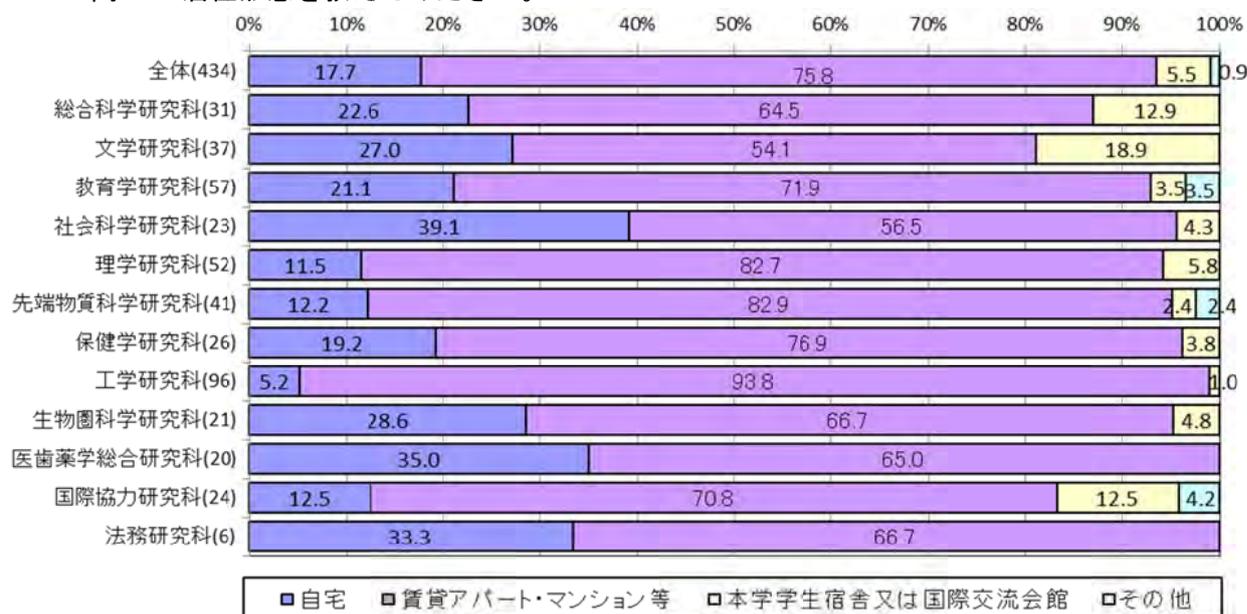
問 39 本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか。



27 居住形態

全体として 75.8%がアパート・マンションであり、自宅は 18%程度である。ただし、広島市内にある社会科学研究科・医歯薬学総合研究科や法務研究科については、自宅からの通学者が 30%を超えている。

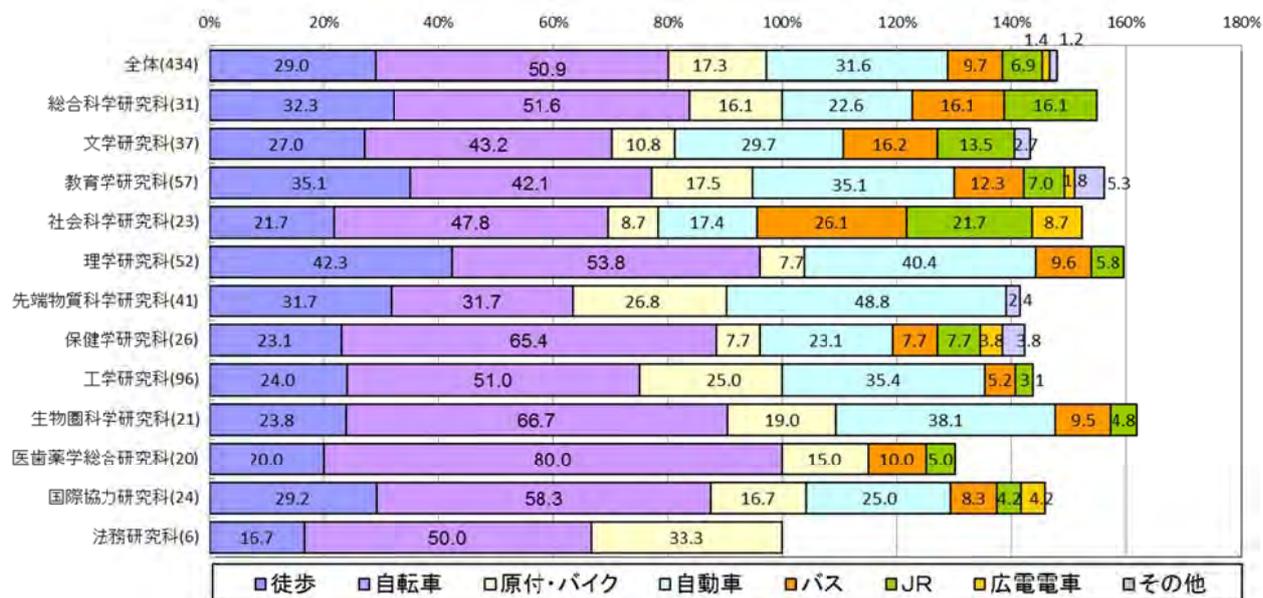
問 40 居住形態を教えてください。



28 通学方法

全体として、自転車の利用が一番多いが、それに次いで自動車を利用している学生が多い。特に理学研究科や先端物質科学研究科については半数近くが自動車を利用している。

問 41 通学方法を教えてください。(複数回答可)



Ⅲ 参考 学生生活実態調査アンケート項目（もみじ画面）

アンケート作成／回答	
タイトル	学生生活実態調査
アンケートの目的	広島大学では、皆さんの学生生活の現状や大学が行う学生支援についてどのように感じているかを把握するためのアンケートを行います。 皆さんからの率直な感想や意見をいただき、今後の学生サービスの改善に向けた重要な資料としますので、ご協力ください。
回答状態	未回答

※このアンケートは「記名式」です。

1:大学生活においてに何を大切にしていますか（複数回答可）
【8個の選択肢から選んでください（3個まで選べます）】（回答必須）

- 勉強・研究
- サークル活動
- 友人関係
- 趣味・娯楽
- アルバイト
- 将来に備えた資格取得等
- その他
- 特になし

2:学内外のクラブやサークル活動に参加していますか（複数回答可）
【7個の選択肢から選んでください（6個まで選べます）】（回答必須）

- 本学のスポーツ系サークルに参加している
- 本学の文化系サークルに参加している
- 本学の音楽系サークルに参加している
- 学外のスポーツ系サークルに参加している
- 学外の文化系サークルに参加している
- 学外の音楽系サークルに参加している
- 参加していない

3:大学祭、ゆかた祭、フェニックス駅伝などの大学の行事に参加したことがありますか
【3個の選択肢から選んでください（1個まで選べます）】（回答必須）

- 主催者側（役員、模擬店、ステージ発表等）や選手等で積極的にこれらイベントに関わった
- 見物や応援等でこれらイベントに関わった
- 参加したことがない

4:ボランティア活動や地域の活動に参加したことがありますか（複数回答可）
【6個の選択肢から選んでください（5個まで選べます）】（回答必須）

- ボランティア活動
- 国際交流活動
- 地域活動（町内会などの活動）
- 学外のクラブ・サークル活動
- その他
- 参加したことがない

5:入学後何らかのアルバイトに就業したことがありますか（複数回答可）
【8個の選択肢から選んでください（7個まで選べます）】（回答必須）

- アルバイトをしたことがない

2. 家庭教師をしたことがある(している)
3. 塾・予備校の講師をしたことがある(している)
4. 一般事務のアルバイトをしたことがある(している)
5. 調査・技術のアルバイトをしたことがある(している)
6. 販売・サービスのアルバイトをしたことがある(している)
7. 飲食・接客のアルバイトをしたことがある(している)
8. 重労働・危険作業のアルバイトをしたことがある(している)

6:アルバイトの主な目的は何ですか(複数回答可)
【6個の選択肢から選んでください(6個まで選べます)】(回答必須)

1. 学費・生活費
2. サークル活動
3. 高額商品等購入のため
4. 趣味・娯楽
5. 就職準備や社会経験のため
6. その他

7:アルバイトに充てている時間を「月曜から金曜」、「土曜及び日曜・休日」それぞれの中から一つずつ選択してください

【8個の選択肢から選んでください(2個まで選べます)】(回答必須)

1. 月曜から金曜 0時間～1時間未満
2. 月曜から金曜 1時間以上～6時間未満
3. 月曜から金曜 6時間以上～12時間未満
4. 月曜から金曜 12時間以上
5. 土曜及び日曜・休日 0時間～1時間未満
6. 土曜及び日曜・休日 1時間以上～6時間未満
7. 土曜及び日曜・休日 6時間以上～12時間未満
8. 土曜及び日曜・休日 12時間以上

適当な数字を入力してください。

8:大学構内にどれくらいの時間滞在していますか
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 0時間～1時間未満
2. 1時間以上～3時間未満
3. 3時間以上～6時間未満
4. 6時間以上

9:大学構内の滞在時間のうち、1番多く滞在している場所はどこですか
【8個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 教室
2. 研究室・実験室等
3. 図書館
4. サークル棟・課外活動施設等
5. 食堂・喫茶・売店等の福利施設
6. 学生プラザ1階等のフリースペースや多目的室
7. 構内の緑地・野外施設
8. その他

10:大学構内の滞在時間のうち、2番目に多く滞在している場所はどこですか

【8個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 教室
2. 研究室・実験室等
3. 図書館
4. サークル棟・課外活動施設等
5. 食堂・喫茶・売店等の福利施設
6. 学生プラザ1階等のフリースペースや多目的室
7. 構内の緑地・野外施設
8. その他

11:大学内にくつろいで過ごせる場所がありますか(複数回答可)
【9個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. 教室
2. 研究室・実験室等
3. 図書館
4. サークル棟・課外活動施設等
5. 食堂・喫茶・売店等の福利施設
6. 学生プラザ1階等のフリースペースや多目的室
7. 構内の緑地・野外施設
8. その他
9. ない

12:1ヶ月の生計費(収入)はいくらですか
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 0~5万円未満
2. 5万円以上~10万円未満
3. 10万円以上~15万円未満
4. 15万円以上

13:1ヶ月の生計費(収入)のうち、1番多い収入は、次のどれですか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 仕送り
2. 奨学金
3. 就労・アルバイト
4. 借金・ローン
5. その他

14:1ヶ月の生計費(収入)のうち、2番目に多い収入は、次のどれですか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 仕送り
2. 奨学金
3. 就労・アルバイト
4. 借金・ローン
5. その他

15:1ヶ月の生計費(収入)のうち、3番目に多い収入は、次のどれですか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 仕送り
2. 奨学金

3. 就労
4. 借金・ローン
5. その他

16:1ヶ月の生計費の支出はいくらですか
【3個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 1万円以上～5万円未満
2. 5万円以上～10万円未満
3. 10万円以上

17:1ヶ月の生計費(支出)のうち,1番多く必要とする経費は何ですか?ただし,授業料は含みません
【6個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 住居費(アパート等の家賃)
2. 生活費(衣食住に必要な経費)
3. 修学費(授業料は含まない)
4. サークル等課外活動
5. 娯楽費
6. その他

18:1ヶ月の生計費(支出)のうち,2番目に多く必要とする経費は何ですか?ただし,授業料は含みません
【6個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 住居費(アパート等の家賃)
2. 生活費(衣食住に必要な経費)
3. 修学費(授業料は含まない)
4. サークル等課外活動
5. 娯楽費
6. その他

19:1ヶ月の生計費(支出)のうち,3番目に多く必要とする経費は何ですか?ただし,授業料は含みません
【6個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 住居費(アパート等の家賃)
2. 生活費(衣食住に必要な経費)
3. 修学費(授業料は含まない)
4. サークル等課外活動
5. 娯楽費
6. その他

20:1週間を平均して,授業やゼミの予習・復習にどれくらいの時間をあてていますか
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 0～2時間未満
2. 2時間以上～5時間未満
3. 5時間以上～10時間未満
4. 10時間以上

21:1週間を平均して,授業や研究以外の学習にどれくらいの時間をあてていますか
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 0～2時間未満
2. 2時間以上～5時間未満
3. 5時間以上～10時間未満

4. 10時間以上

22: 所有もしくは専用物がありますか(複数回答可)
【8個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. 自動車
2. オートバイ
3. 原付・スクーター
4. 自転車
5. 携帯電話
6. ルームエアコン
7. ネットに接続できるパソコン
8. ipodなどの携帯音楽プレーヤー

23: 学生生活において、何らかの犯罪や民事上の被害・トラブルを経験したことがありますか(複数回答可)
【9個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. マルチ商法・悪徳販売による被害
2. アルバイト先での賃金未払いや不当解雇の被害
3. セクハラ、ストーカー等の性的犯罪の被害
4. 3. 以外のハラスメント
5. 窃盗、強盗による盗難の被害
6. けんか等の暴行被害
7. アルコールの痛飲による急性アルコール中毒
8. その他
9. 被害にあったことがない

24: 在学中交通事故に遭ったことがありますか(複数回答可)
【6個の選択肢から選んでください(5個まで選べます)】(回答必須)

1. ある(自転車)
2. ある(バイク)
3. ある(自動車)
4. ある(歩行者)
5. ある(その他)
6. 遭ったことがない

25: 喫煙の習慣がありますか。1日に吸う本数をお答えください
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 吸わない
2. 1~5本
3. 6~10本
4. 11~15本
5. 16本以上

26: 飲酒の習慣がありますか。1週間に飲む日数でお答えください
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 0日(ほとんど飲まない)
2. 1日以内
3. 2日
4. 3日
5. 4日以上

27:薬物(大麻等・覚醒剤)について、該当するものを選択してください(複数回答可)
【4個の選択肢から選んでください(3個まで選べます)】(回答必須)

1. 自分の周囲で薬物を所持又は使用している人を見たり、聞いたりしたことがある
2. 自分の周囲から使用や栽培を誘われたことがある
3. 見たり聞いたりしたことはない
4. 入手する方法を具体的に知っている

28:授業以外の学生生活を充実して過ごしていますか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. とても充実している
2. やや充実している
3. 普通である
4. あまり充実していない
5. 全く充実していない

29:授業以外の学生生活に関して、大学側のサポート(支援)体制やサービス内容・メニューは、全般的に見て充分だと思いますか
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 充分である
2. 普通
3. 充分でない
4. わからない

30:学生生活の中で悩みがありますか(複数回答可)
【9個の選択肢から選んでください(9個まで選べます)】(回答必須)

1. 修学上のこと
2. サークル活動のこと
3. 将来(進路)のこと
4. 家庭のこと
5. 経済的なこと
6. 健康上のこと
7. 人間関係のこと
8. 自分の性格など
9. その他

31:修学や学生生活に関して相談するチューター教員がいますが、チューターに相談したことがありますか。相談したことがある場合は、相談内容を選択してください
【5個の選択肢から選んでください(4個まで選べます)】(回答必須)

1. 相談したことがない
2. 修学について相談したことがある
3. 学生生活について相談したことがある
4. 進路について相談したことがある
5. 相談したことがある(その他)

32:現在の健康状態はどうですか(複数回答可)
【9個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. 特に問題ない
2. よく眠れないことが2週間以上続いている
3. すぐに疲れる。身体がだるい

4. 頭痛, 肩こり, めまい, 吐き気などがある
5. 胃腸の調子が悪い。食欲がない
6. 動悸がしたり, 手が震える
7. 対人緊張が強くて困っている
8. イライラして落ち着かない
9. その他

33:身体面, 心理面で何か悩みが生じた場合には, 解消に向けてどうしますか(複数回答可)
【9個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. 保健管理センターに相談する
2. 「なんでも相談窓口」に相談する
3. 教員に相談する
4. 先輩や友達に相談する
5. 家族に相談する
6. 医療機関に相談する
7. 自分だけで考える
8. どうすべきかわからない
9. その他

34:友人についてお尋ねします(複数回答可)
【7個の選択肢から選んでください(6個まで選べます)】(回答必須)

1. いろいろなことを話せる友人がいる
2. 楽しみや夢を共有できる友人がいる
3. 試験・勉強などで困った時, 相談できる友人がいる
4. 悩みを相談できる友人がいる
5. 大学の中で誰とも話さずに帰ることが多い
6. 人付き合いが苦手で孤独である
7. ひとりでいて楽しめる

35:教員についてお尋ねします(複数回答可)
【6個の選択肢から選んでください(6個まで選べます)】(回答必須)

1. 大学の中に尊敬できる教員がいる
2. 自分のことを理解してくれている教員がいる
3. 困った時に相談できる教員がいる
4. 教員との関係で困っていることがある
5. 教員とのコミュニケーションの取り方が分からない
6. 楽しみにしている授業がある

36:「学生プラザ1階のフリースペース」や西第1福利会館の集会室を利用したことがありますか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 週4日以上
2. 週2日以上
3. 週1日以上
4. 月1回以上
5. 利用したことがない

37:所属学部・研究科の学生支援室の対応について, 印象や満足度を教えてください
【6個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 利用したり接触したことがないのでわからない

2. 満足である
3. どちらかといえば満足である
4. 普通
5. どちらかといえば不満である
6. 不満である

38:学生プラザの学生支援部門の対応について、印象や満足度を教えてください
【6個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 利用したり接触したことがないのでわからない
2. 満足である
3. どちらかといえば満足である
4. 普通
5. どちらかといえば不満である
6. 不満である

39:本学での教育・学習、学生生活などに関して、全体として「良い」、「楽しい」と感じるなど、満足していますか
【5個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 満足である
2. どちらかといえば満足である
3. 普通
4. どちらかといえば不満である
5. 不満である

40:居住形態を教えてください
【4個の選択肢から選んでください(1個まで選べます)】(回答必須)

1. 自宅
2. 賃貸アパート・マンション等
3. 本学学生宿舎又は国際交流会館
4. その他

41:通学方法を教えてください(複数回答可)
【8個の選択肢から選んでください(8個まで選べます)】(回答必須)

1. 徒歩
2. 自転車
3. 原付・バイク
4. 自動車
5. バス
6. JR
7. 広電電車
8. その他

42:広島大学に伝えたいことを書いてください
【記述式 1000文字以内】

戻る

学生生活実態調査ワーキング・グループ

座 長：坂 越 正 樹 (教育学研究科)
委 員：長 谷 川 博 (総合科学研究科)
平 田 大 (先端物質科学研究科)
磯 部 典 子 (保健管理センター)
原 田 淳 (キャリアセンター)
村 澤 昌 崇 (高等教育研究開発センター)
田 中 正 徳 (教育室)

事務担当 広島大学教育室
〒739-8514 東広島市鏡山1丁目7-1
TEL 082-424-6146

発 行 広島大学学生生活会議